2012年

マ・シ海峡航行援助施設基金への支援

事業報告書

2013年3月

公益社団法人 日本海難防止協会
はじめに

本事業は、2008年4月、沿岸三カ国が主導して設置した「マラッカ・シンガポール海峡航行援助施設基金」に（公社）日本海難防止協会が日本財団の支援を受けて資金拠出を行うことにより、「航行援助施設維持管理計画」に基づく、沿岸三カ国の航行援助施設の維持・更新の円滑な実施を支援するとともに、マ・シ海峡利用者からの自発的な資金協力を促すものである。

2012年度分として66万USドルの資金を拠出した。

「マラッカ・シンガポール海峡航行援助施設基金」の設立は、IMOシンガポール会議での6つのプロジェクトのうち先立ったものであり、国際航行の用に供する海峡に航行安全と環境保全の実現に関する海峡沿岸国及び利用国の役割分担について定めた国連海洋法条約第43条の規定を初めて具体化した画期的なものといえる。

加えて、マラッカ・シンガポール海峡では、分離通航帯を維持するため、51の航行援助施設が設置され、40年以上にわたり日本財団をはじめ、関係団体の官民あげての支援により、これらの航行援助施設の整備が行われてきており、従来から我が国は、大きな役割を果たしてきた経緯もある。

本事業報告書は、これらの状況を踏まえ、2012年に開催された第8回、第9回航行援助施設基金委員会の関連内容及び基金の財務状況について、主に当協会シンガポール連絡事務所からの報告書並びに航行援助施設基金委員会の資料を基に取りまとめたものである。

今後、「マラッカ・シンガポール海峡航行援助施設基金」への自発的な貢献の輪が、マ・シ海峡沿岸国、利用国、国際海運団体等の利用者に更に広がっていくことを願うとともに、本事業報告書が航行援助施設基金の設立及び運営に、ご尽力されてきた方々の労に少しでも報いることができれば、幸いである。

2013年3月
公益社団法人 日本海難防止協会
目 次

1 目的  .................................................................................................................. 1

2 背景  .................................................................................................................. 1
   (1) マ・シ海峡の航行援助施設 ................................................................. 1
   (2) 経緯 ........................................................................................................... 2

3 第8回基金委員会  ......................................................................................... 13
   (1) 概要 ....................................................................................................... 13
   (2) 会議レポート .......................................................................................... 16

4 第9回基金委員会  ......................................................................................... 23
   (1) 概要 ....................................................................................................... 23
   (2) 会議レポート .......................................................................................... 26

5 航行援助施設の維持管理報告
   (1) 2011年第4四半期及び2012年第1四半期維持管理報告 ···················· 33
   (2) 2012年第1〜3四半期年維持管理報告 ................................................ 33

6 航行援助施設の作業計画
   (1) 2012年作業計画 .................................................................................. 33
   (2) 2013年作業計画 .................................................................................. 34

7 基金の財務状況  ............................................................................................. 34
   (1) 基金の口座明細 .................................................................................... 34
   (2) 2012年予算 .......................................................................................... 34
   (3) 2013年予算 .......................................................................................... 34

8 監査報告  ......................................................................................................... 34
   (1) マラッカ海峡協議会による事業監査報告 ............................................. 34
   (2) 第三者機関による会計監査報告 .......................................................... 34
1 目的

マラッカ・シンガポール海峡（以下「マ・シ海峡」という。）における航行安全、環境保全対策の推進については、2007年9月のIMOシンガポール会議において、6つのプロジェクトの推進を図る「協力メカニズム」が幅広く支持された。

これらのうち最も中心的存在であるマ・シ海峡における主要な51の航行援助施設の維持・更新を図るプロジェクト5は、長期間にわたり多額の費用を要することから、広く海峡利用者からの資金を募ることにより沿岸三カ国（インドネシア、マレーシア及びシンガポール）が管理する航行援助施設基金を設立し、当該基金がこれらの業務を担っていくこととされた。

これに続く、2008年1月に開催された沿岸三カ国及び日本財団による東京会議の合意とこれを受けての2008年4月の第1回航行援助施設基金委員会（以下「基金委員会」という。）において、マレーシア運輸省半島海事局に「航行援助施設基金」（以下「基金」という。）が設立されるとともに、（公社）日本海難防止協会は6月に日本財団からの支援を受け、航行援助施設現況調査（以下「現況調査」という。）の実施費用として、1,351万USドルの資金拠出を基金に対して行った。また、10月には第2回基金委員会が開催され、現況調査の結果に基づき、今後10年間にわたる総額54.8百万USドルの「航行援助施設維持管理計画」（Plan Maintenance Program,以下「PMP」という）が承認された。日本財団は、現況調査の結果に基づき試算された航行援助施設の維持・更新のために必要となる費用の3分の1を当初5年間にについて基金に対し拠出する旨を表明した。

これからのことを踏まえ、（公社）日本海難防止協会は、日本財団の支援を受けて「協力メカニズム」による沿岸三カ国が主導して設置した基金に対し、2012年分として66万USドルの資金拠出を行い、併せて、マ・シ海峡利用者からの自発的な資金協力を促し、PMPに基づく、沿岸三カ国の航行援助施設の維持・更新の円滑かつ早期の実施を支援する。

2 背景

（1）マ・シ海峡の航行援助施設

マ・シ海峡は、大型タンカーが航行可能な航路幅が狭く、潮流が早いうに、浅瀬や岩礁が多数存在している。灯台、灯浮標等の航行援助施設は、陸上での交通信号や道路標識と同様に海上での安全を担っている。

マ・シ海峡では、分離通航帯を維持するため、51箇所の航行援助施設が設置されている。マ・シ海峡の航路整備を推進するため官民で協議された結果、1969年に（財）マラッカ海峡協議会が設立され、
日本財団の支援を受けて航路標識整備を行うとともに、日本船主協会等の支援によりこれらの施設の見回り、点検、補修作業を行ってきている。

このようにマ・シ海峽の航路整備にわが国は、大きな役割を果たしてきたが、一方中国、韓国等他のアジア諸国の著しい経済発展の結果、マ・シ海峽通航量に占める日本の配船腹シェアは、年々減少し、関係支援団体の中から、日本だけが利用国の中でマ・シ海峽航行安全対策の費用を負担し続けることに疑問を投げかける声が急速に高まってきている。

上記のような背景の中、航行援助施設には、当然耐用年数があり、施設が更新されない状況が続くと、施設の老朽化による故障や船舶衝突による破損等が生じたり、機能不全に陥ってしまう。インドネシア及びマレーシアとの共同維持管理業務により施設の修繕や部品補給は懸命に取り組まれてきているが、追いつくのが難しい状況となってきており、マ・シ海峽の航行援助施設をどのようにして維持管理し、更新していくかが大きな課題となっていた。

（2）経緯
イ IMOシンガポール会議
① 概要
会議は、2007年9月4日から6日まで、シンガポールで開催された。IMOの主催するマ・シ海峽に関する一連の国際会議の最終回であり、全体3日間の日程の中で、沿岸国から協力メカニズムに関する詳細報告と6つのプロジェクトについての進捗状況についての現況報告が行われた。会議には、欧米、アジア、中東から38カ国の方、14の非政府機関が参加した。
② 会議の主な内容
a 協力メカニズム
具体的には、協力メカニズムは三つの柱から構成されている。一つ目は沿岸国、利用国及び利害関係者間の情報、意見交換の場として、「協力フォーラム」を毎年1回開催する。二つ目は、「協力フォーラム」で得られた様々な意見を基に、「プロジェクト調整委員会」において、沿岸国及びスポンサーにより6つのプロジェクトの実施に向けた調整を行う。三つ目は、最も長期にわたって取り組む必要があり、かつ、多額の費用を要するプロジェクト5（航行援助施設の維持・更新）についての財源を確保するため「航行援助施設基金」を設ける。
b これまで（財）マラッカ海峡協議会を通じて40年以上にわたり、マ・シ海峽における航行援助施設の設置・管理に尽力して
きた日本財団は、会議における笹川会長の演説の中で、国際的に重要な海峡の航行安全と環境保全の確保については、沿岸国のみならず利用国及び利害関係者の協力が更に求められているとの認識を示した上で、基金の設立当初5年間について、所要費用総額の3分の1の金額の資金拠出を行う意向を表明した。

＊6つのプロジェクト
プロジェクト1：TSS（通行分離帯）における11の沈船除去
プロジェクト2：HNS（有害危険物質）への対処能力の向上
プロジェクト3：小型船舶用AIS（船舶自動識別システム）クラスB実証実験
プロジェクト4：潮汐、潮流及び風向観測システムの整備
プロジェクト5：航行援助施設の維持・更新
プロジェクト6：2004年12月の津波被害を受けた航行援助施設の更新

ロ 東京会議
① 概要
2007年9月のIMOシンガポール会議において、国際的にも幅広い支持を集め協力メカニズムのうちの中核要素である基金の設立に向けた取り組みを加速させることを目的として、2008年1月15日、協力メカニズムに基づく第1回沿岸国・日本財団会議が、東京において開催された。

② 会議の主な内容
a 基金の管理国
基金の管理は、3年ローテーションにより、次の順番により行われる。
2008年1月〜2010年12月 マレーシア
2011年1月〜2013年12月 シンガポール
2014年1月〜2016年12月 インドネシア
b 基金の設立に向けたスケジュール
2008年4月：第1回基金委員会を開催し、最初の資金拠出を受けて基金を設立。
2008年4～9月：通行分離帯を機能させるために必要な主要な51の航行援助施設の現況調査を実施し、その報告書を作成。
c 日本財団は、2008年4月から9月の間において実施される51の現況調査に要する費用として、1.5百万USドルを基金に対して拠出することを表明した。この日本財団の資金拠出は、IMOシンガポール会議において表明した基金の設立当初5年間の所要費用の3分の1の金額の資金拠出とは別になされるものであることも併せて確認された。
ハ 第1回基金委員会

① 概要
沿岸三カ国と利用国との間のマ・シ海峡に関する協力メカニズムの一環である第1回基金委員会は、2008年4月16日から17日までの間において、マレーシア・ペナン島のノーサムホテルにおいて開催された。会議には、沿岸三カ国とアラブ首長国連邦、韓国、日本財団及び中東航行援助サービス（Middle East Navigation Aids Service、以下「MENA S」という）の代表団が出席した。また、中国、ギリシャ、日本及び国際海事機関（以下「IMO」という）がオブザーバーとして参加した。

2008年1月の東京会議において、同年4月に、日本財団からの資金拠出を前提として基金委員会を正式に設立するとともに、同基金によってカバーされる航行援助施設の維持管理に要する費用を推計するための現況調査の実施計画を決定するとの方針が合意されたことにより開催された。

② 会議の主な内容
a 事務局を務めたマレーシア半島海事局から、「航行援助施設基金」という名称の信託口座が設立されるとともに、マレーシアが2008年1月から2010年12月までの3年間について基金の管理国となり、マレーシア半島海事局がその事務局となることが報告され、これについて了承された。基金に預けられた資金については、USドルにより管理されることが合意された。

b マ・シ海峡内のTSSに存する51の主要な航行援助施設の現況調査についての提案が検討され、同現況調査には第三者専門家として財団法人マラッカ海峡協議会が参加すること、インドネシア及びマレーシアの領海ごとにそれぞれ別に実施されること、同現況調査の報告書は2008年10月に開催が予定されている第2回基金委員会に提出されることなどが合意された。

c シンガポールは、現時点においては基金からの資金を利用することはないことから、その資金を利用して行う現況調査の対象にはシンガポールが管理している5つの航行援助施設は、含まれないことが確認された。

d これらのことを踏まえ、日本財団は、マ・シ海峡内における現況調査の実施費用として、1.531百万USドルの資金拠出を基金に対して行う旨を表明し、議事の一環として開催された共同記者会見において、沿岸三カ国の代表と日本財団長光常務理事との間において当該資金拠出に関する基本合意書の署名式が行われた。
第2回基金委員会

① 概要
第2回基金委員会は、2008年10月30日から31日の間、マレーシア・クチン・クラウンプラザホテルにおいて開催された。会議には、沿岸三カ国とアラブ首長国連邦、韓国、日本財団及びMENASの代表が出席した。また、中国、日本、ギリシャ及びIMOが、オブザーバーとして参加した。

第1回基金委員会において、基金によってカバーされる航行援助施設の維持・更新に要する当初10年間の費用を推計するための現況調査が実施され、その結果報告を行うとともに、基金の業務開始が2009年1月と決定されたことから、現況調査の結果を踏まえた同年の基金のPMPを策定するため開催された。

② 会議の主な内容

a 資金拠出の状況について
i 基金の管理国を務めているマレーシア半島海事局から、現在基金には、日本財団及びアラブ首長国連邦から受領したそれぞれ1,351百万USドル及び10万USドルの合計1,451百万USドルが振込み済みである旨の説明がなされた。

ii 日本は、日本船主協会、日本石油連盟、電気事業者連合会、日本ガス協会及びその他の関連団体が合計50万USドルの資金拠出を財団法人マラッカ海峡協議会を通じて行う旨の情報提供を行った。

b 現況調査結果について
i マレーシア半島海事局から、現況調査の結果に基づき、マ・シ海峡内の29の航行援助施設の更新（リニューアルを含む。）が必要とされ、これに基づき、2009年以降10年間の航行援助施設の維持・更新費用は総額54.8百万USドル、初年の2009年の費用は7.3百万USドルとなることが報告された。

ii インドネシア領海に係る現況調査のうち、基礎構造及び潜水調査（67.5万USドル）は2009年に実施されることになっており、このため現時点において現況調査に要した費用は22.2万USドルであること及び余剰金額は、基金に返却されることが報告された。

iii これらに基づく、今後10年間にわたるPMP（総額54.8百万USドル）及び2009年の維持管理計画（総額8百万USドル）が原則として承認された。

iv 2009年の維持管理計画には、現況調査の結果に基づく航行援助施設の維持・更新費用7.3百万USドルに加え、
インドネシア領海分における現況調査のうちの未実施分の基礎構造及び潜水調査（67.5万USドル）、業務監査費用（3.8万USドル）などが含まれている。
c その他
日本財団は、現況調査の結果に基づき試算された航行援助施設の維持・更新のために必要となる費用の3分の1を当初5年間について基金に対し拠出する旨を表明した。
ホ  第3回基金委員会
① 概要
第3回基金委員会は、2009年4月13日から14日の間、マレーシア・マラッカのホリディ・イン・ホテルにおいて開催された。会議には、沿岸三カ国、アラブ首長国連邦、日本財団、マラッカ海峡協議会及びMENASが出席した。また、オブザーバーとして、中国、ギリシャ、日本、インド及びIMOが参加した。
2008年4月に沿岸三カ国により設立されたマ・シ海峡内における主要な航行援助施設の維持・更新を行う基金は、2009年1月から稼働を始めた。これに伴い、2009年内における航行援助施設基金から航行援助施設の維持・更新業務を行う各沿岸国への資金配分を決定する必要があるため開催された。
② 会議の主な内容
a 資金拠出の状況
ⅰ マラッカ海峡協議会は直ちに0.5百万USドルを振り込む旨を表明したほか、日本財団は2009年後半までに2.5百万USドルを、アラブ首長国連邦は速やかに10万USドルを、それぞれ振り込むことを明らかにした。
ⅱ 今回の基金委員会からは、インドが新たにオブザーバーとして参加し、プロジェクト4（潮汐、潮流及び風向計測システムの設置）のために2009年3月に拠出済みであり、さらにプロジェクト4の第2段階実施のため、2010年3月までに0.913百万USドルを拠出する旨を表明した。これらの資金は、基金に便宜的に預け置かれるもので、航行援助施設の維持・更新に要する資金とは区分して経理される。
b 維持・更新業務の実施状況と2009年の資金配分計画
ⅰ マレーシアから2009年第1四半期の航行援助施設の維持費用は38,935USドルであったこと、インドネシアから同四半期の維持業務は自己財源114,449USドルを用いて実施されたこと、シンガポールも自己財源15万〜23万USドルを用いて同年の維持業務を行うことが、それぞれ報告された。
これを受け、マレーシア及びインドネシアから２００９年第２四半期の維持・更新の実施計画が説明され、基金には未だスポンサーからの資金が振り込まれていないことを勘案し、マレーシアはウダ・ウトラ・ビーコン及びワン・ファザム・バンク・ビーコンの更新は自己財源により行うこと、インドネシアも第２四半期における維持業務は自己財源により行うことが、それぞれ報告された。

さらに基金委員会は、現在、基金には、２００８年に実施した現況調査実施費用として日本財団から拠出された１．３５１百万USドルの残余額と同年におけるアラブ首長国連邦からの拠出１０万USドル等の１．０８９百万USドルの資金があることが報告された。これを受けて、今後各スポンサーから資金拠出が行われる見込みであることも踏まえ、マレーシアに維持・更新費用として１．６７８百万USドル等の資金配分を行う２００９年の資金配分計画が承認された。

インドネシア政府銀行口座の開設状況
２００８年に予定されていたインドネシアが基金からの資金配分を受けるための政府銀行口座の開設が遅れており、基金が本格的に稼働する上での障害となっていた。これについて、インドネシアからは、国内法令に基づく諸手続きに時間を要しているものの、２００９年後半までにすべての手続きが終了する見込みであることが報告された。

ヘ 第４回基金委員会
① 概要
第４回基金委員会は、２００９年１０月１９日から２０日の間、マレーシア・ジョホールバルのペルサダ国際会議場において開催された。会議には、沿岸三カ国、韓国、アラブ首長国連邦、マラッカ海峡協議会及び日本財団が出席した。また、オブザーバーとして、中国、ギリシャ、インド、日本及びIMOが参加した。
２００９年４月に開催された第３回基金委員会の後、日本財団、MENAS、マラッカ海峡協議会及びアラブ首長国連邦から同年分の航行援助施設の維持・更新のための資金が拠出された。このため、同委員会において決定された同年の資金配分計画を変更するとともに、２０１０年の資金配分計画を決定するため開催された。
② 会議の主な内容
a 資金拠出の状況
i 基金委員会の開催に先立ち、基金委員会議長と韓国及びマラッカ海峡協議会との間において、基金への資金拠出に関す
る覚書が締結された。マラッカ海峡協議会は既に0.5百万USドルを拠出しているほか、韓国は百万韓国ウォンに相当する金額（9万USドル）を今後拠出することを表明した。

ii インドネシア政府からは基金からの資金配分を受けるための政府銀行口座が2009年8月に開設されたことが報告されたほか、IMOは自らが設立したマ・シ海峡信託基金から5万USドルを拠出することを表明した。さらに、中国も基金及びIMOのマ・シ海峡信託基金の双方に資金拠出を行う予定であると述べた。

iii 事務局を務めたマレーシア海事局から、同年4月以降、マラッカ海峡協議会から0.5百万USドル、日本財団から2.5百万USドル、アラブ首長国連邦から10万USドル及びMENASから1百万USドルが基金に対し振り込まれたことが報告された。

b 2009及び2010年の資金配分計画

i 沿岸三カ国から2009年第2・3四半期の維持・更新業務の実施結果が報告されるとともに、同年第4四半期及び2010年の作業計画が報告された。また、現在、航行援助施設基金には4.670百万USドルの資金があることも報告された。

ii これを受け、事務局から2009年及び2010年の資金配分計画が説明され、総額で、2009年には0.413百万USドルが、2010年には7.569百万USドルが、それぞれ必要であることが示された。このため、2009年の資金配分計画は提案通り承認されたものの、2010年は維持・更新に必要な資金が不足する可能性があるため、2010年に予定されている維持・更新作業については優先順位付けが行われるべきであるとされた。

iii この優先順位付けに基づき、2010年の資金配分計画として、次の金額が承認された。

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>必要総額（USドル）</th>
<th>配分金額（USドル）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>事務局</td>
<td>37,000</td>
<td>37,000</td>
</tr>
<tr>
<td>マレーシア</td>
<td>2,217,678</td>
<td>1,675,150</td>
</tr>
<tr>
<td>インドネシア</td>
<td>5,314,903</td>
<td>3,420,166</td>
</tr>
<tr>
<td>シンガポール</td>
<td>N.A.</td>
<td>N.A.</td>
</tr>
</tbody>
</table>

ト 第5回基金委員会
① 概要
第5回基金委員会は、2011年10月11日から12日の間、
マレーシアのランカウイ島において開催された。会議には、沿岸三カ国、中国、日本財団、マラッカ海峡協議会及びMENASが出席した。また、オブザーバーとして、日本が参加した。2009年10月に開催された第4回基金委員会において、基金委員会は年1回の開催とされたことから、前回以降の基金の状況を把握するとともに、2011年の資金配分計画等を決定するため開催された。

２ 会議の主な内容
a 資金拠出の状況
i 事務局を務めたマレーシア海事局から、2009年10月以降、基金に対して、2009年分として、IMOから0.5百万USドル、韓国から0.08百万USドル、2010年分として、日本財団から1.39百万USドル、マラッカ海峡協議会から0.5百万USドル、韓国から0.09百万USドル、中国から0.25百万USドル、サウジアラビアから0.1百万USドル、アラブ首長国連邦から0.1百万USドルが拠出されたことが報告された。
ii 2010年末で3年間ごとの持ち回りとされている基金の管理国及び事務局の交代時期を迎えることから、今回限りマレーシアが管理国及び事務局を務める期間を2012年まで2年間延長することとされた。
iii 基金に対する資金拠出により、中国、サウジアラビア、インド及びIMOがオブザーバーから基金委員会の正式メンバーとなった。
b 2010年第3四半期までの作業報告及び2010年第4四半期と2011年の作業計画・資金配分計画
i 沿岸三カ国から2010年第3四半期までの航行援助施設に係る維持・更新業務の実施結果が報告されるとともに、同年第4四半期及び2011年の作業計画が報告された。また、事務局より航行援助施設基金の口座残高が2.787百万USドルであることが報告された。
ii 作業計画を踏まえて、2011年の必要予算額について沿岸各国から説明が行われ、インドネシアからは4.184百万USドル、マレーシアからは1.295百万USドルとの額が示された。
シンガポールは、管理する5つの航行援助施設維持管理を自己財源で行い、基金の活用は行わない旨を表明した。
iii 続いて資金配分計画について検討が行われたが、2011年の全体予算についてはなお詳細な検討が必要であるとされ、次回の基金委員会において再度協議することとなった。
このため、基金委員会として2011年第1四半期のみの資金配分計画を以下の通り承認した。

・インドネシア 0.365百万USドル
・マレーシア 0.597百万USドル
・委員会事務局 0.043百万USドル
（合計 1.005百万USドル）

なお、基金を活用しての活動がより容易に理解できるよう、基金委員会への報告に当たっては標準的な様式を定めるとともに、当初作成した10年間の作業計画と作業実績とを比較する資料を作成するべきである、との問題提起がなされた。

第6回基金委員会

①概要

2010年10月に開催された第5回基金委員会において、基金委員会は再び年2回開催されることとなった。このため、基金の状況の確認と第5回基金委員会で一部承認が行われた2011年の資金配分計画等を決定するため、2011年3月にマレーシアのクアラ・ルンプールにおいて第6回基金委員会が開催された。会議には、沿岸三カ国、インド、中国、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、IMO、マラッカ海峡協議会、MENAS、日本財団、ドイツ（オブザーバー）が出席した。

（※ 日本政府代表の国土交通省は、東日本大震災対応のため欠席）

②会議の主な内容

a 資金拠出の状況

基金の事務局を務めるマレーシア海事局から、2010年10月以降基金に対して以下の通りの拠出が行われたことが報告された。

i 2010年分拠出として
MENASから100万USドル、IMOから5万USドル

ii 2011年分として
IMOから5万USドル

また、事務局より航行援助施設基金の口座残高が4,145百万USドルであることが報告され、基金の運用状況について確認が行われた。

b 2010年の作業報告及び2011年の作業計画・資金配分計画

沿岸三カ国から、2010年に実施された各国の航行援助施設に係る維持・更新作業の報告が行われた。この中でマレーシアからは、2010年に予定されていた灯標の修繕及び代替作業の一部が、入札手続きの遅延により2011年へと持ち越しへになったことも報告された。

2010年の業務監査を行ったマラッカ海峡協議会からは、
・確認された航行援助施設の約20%が機能しておらず、航行安全に支障を及ぼすおそれがあること
・予備部品や機器の調達における効率性を改善する必要があること
・技術スタッフの人材育成を行う必要があることを指摘する報告が行われた。

また、沿岸国からは2011年の作業計画が報告され、前回の委員会で議論となったインドネシアによるBuffalo Rock灯標の代替作業についても、所要額が95万USドルに減額されていること等を勘案して基金を活用することで合意された。

この結果、各国の作業計画を踏まえて、基金委員会として2011年の資金配分計画を以下の通り承認した。

ⅰ インドネシア 1,575,543.22 USドル
ⅱ マレーシア 2,498,084.00 USドル
ⅲ 委員会事務局 43,000.00 USドル（合計4,116,627.22USドル）

なお、上記の金額には、前回の基金委員会で合意され既に基金より支出されている第1四半期分の費用も含まれる。また、シンガポールは、管理する5つの航行援助施設の維持管理を自己財源で行い、引き続き基金の活用は行わない旨を表明した。

さらに、前回基金委員会での問題提起を受けて、基金を活用しての活動がより容易に理解できるよう作業報告や作業計画についての「標準的な定型書式」が事務局より提案され、これについても合意された。

リ 第7回基金委員会
① 概要
2011年10月17日に第7回基金委員会がマレーシアのマラッカで開催された。今回の基金委員会は、基金とならんで「協力メカニズム」の重要な構成要素となっている「協力フォーラム」等のマ・シ海峡関連会議がマラッカで開催されたことに合わせて、これらの会議と連続する形で開催された。会議には、沿岸三カ国、日本（国土交通省）、インド、アラブ首長国連邦、IMO、マラッカ海峡協議会、国際航行援助基金 (International Federation for Aids to Navigation 「IFAN」、旧MENASが名称変更したもの)、日本財団が出席した。

② 会議の主な内容
a 資金拠出の状況
基金の事務局を務めるマレーシア海事局から、2011年分として現在までの金利の拠出が行われたことが報告された。
i 韓国から 91,554.14USドル
ii UAEから10万USドル
iii  IMO から 5 万 US ドル
iv  マラッカ海峡協議会から 50 万 US ドル
v  日本財団から 100 万 US ドル

さらに、事務局より航行援助施設基金の口座残高が 10月 1 日現在で 2,125,642.13 US ドルであることが報告され、基金の運用状況について確認が行われた。

なお、これまではオブザーバーの立場であった日本（国土交通省）が、本基金委員会より正式なメンバーとなった。

b 2011年の作業報告及び2012年の作業計画・資金配分計画
沿岸三カ国からこれまで行われた2011年の航行援助施設に係る維持・更新業務の実施結果が報告された。
また、業務の監査を担当するマラッカ海峡協議会より、一回目の監査結果の報告が行われ、航行援助施設の適切な維持管理等についても意見が述べられた。

続いて、沿岸三カ国から2012年の作業計画及び2012年の必要予算額について説明が行われた。なお、インドネシア及びマレーシアから、作業の一部についてはそれぞれ自己財源により実施される旨の説明があった。またシンガポールは、管理する5つの航行援助施設の維持管理を自己財源（13.8万USドル）で行い、基金の活用は行わない旨を表明した。

さらに、基金からの資金配分計画について検討が行われ、インドネシアからは 309.8万USドル、マレーシアからは49.99万USドルの額が示された。
しかしながら、インドネシアから提示された案のうち一部あたり100万USドルを上回る経費が計上されている航行援助施設の更新作業については、2012年3月までに実施される予備調査の結果を踏まえて最終的な支出額を決定することとし、本委員会で承認する資金配分計画からは除外されることとなった。
この結果、基金委員会は2012年第1四半期の資金配分計画を以下の通り承認した。

i  インドネシア 648,370.00USドル
ii  マレーシア 499,908.00USドル
iii 委員会事務局 4.5万USドル（合計1,193,278.00USドル）
第8回基金委員会

(1) 概要

イ 背景

第8回目基金委員会は、2012年4月10日にマレーシアのプトラジャヤにおいて開催された。日本財団は、基金の設立当初5年間における所要費用の3分の1を拠出する旨を表明しており、航行援助施設の現況調査の段階から継続して多額の資金を拠出している。また、日本船主協会等の我が国関係団体も（財）マラッカ海峡協議会を通じて資金の拠出を行っている。

ロ 出席者

沿岸三カ国（インドネシア、マレーシア及びシンガポール）、インド、中国、日本（国土交通省）、アラブ首長国連邦（U A E）、マラッカ海峡協議会、国際航行援助基金（I F A N）、日本財団

ハ 概要

①基金の運営・資金拠出の状況

基金の事務局を務めるマレーシア海事局から、2011年10月以降基金に対して以下の通りの拠出が行われたことが報告された。

2012年分拠出として、

a アラブ首長国連邦から10万USドル
b マラッカ海峡協議会から50万USドル。

また、インドネシアとマレーシアから、それぞれの2011
年における残額について発表され、インドネシアは20,608.66 USドルを2012年のメンテナンス計画に係る費用総額から相殺することとし、マレーシアは699,067.00USドルを基金に返却することを報告した。

更には、事務局より航行援助施設基金の口座残高が2,405,646.60USドルであることが報告され、基金の運用状況について確認が行われた。

②2011年及び2012年第1四半期の作業報告及び2012年の作業計画・資金配分計画

沿岸三カ国から、2011年の第4四半期及び2012年の第1四半期に実施された各国の航行援助施設に係る維持・更新作業の報告が行われた。

インドネシアにおいては通常のメンテナンス作業に加え、バッファロー・ロック北灯標、ワン・ファザムバンク北灯標の準備調査及びバッファロー・ロック北灯標の代替が行われたことが発表された。

マレーシアからは、パンジャン・ウタラ灯標とトノポク・ウタラ灯標の土木・建築工事、セパ灯標の取替並びにプキッ・セゲンティン灯台の光源設備及びシステムの更新が行われたことが発表された。

業務監査を行ったマラッカ海峡協議会からは、iインドネシア、マレーシアでそれぞれ5つの航行援助施設が機能していなかったこと、ii定期的な監視のための訪問の頻度を増やす必要があること、iii技術スタッフの人材育成を行う必要があること、iv航行援助施設における破壊的窃盗を防止する措置が必要であることを指摘する報告が行われた。

また、沿岸国からは2012年の作業計画が報告された。前回の委員会でインドネシアから提出され、再度検討することになっていた代替工事計画については、ラレイ・ショー・ル灯標の代替をインドネシアが独自の予算で行うこととなり、改訂された計画が提出された。

この結果、各国の作業計画を踏まえて、基金委員会として2012年の資金配分計画を以下の通り承認した。

a インドネシア 1,430,085.00 USドル
b マレーシア 499,908.00 USドル
c 委員会事務局 45,000.00 USドル

（合計 197.5万USドル）

（なお、上記の金額には、前回の基金委員会で合意され既に基金より支出されている第1四半期分の費用も含まれ

14
る。また、シンガポールについては、管理する5つの航行援助施設の維持管理を独自の予算で行い、引き続き基金の活用は行わない旨を表明した。)

③基金への資金拠出、次回委員会の開催等

日本財団は、会議での議論をより有意義なものとするために、基金委員会の開催に先立って、沿岸国はマ・シ海峡の航行援助施設に関する作業報告一式と次年度分として必要な予算案を提示するよう改めて要請した。

また、日本財団は、内部での検討を経て2012年のメンテナンス作業に要する総費用の3分の1を基金へ拠出する旨表明した。

中国は、2012年に基金に対し200,000USドルを拠出することを言明した。

IFANは2011年分としての拠出100万USドルを、2012年前半に拠出する予定であること報告した。

次回の第9回基金委員会は、12月に開催されることとなった。

二 意義

今回の第8回航行援助施設基金委員会においては、前回会合で差し戻され再度検討されることとなっていたインドネシアの代替工事計画が議論になると思われていたが、インドネシアが独自予算でラレイ・ショール灯標の代替を行うこととしたため、改訂された作業計画が採択された。

また、これまで問題としていなかった、各国における前年度予算の残額の処理について議論され、基金の透明性を高めるため、残額については一旦基金に返納すべきではないかという意見が出された。これに対し、マレーシアは返納することに合意したものの、インドネシアからは国内の規則上、一旦国庫に入ったものを返納することは難しい旨発言があり、次年度予算から残額分を相殺した額を配分することとなった。

また、沿岸国からの作業計画に関しては、予算の根拠が十分に明らかにされておらず、委員会においてその点について指摘されると当該計画を取り下げる等、透明性の向上に対する意識の低さが見受けられた。

今回の基金委員会においても、関連資料の委員会メンバーへの配布は直前であり、十分な事前準備が出来なかったところ、引き続き改善を求めていくこととしている。

基金の運営は次回の第9回会合を最後にシンガポールへ移管されることとなっており、適切な基金の移管が行われ
るよう注視する必要があると思われる。

（２）会議レポート

イ 開会
① 海峡沿岸国と利用国による「第8回航行援助施設基金委員会（以下、「基金委員会」という。）」は、2012年4月10日に、マレーシア・ブトラジャヤのプルマン・ブトラジャヤ・レイクサイド・ホテルにおいて開催された。

② 会議には、海峡沿岸国（インドネシア、マレーシア及びシンガポール）、中華人民共和国、インド、日本、アラブ首長国連邦(UAE)、IFAN(International Foundation for Aids to Navigation)、マラッカ海峡協議会(MSC)、日本財団の代表が参加して行われた。（資料8-1参照）

③ 会議の開始に際し、基金委員会の議長を務めるアハマド・オスマン局長は、各代表団の連邦政府首都であるプトラジャヤへの訪問を歓迎するとともに、会議への参加に感謝する旨述べた。

④ インドネシアとシンガポールはそれぞれ、マレーシアによる会議の開催と手配に感謝を述べた。また、他の代表団、特にアラブ首長国連邦、IFAN及び日本財団からの参加を歓迎し、基金への継続的な支援と拠出に対する感謝の意を表すとともに、基金の運営について積極的で有益な議論を期待する旨述べた。

⑤ 中国、インド、日本、アラブ首長国連邦、IFAN及びマラッカ海峡協議会は、マレーシアでの第8回基金委員会の開催に祝意を述べた。

⑥ 日本財団は、沿岸国に感謝するとともに、航行援助施設基金の活動に関する最新状況、特に航行援助施設のメンテナンス作業や今後の作業計画に関する定期的な報告を得ることを期待する旨述べた。

⑦ マレーシアは、全ての代表団に対して会議への出席を感謝するとともに、有益な議論を期待し、さまざまな資金拠出者と共に活動を継続していけるよう期待する旨述べた。

ロ 議題の採択

基金委員会は、文書ANF8/2/1の議題案について検討し、これを採択した。

基金委員会は、議題6.1としてプロジェクト4の実施に関する最新状況を報告するとのシンガポールからの提案を検討し、これを承認した。（資料8-2参照）

ハ 代表の信任上に関する報告
基金委員会は、全ての代表の資格が適切であるとの事務局からの報告を受けるとともに、基金委員会が正当に成立したことを確認した。

＝ 基金の管理及び運営
①基金委員会は、事務局から文書 ANF8/4/1 のとおり報告された、利用国及び利用者からの 2012 年の資金拠出について、以下のとおり確認した。（資料 8-3 参照）
   a アラブ首長国連邦 100,000.00 US ドル
   b マラッカ海峡協議会 500,000.00 US ドル
②基金委員会はまた、事務局から報告された 2008 年から 2011 年までの沿岸国のメンテナンス計画、資金拠出、会議の開催、業務監査及び第三者による会計監査などの基金の活動状況を確認した。
③基金委員会は、2011 年のメンテナンス作業に係る支出におけるインドネシア及びマレーシアの留保金（残余金）を確認した。詳細は以下のとおり。
   a インドネシアは、2012 年のメンテナンス計画にかかる費用総額から 20,608.66 US ドルを相殺する。基金委員会はインドネシアが（2011 年に）銀行手数料と為替（通貨交換）による控除を受けた後 1,571,311.22 US ドルを受領したことを確認した。
   b マレーシアは、699,067.00US ドルを基金に送金する。
ホ 2011 年第 4 四半期及び 2012 年第 1 四半期の航行援助施設の維持・更新作業報告
基金委員会は、沿岸国より文書 ANF8/5/1 として提示されたマ・シ海峡内の分離通航帯（TSS）における 51 の主要な航行援助施設の維持・更新に関する以下のような報告を確認した。（資料 8-4 参照）
①2011 年第 4 四半期のメンテナンス計画
   a 2011 年のインドネシアの航行援助施設の維持に要した費用は、メンテナンス作業計画（PMP）として承認された金額 1,575,543.22 US ドルのうち 1,550,682.56 US ドル。その詳細は以下のとおり。
   i 土木・建築工事の準備調査 176,075.56 US ドル
      ○バッファロー・ロック北灯標
      ○ワン・ファザムバンク北灯標
   ii 通常のメンテナンス作業 163,304.23 US ドル
   iii バッファロー・ロック北灯標の代替 912,317.62 US ドル
   vi 交換部品の調達 298,985.15 US ドル
b マレーシアは、承認されたPMP（メンテナンス作業計画）に基づく2,498,084.00 US ドルのうち1,805,728.00 US ドルの費用により、航行援助施設のメンテナンス作業を実施した。これには、パンジャン・ウタラ灯標とトンポク・ウタラ灯標の土木・建築工事、セパ灯標の取替並びにブキッ・セゲンティン灯台の光源設備及びシステムの更新が含まれる。2011年のメンテナンス作業で節約できた699,067.00 US ドルは、2012年4月までに基金へ送金される。

②2012年第1四半期のメンテナンス計画
基金委員会は、インドネシア及びマレーシアから示された2012年第1四半期のメンテナンス計画（作業報告）を確認した。原則として、基金委員会は、昨年開催された第7回基金委員会において、2012年の作業計画を承認している。その詳細は以下のとおり。
a インドネシアによる航行援助施設のメンテナンス費用は、提案された年間予算3,256,265.74 US ドルのうち648,370.00 US ドルであった。
b マレーシアは、499,908.00 US ドルの費用で、プラウ・ウンダン灯台及びタンジュン・ピアイ灯標の土木・建築工事、予備部品の調達並び維持管理検査といった航行援助施設のメンテナンス作業を実施した。
シンガポールは、総額104,000.00US ドルの費用で行うベドック灯台及びスルタン・ショール灯台の維持管理計画を自らの資金を活用して行った。これらの作業には土木・建築工事が含まれていた。日本財団は、会議での議論をより有意義なものとするために、基金委員会の開催に先立って、沿岸国はマ・シ海峡の航行援助施設に関する作業報告一式と次年度分として必要な予算案を提示するよう改めて要請した。
ヘ 2011年の年次業務監査報告
①基金委員会は、インドネシアとマレーシアの両沿岸国が作業計画に従って維持管理作業を実施したとする文書ANF8/5/2の通り、マラッカ海峡協議会から提出された2011年の業務監査報告を確認した。（資料8-5参照）
②また、基金委員会は、以下の内容を含む2011年の業務監査におけるマラッカ海峡協議会からの報告を確認した。
a マレーシアに属する5つの航行援助施設が、マ・シ海峡の航行安全に支障をきたすおそれのある機能不全状態
にあった。
b インドネシアに属する5つの航行援助施設も、マ・シ海峡の航行安全に支障をきたすおそれのある機能不全状態にあった。
c 維持管理及び修繕の遅延を回避するため、マ・シ海峡の航行援助施設への定期的な訪問による監視頻度増加の提案。
d 航行援助施設のメンテナンスに関する沿岸国の能力向上（人材育成）プログラムの実施についての潜在的な提案者への勧告。
e 航行援助施設における破壊的な窃盗を防止するための措置の導入。

③基金委員会は、業務監査人の指摘に関してインドネシア及びマレーシアが今後講じる対策を確認した。
a インドネシア
航行援助施設の付近をパトロールするために小型高速艇を含めた船艇の数を増やすこと。
b マレーシア
監視と現場訪問の頻度を増加させること、及びマレーシアは、点灯していない5つの航行援助施設に内蔵式の監視装置を設置することを検討している。

ト 2012年の作業計画
①基金委員会は、2012年の作業計画に関し以下の事項を内容とする沿岸国から提出された文書 ANF 8/5/3 の改訂版を承認した。（資料 8-6参照）
a インドネシア
総額 1,450,693.70 USドル
i 土木・建築工事の準備調査 165,000.00 USドル
○ワン・ファザム・バンク南灯標
○クラ島灯標
ii 通常のメンテナンス作業 164,441.74 USドル
iii 代替更新工事 802,322.96 USドル
ワン・ファザム・バンク北灯標
iv 交換備品の調達 318,929.00 USドル
b マレーシア
総額 499,908.00 USドル
i 土木・建築工事 280,000.00 USドル
○タンジュン・ピアイ灯標
○ブラウ・ウンダン灯台
ii 基金委員会による検査費用 15,000.00 USドル
iii 予備部品の調達 204,908.00 USドル
c 指名された外部監査人による会計監査、マラッカ海峡協
議会による業務監査及び委員会会議の開催を含む事務局の活動による経費の合計は、45,000.00 USドル。

シンガポールは、総額104,000.00 USドルのスルタン・ショール灯台及びベドック灯台の土木建築工事並びにメンテナンス経費からなる2012年の航行援助施設の維持管理に、基金の資金は活用しない。

②基金委員会はまた、インドネシアとマレーシアからの以下の貢献を確認した。

a 見積費用400万USドルによる、ノンガサ灯台、タンジュン・メダン灯台、ラレイ・ショール灯標及びニパ灯標の代替更新及び改良工事。

b パンジャン・セラタン灯標及びタンジュン・ルー灯標の代替更新費用300万USドル並びに18基の航行援助施設の運営費用258,000USドル。

③基金委員会は、指名された外部監査人による会計監査、マラッカ海峡協議会による業務監査及び委員会会議の開催を含む事務局の活動を承認した。

基金予算及び支出の検討

①基金の財務状況に関する報告

a 基金委員会は、文書ANF8/6/1に示された、以下のとおりの2012年3月31日現在の基金の財務状況を確認した。
（資料8-7参照）

i 2011年
○拠出金の合計 2,001,554.14 USドル
○支出額の合計 4,068,627.10 USドル

ii 2012年
○拠出金の合計 600,000.00 USドル
○支出額の合計 514,910.00 USドル

b 基金委員会は、2012年3月31日現在の残高が2,405,646.60 USドルであるとの航行援助施設の維持に係る基金の財務状況を確認した。

c 基金委員会は、中国及びインドから拠出された協力メカニズムの下でのプロジェクト4実施のための資金1,934,032.22 USドルが一時的に基金に留め置かれていることを確認した。

d 基金委員会は、シンガポールから報告があったとおりプロジェクト4が完了したことを確認した。また、現在利用可能な資金によりプロジェクトの実施を十分に賄うことができあるであろうことも確認した。

e 日本財団は、事務局に対して承認された予算額、支出
額及び沿岸国による講じられた節減策の概要をまとめた資料の提供を要請した。それを受け基金委員会は、議題ANF 8/4/3の下で詳細を提供するとの事務局の提案に合意した。（資料 8-8参照）
②会計監査人からの報告
基金委員会は、文書ANF 8/6/2のとおり独立した第三者監査人であるWan Nadzir & Coから提出された基金の口座に関する報告書を検討し承認した。（資料 8-9参照）
基金委員会は、会計監査人からの以下の提案を確認した。
a 沿岸国及び事務局による航行援助施設の維持管理に関する詳細な支出を提供すること、
b 毎年の作業計画を含む予算管理をさらに改善すること。
リ 2012年の予算提案
①基金委員会は、文書ANF 8/6/3 Rev. 1に以下のとおり記載された、沿岸国のために事務局から提出された予算提案の改訂版を検討した。（資料 8-10参照）
a インドネシア 1,450,693.70 US ドル
b マレーシア 499,908.00 US ドル
c 事務局 45,000.00 US ドル
②基金委員会は、事務局が行った2012年の第1四半期におけるマレーシアへの支出と、インドネシア及びマレーシアで実施された第1回目の業務監査に関するマラッカ海峡協議会への15,000 US ドルの支出を確認した。
ヌ 基金の配分
①基金委員会は、文書ANF8/6/3Rev. 1の通りに提案された合計額1,974,993.00 US ドルとなる2012年の支出案を採択した。支出は、以下のとおりのものを基金の残高が残っていることを条件に、優先順位にしたがって行われる。（資料 8-11参照）
a インドネシア 1,430,085.00 US ドル
b マレーシア 499,908.00 US ドル
c 事務局 45,000.00 US ドル
i 第8回及び第9回委員会の開催経費 12,000.00 US ドル
ii 会計監査費用 3,000.00 US ドル
iii 業務監査費用 30,000.00 US ドル
②基金委員会は、シンガポールは同国が維持管理しているマ・シ海峡内の航行援助施設の2012年の維持・更新作業に関して基金の資金を活用しないことを確認した。
③基金委員会は、プロジェクト4に要する費用の見積もりが
ル 基金への拠出
① 中国は、2012年に基金に対し200,000USドルを拠出することを表明した。
② IFANからの2011年の拠出100万USドルは、2012年前半に拠出される予定である。
③ 日本財団は、内部での検討を経て2012年のメンテナンス作業に要する総費用の3分の1を基金へ拠出する旨表明した。

ヲ 次回会合の開催日及び場所
基金委員会は、第9回基金委員会を2012年12月に開催することに合意した。会議の詳細については、いずれ委員会メンバーに連絡される。

ワ その他
① 基金委員会は、マレーシアのMaritime Transport Training Institute (MATRAIN)において、2月28日から3月8日まで開催された航行援助施設のメンテナンスに関する技術ワークショップについての日本からの報告を確認した。沿岸国は、協力メカニズムの成功を示す技術ワークショップの開催という実地協力を行った日本政府、さらには基金に対して感謝を述べた。
② 基金委員会は、2012年の基金への拠出に対するUAEとマラッカ海峡協議会(MSC)への感謝状の贈呈式に立ち合った。また、マレーシアが調整するHNS (有害物質)への備えに関するプロジェクト2の実施の一部として、GIS-CHEMMAP Datasets及び危機対応用具のインドネシアへの贈呈式が行われた。
③ 基金委員会は、2012年9月24日から28日にかけてシンガポールで開催される、マラッカ・シンガポール海峡の航行安全と環境保全に関する協力メカニズムの下での第5回協力フォーラム及び第5回プロジェクト調整委員会、並びに第37回TTEGへのシンガポールからの出席招待を確認した。
④ 基金委員会は、この会議の最新の文書が2012年4月15日までに協力メカニズムのウェブサイトにアップロードされることを確認した。

カ 報告書の検討及び採択
基金委員会は、会議報告書を検討し採択した。
ヨ　閉会
① 議長は、全ての代表団に対し、第8回基金委員会を成功に導いた前向きな貢献と協力について謝意を表明した。
② 参加者たちもまた、マレーシアに対し会議の開催、様々な準備及び歓待について謝意を示すとともに、会議の議長を務めたアハマド・オスマン局長にも感謝の意を表明した。

4　第9回基金委員会

(1) 概要
イ　背景
2012年4月に開催された第8回航行援助施設基金委員会に続き、12月13、14日に第9回基金委員会がマレーシアのジョホール・バルで開催された。
今回の基金委員会を以て、事務局がマレーシアからシンガポールに移管されるところ、引渡しに関するセレモニーも合わせて行われることとなった。
ロ　出席者
沿岸三カ国（インドネシア、マレーシア及びシンガポール）、インド、中国、日本（国土交通省）、アラブ首長国連邦（UAR）、国際海事機関（IMO）、マラッカ海峡協議会、国際航行援助基金（IFAN）、日本財団
ハ　概要
①基金の運営・資金拠出の状況
基金の事務局を務めるマレーシア海事局から、2012年4月以降基金に対して以下の通りの拠出が行われたことが報告された。

a 2011年分拠出として
   ・IFANから100万USドル
b 2012年分拠出として
   ・韓国から87,870.33USドル
   ・国際海事機関（IMO）から5万USドル
   ・日本財団から66万USドル
また、事務局より航行援助施設基金の口座残高が3,396,793.45USドルであることが報告され、基金の運用状況について確認が行われた。
2013年から事務局を務めることとなるシンガポールから、翌年からの基金の運営について以下の提案がなされ、承認された。
   ・「MPA（海事港湾庁）－航行援助施設基金」の名義で、DBS Limited（銀行）にUSドルの当座預金口座を開設すること。
   ・沿岸国は、作業報告と提案する作業計画及び支出に関する要請を承認された書式を使用して会議の1か月前に事務局に提出すること。
   ・シンガポールが会計年度ごとに登録された会計事務所により基金口座の会計監査が行われるよう入札を実施すること。
   ・マラッカ海峡協議会を2013年から2015年の間、第三者業務監査人として指名し活動させること。
②2012年第1～第3四半期の作業報告及び2013年の作業計画・資金配分計画
沿岸三カ国から、2012年の第1～3四半期に実施された各国の航行援助施設に係る維持・更新作業の報告が行われた。
インドネシアからは、認められた予算の節約により、180,858.73USドルの執行残額が見込まれる旨発表された。
マレーシアからは、151,193.00USドルの節約が見込まれ、この残額は来年までに基金へ返納される旨報告された。
業務監査を行ったマラッカ海峡協議会からは、インドネシアに対して
i定期的な監視のための訪問の頻度を増やす必要があること。
ii 技術スタッフの人材育成を行う必要があること
iii マレーシアに対して夜間に自動で点灯する航行援助施設機器の設置が必要であること

を指摘する報告が行われた。

また、沿岸国からは2013年の作業計画が報告され、基金委員会として2013年の資金配分計画を以下の通り原則として承認した。

・インドネシア 1,654,014.01 USドル
  （180,858.73 USドルを相殺した額）

・マレーシア 974,744.00 USドル

・委員会事務局 45,000.00 USドル

（合計 267.4万USドル）

（なお、シンガポールについては、管理する5つの航行援助施設の維持管理を独自の予算で行い、引き続き基金の活用は行わない旨を表明した。）

③基金への資金拠出、次回委員会の開催等

日本財団は、航行援助施設基金への資金拠出の持続可能性と奨励、とりわけ民間（海運）企業からの拠出を促進する必要性に関して意見を述べた。日本財団は更に、資金拠出者を惹きつけるような新たな取り組みが不足していることを指摘し、沿岸国が新たな資金拠出者の獲得に向けた努力を強化することを期待したいと述べた。沿岸国はこのことを認識し、緊密に連携して取り組むことに同意した。

中国は、2012年に基金に対し200,000USドルを拠出することを宣言した。

次回の第10回基金委員会は、4月にシンガポールで開催されることとなった。

マレーシアの議長及び事務局の任期が終了し、来年からはシンガポールが引き継ぐことを記念して、第9回基金委員会の閉会式の一部として記者会見が行われた。シンガポールは、今後の基金の透明性の向上に意欲を示しており、今回の委員会においても提出書類の様式の統一等の提案がなされた。基金への海運業界の参画を求めるためにも透明性の確保は重要で
あるところ、シンガポールのこのような取組みは、基金の安定した運営に必要不可欠なものであると思われる。

2013年は基金が設立されて5年目の節目の年でもあり、航行援助施設基金委員会が更なる発展を遂げるため、新たな取組みが必要な時期に来ていると思われる。基金の安定した運営を確保するためには、これまで拠出を行ってきた利用国や日本財団、IFANに加えて、海運業界を始めとする新たな拠出者を惹きつける努力が必要とされており、透明性向上のための努力や拠出者の貢献を国際的な舞台で紹介する等の新たな取組みが必要とされていると思われる。

これらの課題に取組むにあたり、シンガポールを始めとする沿岸国はもちろんのこと、利用国、拠出者等の関係者がより一層の密接な連携を保ち、議論を進めることが重要であると思われる。

(2) 会議レポート

イ 開会
①「第9回航行援助施設基金委員会（以下、「基金委員会」という。）」は、2012年12月13日及び14日に、マレーシア・ジョホールのKSLホテル＆リゾート・ジョホール・バルにおいて開催された。
②会議には、海峡沿岸国（インドネシア、マレーシア及びシンガポール）、中華人民共和国、インド、日本、アラブ首長国連邦（UAE）、IFAN（International Foundation for Aids to Navigation）、国際海事機関（IMO）、マラッカ海峡協議会（MSC）及び日本財団の代表が参加して行われた。（資料9-1参照）
③会議の開始に際し、基金委員会の議長を務めるアハマド・オスマン局長は、各代表団のマレーシア半島南部の都市、ジョホール・バルへの訪問を歓迎するとともに、会議への参加に感謝する旨述べた。また、マレーシアの開催国及び事務局としての5年間の任期が本年末で終了し、シンガポールに引き継がれると述べた。これにより、委員会メンバーによる貢献、とりわけ継続的な拠出は、利用国の航行援助施設基金への明確な支援を実証していると述べた。
④インドネシアとシンガポールは、会議の開催とすべての手配についてマレーシアに感謝を述べた。また、他の代表団の基金委員会への参加を歓迎し、基金への継続的な支援と拠出に対して感謝を述べた。シンガポールは、基金への引き続きの支援と拠出を期待する旨述べた。
⑤中国の代表は、会議の開催についてマレーシアに謝意を述べるとともに、協力メカニズムの下でのマ・シ海峡の航行安全と環境保全の強化に関して、中国は継続して支援していく旨述べた。さらに、中国は200,000USドルを拠出する準備ができている旨述べた。

⑥インド、アラブ首長国連邦、国際海事機構及びIFANも、マレーシアでの第9回基金委員会の開催に祝意を述べるとともに、2008年の航行援助施設基金の設立以来、基金委員会の運営にあたってその見識とリーダーシップを発揮してきた議長に対して感謝する旨述べた。

⑦日本とマラッカ海峡協議会は、マレーシアに対し感謝の意を示すとともに、マ・シ海峡におけるより良い協力により航行の安全が強化されることを期待すると述べた。また日本は、2013年においても人材育成や航行援助施設の予備調査を通じた直接的な貢献により、沿岸国と協働していく用意があると述べた。

⑧日本財団は、沿岸国に対して感謝の意を示すとともに、沿岸国とともに行われる基金の活動と協力者を含む潜在的な拠出者の注目と関心を集め、基金を安定して運営することを期待する旨述べた。

⑨マレーシアは、全ての代表に対して会議への出席を感謝するとともに、有益な議論を期待し、他の沿岸国や委員会のメンバーと活動を継続していけるよう期待する旨述べた。

ロ　議題の採択
　基金委員会は、文書ANF9/2/1として提案された議題案について検討し、採択した。（資料9-2参照）

ハ　代表の信任上に関する報告
　基金委員会は、全ての代表の資格が適切であるとの事務局からの報告を受けるとともに、基金委員会が正当に成立したこと確認した。

ニ　基金の管理及び運営
　①基金委員会は、事務局から文書ANF9/4/1のとおり報告された利用国及び利用者からの2012年の拠出について確認した。内容は以下のとおり。（資料9-3参照）

a 韓国 87,870.33 USドル
b アラブ首長国連邦 100,000 USドル
c IFAN（2011年分として）100万USドル
d 国際海事機構 50,000 USドル
e マラッカ海峡協議会 500,000 USドル
② 基金委員会はまた、事務局から報告された 2008 年から 2011 年までの沿岸国による航行援助施設基金に関わる活動の最新状況を確認した。

③ 基金委員会は、2011 年に承認された予算額と比較して 2011 年から 2012 年のメンテナンス作業における節約による執行残額が 180,858.73 US ドルになるとの文書 ANF9/4/3 によるインドネシアからの報告を確認した。（資料 9-4 参照）

④ 基金委員会は、文書 ANF9/4/4 に記された沿岸国が2015年までのシンガポールが議長を務める期間における基金の運営計画に関するシンガポールからの提案について議論を行い、これに同意した。承認された提案は以下のとおり。（資料 9-5 参照）

a 「MPA (海事港湾庁) - 航行援助施設基金」の名義で、DBS Limited（銀行）に US ドルの当座預金口座を開設すること。

b 沿岸国は、作業報告と提案する作業計画を承認された書式を使用して会議の 1か月前に事務局に提出すること。

c 沿岸国は、基金からの支出に関する要請を統一された書式を使用して基金の会計責任者及び事務局に提出すること。

d シンガポールは、2013年から2015年までの3年間、会計年度ごとに登録された会計事務所により基金口座の会計監査が行われるよう実施する。

e 基金委員会は、マラッカ海峡協議会を2013年から2015年の間、第三者業務監査人として指名し活動させる。

⑤ 基金委員会はまた、上記の承認された提案は作業や基金の状況を基金委員会で共有するために有益であろうことを確認した。

ホ 2012年第1〜第3四半期の維持・更新作業報告
基金委員会は、沿岸国より文書 ANF9/5/1 として提示されたマ・シ海峡内の分離通航帯（TSS）における 51 の主要な航行援助施設の維持・更新に関する以下のような報告を確認した。（資料 9-6 参照）

① インドネシア
a 2012年第1四半期から第3四半期までのインドネシアの航行援助施設の維持に要した費用は、メンテナンス作業計画（PMP）として承認された金額 4,055,741.00 US ドルのうち 541,736.02 US ドル。
2012年通年での維持作業の見積費用総額は、1,369,410.26 USドル。詳細は以下のとおり。

ⅰ 土木・建築工事の準備調査 158,119.95 USドル
ⅱ 通常のメンテナンス作業 188,563.45 USドル
ⅲ 代替更新作業 721,040.18 USドル
ⅳ 交換部品の調達 301,686.68 USドル

マレーシア
承認されたPMPに基づく499,908.00 USドルのうち348,715.00 USドルの費用により、航行援助施設のメンテナンス作業を実施した。これには、ブラウ・ウンダン灯台及びタンジュン・ピアイ灯標の土木・建築工事、交換部品並びに1回目の巡回点検が含まれる。2012年第4四半期のメンテナンス作業の結果次第ではあるが、メンテナンス作業で節約できると見込まれる151,193.00 USドルは来年までに基金に送金される。

シンガポール
総額58,500.00 USドルの費用によるベドック灯台及びスルタン・ショール灯台の維持管理計画を自らの資金を活用して行いた。これらの作業には、灯台とその周辺施設の構造上の修繕及び再塗装が含まれていた。

2012年の年次作業監査報告
①基金委員会は、（インドネシアとマレーシアの）両沿岸国が作業計画に従って維持管理作業を実施したとする文書ANF9/5/2の通り、マラッカ海峡協議会から提出された2012年の暫定業務監査報告書を確認した。（資料9-7参照）
②基金委員会はまた、インドネシアの航行援助施設に関する2回目の巡回点検は11月の終わりから12月の終わりまでの予定で現在作業中である旨のマラッカ海峡協議会からの報告を確認した。
③さらに基金委員会は、業務監査人からの意見に関してインドネシア及びマレーシアが今後とるべき措置を確認した。

インドネシア
i 監視と現場訪問の頻度を増加させること。
ii メンテナンス作業に従事する要員に対する計画的な能力向上プログラム。

マレーシア
夜間に自動で点灯する航行援助施設機器の設置。

2013年の作業計画
①基金委員会は、2013年の作業計画に関し以下の事項を内容として沿岸
国から提出された文書 ANF9/5/3 について検討し、原則として承認した。（資料 9-8 参照）

a インドネシア 1,834,872.74 US ドル
   i 土木・建築工事の準備調査 145,000.00 US ドル
      ○ロブ・ロイ・バンク灯標
      ○バツ・ベルハンティ灯標
   ii 通常のメンテナンス作業 213,268.10 US ドル
   iii 代替更新工事 1,154,382.04 US ドル
      ○ワン・ファザム・バンク南灯標
      ○クラ島灯標
   iv 交換部品の調達 322,222.00 US ドル

b マレーシアは、総額 974,744.00 US ドルの費用により 2013 年のメンテナンス作業を実施する。詳細は以下のとおり。
   i 土木・建築工事 200,000.00 US ドル
      ○タンジュン・トゥアン灯台
      ○タンジュン・トホール灯標
      ○プラウ・ムンギン灯標
   ii プラウ・ウンダン灯台の修復工事 327,869.00 US ドル
   iii 基金委員会による検査費用 20,722.00 US ドル
   iv 電気・機械関連及び予備部品を含む基金の下での 9 基の航行援助施設のメンテナンス 426,153.00 US ドル

c シンガポールは、総額 220,000.00 US ドルとなるラッフルズ灯台の土木・建築工事及びスルタン・ショップール灯台の電気機器の交換からなる 2013 年の航行援助施設の維持管理のため自らの予算を活用する。

②基金委員会は、インドネシアが 2013 年の作業計画の総予算額から（2012 年までの執行残高である）180,858.73 US ドルを相殺し、（2013 年の総額を）1,654,014.01 US ドルとすることを確認した。
③基金委員会はまた、インドネシアとマレーシアからの以下貢献を確認した。
   a インドネシア
      総額 105,000.00 US ドルのタンジュン・メダム灯浮標の代替更新費用並びに総額 120,000.00 US ドルとなるワン・ファザム・バンク灯浮標、ピラミッド・ショップール東灯浮標、ドリアン安全灯浮標及びバッファロー・ロック灯浮標への自動船舶識別装置（AIS）監視システムの設置。
b マレーシア
総額 506,747.00 US ドルとなるピアイ灯浮標の代替更新費用、9 基の航行援助施設のメンテナンス及び18 基の航行援助施設の運用費用。
④基金委員会は、指名された外部監査人による会計監査、マラッカ海峡協議会による業務監査及び委員会会議の開催を含む事務局の活動を承認した。

チ 基金予算及び支出の検討
①基金の財務状況に関する報告
a 基金委員会は、文書 ANF9/6/1において以下のとおり示された航行援助施設基金の財務状況を確認した。（資料9-9参照）
i 拠出金の合計 2,397,870.33 US ドル
ii 支出額の合計 1,973,476.89 US ドル

②基金委員会は、2012年12月6日現在の残高が3,396,793.45 US ドルであるとの航行援助施設の維持管理のための基金の財務状況を確認した。

③基金委員会は、中国及びインドから拠出された協力メカニズムの下でのプロジェクト4実施のための基金2,139,541.22 US ドルが一時的に基金に留め置かれており、その口座残査が1,573,984.22 US ドルであることを確認した。

④基金委員会は、シンガポールで開催された第37回 TTEGにおいてシンガポールからの報告があったとおりプロジェクト4が完了したことを確認した。また、シンガポールとインドネシアにそれぞれ設置された潮汐、潮流及び風向風速の計測・通信装置4 基に係る総額1,199,615.00 US ドルのシンガポールへの支払いはままなく行われることを確認した。シンガポールは、プロジェクト4 の運営費用のためのさらなる財源確保を求めていく。

⑤日本財団は、航行援助施設基金への拠出の持続可能性と奨励、とりわけ民間（海運）企業からの拠出を促進する必要性に関して意見を述べた。この点に関し、日本財団は最近は新たな取り組みが不足していることを指摘し、沿岸国が新たな拠出者の獲得に向けた努力を強化することを期待したいと述べた。沿岸国はこのことを認識し、緊密に連携して取り組むことに同意した。

リ 2013年の予算提案
①基金委員会は、文書 ANF 9/6/2 Rev. 1 に以下のとおり記載された、沿岸国のために事務局から提出された予算提案
の改訂版を検討した。（資料 9-10 参照）

<table>
<thead>
<tr>
<th>国名</th>
<th>所要金額（USドル）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>インドネシア</td>
<td>1,654,014.01</td>
</tr>
<tr>
<td>マレーシア</td>
<td>974,744.00</td>
</tr>
<tr>
<td>事務局</td>
<td>45,000.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

**ヌ 基金の配分**

①基金委員会は、文書 ANF9/6/3 Rev. 1 の通りに提案された合計額 2,673,758.00 US ドルとなる 2013 年の支出案を原則として採択した。支出は、基金の残高が残っていることを条件とし、以下の通りの優先順位にしたがって行われる。（資料 9-11 参照）

<table>
<thead>
<tr>
<th>国名</th>
<th>所要金額（USドル）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>インドネシア</td>
<td>1,654,014.01</td>
</tr>
<tr>
<td>マレーシア</td>
<td>974,744.00</td>
</tr>
<tr>
<td>事務局</td>
<td>45,000.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

ⅰ 第 10 回及び第 11 回基金委員会の開催経費 12,000.00 US ドル
ⅱ 外部会計監査費用 3,000.00 US ドル
ⅲ 業務監査費用 30,000.00 US ドル

②基金委員会は、インドネシアが 2013 年の代替更新工事のための予算を減額するであろうことを確認した。インドネシアは次回の基金委員会において当該工事の実施に必要な金額を報告することとする。

③基金委員会は、2013 年の支出を終えた後の口座残高が723,035.45 US ドルとなることを確認した。

**ル 基金への拠出**

中国は、200,000.00 US ドルの拠出を行う用意ができている。

**ヲ 次回会合の開催日及び場所**

基金委員会は、シンガポールからの提案を検討し、第 10 回基金委員会が 2013 年 4 月に開催されることを確認した。会議の詳細については、いずれ委員会メンバーに連絡される。

**ワ その他**

①基金委員会は、マレーシアの協力を得て 2013 年 2 月 26 日から 3 月 7 日までマレーシア海事局の MATRAIN (Maritime Transport Training Institute) において行われる航行援助施設に関する第 2 回技術ワークショップの開催に関する日本からの提案を確認した。

②基金委員会は、マレーシアによって作成された協力メカニズムのウェブサイトについて確認した。基金委員会は、このウェブサイトが今後もマレーシアにより維持管理され、有益な情報を提供し、協力メカニズムの下での活動、とり
わけ潜在的な資金拠出者に訴えるような航行援助施設基金に関する活動の最新状況を提供していくとのマレーシアの提案に同意した。

カ 報告書の検討及び採択
基金委員会は、会議報告書を検討し採択した。

ヨ 閉会
① マレーシアの議長及び事務局の任期が終了し来年からはシンガポールが引き継ぐことを記念して、第9回基金委員会の閉会式の一部として記者会見が行われた。この機会に、航行援助施設基金の議長は、2009年10月9日に署名された覚書（MOU）の規定5.2及び5.3に従って行われたマラッカ海峡協議会から基金への500,000 USドルの継続的な拠出が、今後3年間（2012-2014年）続けられることを確認し感謝の意を示した。
② 議長は、全ての代表団に対し、第9回基金委員会を成功に導いた前向きな貢献と協力について感謝を述べた。
③ 参加者たちもまた、マレーシアに対し会議の開催、さまざまな準備及び歓待について謝意を示すとともに、会議の議長を務めたアハマド・オスマノン局長にも感謝の言葉を述べた。

5 航行援助施設の維持管理報告
第8回及び第9回基金委員会で確認された沿岸三カ国実施の航行援助施設維持管理報告は次のとおり。
(1) 2011年第4四半期及び2012年第1四半期維持管理報告書（ANF8/5/1:資料8-4参照）
(2) 2012年第1〜3四半期維持管理報告書（ANF9/5/1:資料9-6参照）

6 航行援助施設の作業計画
(1) 2012年作業計画（ANF8/5/3:資料8-6参照）

<table>
<thead>
<tr>
<th>インドネシア</th>
<th>USD 1,450,693.70</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>① 土木・建築工事の準備調査</td>
<td>USD 165,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>○ワン・ファザム・バンク南灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>○クラ島灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>② 通常のメンテナンス作業</td>
<td>USD 164,441.74</td>
</tr>
<tr>
<td>③ 代替更新工事</td>
<td>USD 802,322.96</td>
</tr>
<tr>
<td>○ワン・ファザム・バンク北灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>④ 交換部品の調達</td>
<td>USD 318,929.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>
マレーシア USD 499,908.00
① 土木・建築工事 USD 280,000.00
○タンジュン・ピアイ灯標
○プラウ・ウンダン灯台
② 基金委員会による検査費用 USD 15,000.00
③ 予備部品の調達 USD 204,908.00
ハ 事務局 USD 45,000.00
① 2012年基金委員会の会議費 USD 12,000.00
② 2011年末の年次会計監査費用 USD 3,000.00
③ マラッカ海峡協議会の業務監査費用 USD 30,000.00
(2) 2013年作業計画 (ANF9/5/3:資料9-8参照)

7 基金の財務状況
第8回及び第9回基金員会で確認された航海援助施設基金の財務状況は次のとおり
(1) 基金の口座明細
イ 2011年1月1日から2011年12月31日までの状況
(ANF8/6/1Annex1:資料8-7参照)
ロ 2012年1月1日から2012年3月31日までの状況
(ANF8/6/1Annex3:資料8-7参照)
ハ 2012年1月1日から2012年12月6日までの状況
(ANF9/6/1Annex1:資料9-9参照)
(2) 2012年予算
イ 予算(ANF8/6/3Rev: 資料8-10)
ロ 配分(資料8-11参照)
(3) 2013年の予算
イ 予算(マ協予算を含む)(ANF9/6/2:資料9-10参照)
ロ 配分案(ANF9/6/3Rev.1:資料9-11参照)

8 監査
第8回及び第9回基金員会で確認された「インドネシア・マレーシアの維持管理作業に対するマラッカ海峡協議会による監査報告」及び同委員会で採択された「基金口座に関する第三者機関による監査報告」は次のとおり。
(1) マラッカ海峡協議会による業務監査報告
イ 2011年の業務監査報告書(ANF8/5/2:資料8-5参照)
ロ 2012年の業務監査報告書(ANF9/5/2:資料9-7参照)
(2) 第三者機関による会計監査報告
イ 2011年の会計監査報告書(ANF8/6/2:資料8-9参照)
資料編
<table>
<thead>
<tr>
<th>資料</th>
<th>項目</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>8-1</td>
<td>第8回基金委員会出席者リスト</td>
</tr>
<tr>
<td>8-2</td>
<td>第8回基金委員会議題</td>
</tr>
<tr>
<td>8-3</td>
<td>資金の残額と拠出状況(2012年3月31日現在)</td>
</tr>
<tr>
<td>8-4</td>
<td>維持管理報告 (2011年第4四半期および2012年第1四半期)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>インドネシア</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>マレーシア</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>シンガポール</td>
</tr>
<tr>
<td>8-5</td>
<td>2011年業務監査報告</td>
</tr>
<tr>
<td>8-6</td>
<td>2012年作業計画（改訂）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>インドネシア</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>マレーシア</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>シンガポール</td>
</tr>
<tr>
<td>8-7</td>
<td>基金の財務状況</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>基金の口座明細（2011年1月1日～2011年12月31日）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>基金の口座明細（2012年1月1日～2012年3月31日）</td>
</tr>
<tr>
<td>8-8</td>
<td>2011年基金活動概要</td>
</tr>
<tr>
<td>8-9</td>
<td>2011年会計監査報告</td>
</tr>
<tr>
<td>8-10</td>
<td>2012年基金予算案</td>
</tr>
<tr>
<td>8-11</td>
<td>2012年基金配分案</td>
</tr>
</tbody>
</table>
資料 9-1：第 9 回基金委員会出席者リスト ................................. 177
資料 9-2：第 9 回基金委員会議題 ............................................. 181
資料 9-3：資金の拠出状況 ..................................................... 184
資料 9-4：インドネシア基金管理 .............................................. 185
資料 9-5：シンガポール基金管理計画 ...................................... 186
資料 9-6：維持管理報告（2012 年第 1 四半期～第 3 四半期） …… 190
  ・インドネシア ............................................................. 191
  ・マレーシア ............................................................... 204
  ・シンガポール ............................................................. 225
資料 9-7：2012 年業務監査報告 .............................................. 227
資料 9-8：2013 年作業計画 ................................................... 237
  ・インドネシア ............................................................. 238
  ・マレーシア ............................................................... 247
  ・シンガポール ............................................................. 257
資料 9-9：基金の財務状況 .................................................... 259
  ・基金の口座明細（2012 年 1 月 1 日～2012 年 12 月 6 日） …… 259
資料 9-10：2013 年基金予算案 ............................................. 265
資料 9-11：2013 年基金配分案 ............................................. 269
出席者一覧

インドネシア

Capt M. Syaiful, Head of Equipment and Maintenance, Sub-Directorate of Aids to Navigation, Directorate General of Sea Transportation of the Indonesia Ministry of Transportation;

Mr. Gus Rional; Officer of Sub-Directorate of Aids to Navigation, Directorate of Navigation, Directorate General of Sea Transportation of the Indonesia Ministry of Transportation;

Mr. Nanditya Darma Wardhana, Officer of Sub-Directorate of Aids to Navigation, Directorate of Navigation, Directorate General of Sea Transportation of the Indonesia Ministry of Transportation.

Mr. Bambang Sudaryono, Transport Attache, Indonesia Embassy to Malaysia;

Mr. Hari Setyobudi, Transport Attache, Indonesia Embassy to Singapore;

Mr. M.Stevenali, Indonesia Embassy to Malaysia;

マレーシア

Dato’ Captain Hj Ahmad Othman, Director General of Marine, Marine Department Malaysia;

Dr. Azfar Mohamad Mustafar; Deputy Director General, Department of Maritime Affairs;

Hj Rossid Musa, Director, Safety of Navigation Division, Marine Department Malaysia;

Mrs. Bhavanee Sundra Mohan, Principal Assistant Secretary, Ministry of Transport;

Mr. Mohd. Fairoz Rozali, Principal Assistant Director, Safety of Navigation Division, Marine Department Malaysia;
Mr. Hairizam Albukhari, Principal Assistant Director, Safety of Navigation Division, Marine Department Malaysia;

Mdm. Rosni Julis, Accountant, Management Services Division, Marine Department Malaysia;

Mdm. Roslinawati Abdul Rahman, Assistant Secretary, National Security Council, Prime Minister’s Department;

Mr. Mohd Nurrul Faiz Mohd Taib, Marine Officer, Maritime Industrial Control Division, Marine Department Malaysia;

Mr. Mohd Azahari Ayob, Marine Officer, Safety of Navigation Division, Marine Department Malaysia;

Mdm. Rina Maslina Baharudin, Marine Officer, Safety of Navigation Division, Marine Department Malaysia;

Mr. Shaharuzzaman Baharum, Manager, Malaysia Shipowners’ Association;

Mr. Mohd Wazi Mohamad Awal, Senior Manager, Wan Nadzir & Co Chartered Accountants;

Mr. Salihuddin Mohamed; Chartered Accountant; Wan Nadzir & Co Chartered Accountants;

Ms. Siti Noor Hafidzah Zakaria; Wan Nadzir & Co Chartered Accountants;

Mdm. Nazira Abdul Rahman, Researcher, PhD Student, School of History, Politics and Strategy, Faculty Social Sciences and Humanity, University Kebangsaan Malaysia;

シンガポール

Mr. Alan Lim, Deputy Director (International), Maritime and Port Authority of Singapore (MPA);
Mr. Thai Low Ying-Huang, Assistant Director (International 1), Maritime and Port Authority of Singapore (MPA);

Mr. Lee Weng Choy, Assistant Hydrographer, Maritime and Port Authority of Singapore (MPA);

Ms. Lynette Lee, Manager (General Accounting), Maritime and Port Authority of Singapore (MPA);

Ms. Lee Wen Jie, Assistant Manager (International), Maritime and Port Authority of Singapore (MPA);

中華人民共和國

Mr. Wang Hong Wei, Director, Division of International Organization, Department of International Cooperation, The Ministry of Transport of the People’s Republic of China;

インド

Captain Abshay.K. Singh, Director (Military Affairs), Ministry of External Affairs;

Colonel Yashpal Ahlawat, Defence Advisor, High Commission of India in Malaysia;

日本

Mr. Toru Shigetomi, Director, International Negotiations Office, International Shipping Division, Maritime Bureau, Ministry of Land Infrastructure, Transport and Tourism;

Dr Hiroki Yajima, First Secretary (Transport and Tourism), Embassy of Japan in Malaysia;
H.E Nasser Salman Al Aboodi, Ambassador of the United Arab Emirates to Malaysia.
Mr. Idris Osman, Embassy of the United Arab Emirates in Malaysia.

IFAN (INTERNATIONAL FOUNDATION OF AIDS TO NAVIGATION)

Mr. Trevor Smith, Chairman;

マラッカ海峡協議会

Mr. Fumio Kaneko, Managing Director;

日本財団

Mr Hiroki Nakamura, Managing Director, Nippon Maritime Center;

Mr. Takashi Sakai, Deputy Managing Director, Nippon Maritime Center;

Captain Mathew Mathai, Marine Manager, Nippon Maritime Center;
議題の採択

議題案に関する注釈

事務局より提出

1. 開会
基金委員会議長が開会の挨拶を述べた。

2. 議題の採択
ANF 8/2：議題案
ANF 8/2/1：議題案に関する注釈
基金委員会を招集して、議題案の検討、採択を行う。

3. 代表の資格に関する報告
ANF 8/3：資格に関する報告
事務局は、基金委員会の代表の資格について報告を行い、適切な通知を受け領したこと
を確認する。これは、基金運営規則第 5 条にしたがうものである。

4. 航行援助施設基金の管理および運営
ANF 8/4/1：利用国および利用者からの資金拠出
基金委員会は、利用国および利用者からの資金拠出に関する最新の報告を受ける。
ANF 8/4/2：基金活動の更新
基金委員会は、2011 年までに基金活動の最新報告を受ける。

5. 基金委員会の作業計画
ANF 8/5/1：2011 年第 4 四半期及び 2012 年第 1 四半期維持・更新作業報告—沿岸国
基金委員会は、マ・シ海峡航行援助施設の維持・更新に関する報告を沿岸国より受け入れる。

ANF 8/5/2：2011年業務監査報告 一マラッカ海峡協議会（MSC）

基金委員会は、2011年の航行援助施設の維持・更新についてMSCが実施した業務監査に関する報告を受ける。

ANF 8/5/3：2012年作業計画案 一沿岸国

基金委員会は、承認されたメンテナンス作業計画（PMP）にもとづく2012年作業計画案（改訂版）について、報告を受ける。

6. 予算の検討と基金からの支出

ANF 8/6/1：基金の財務状況に関する報告 一事務局

基金委員会は、基金の財務状況に関する報告を受ける。

ANF 8/6/2：基金監査人からの報告 一独立監査人

基金委員会を招集して、基金運営規則第12条にしたがって独立監査人により実施した年次監査の報告書を検討する。

ANF 8/6/3：2012年予算案 一事務局

基金委員会を招集して、沿岸国が提案する2012年度活動予算の承認を行う。

ANF 8/6/4：基金からの支出 一事務局

基金委員会を招集して、承認された活動範囲および基金運営規則第2項にしたがって、基金の支出に関する検討を行う。

7. 次回会議の開催日および場所

ANF 8/7：第9回基金委員会の開催日および場所 一委員会議長

8. その他

ANF 8/8：マ・シ海峡航行援助施設のテクニカルワークショップの報告 一MLIT、日本

9. 会議レポートの検討、採択

ANF 8/9：会議議事録

10. 閉会
航行援助施設基金の管理および運営

利用国および利用者からの資金拠出

事務局より提出

はじめに

1. 航行援助施設基金（以下「基金」とする）の基金運営規則第1条によると、基金の目的は、利用国およびその他の関係者から資金拠出を受けて、マ・シ海峡における航行援助施設の提供および維持・更新を行うことである。

航行援助施設基金

2. 基金運営規則第3条にもとづき、基金への資金拠出は任意とし、国家、政府間組織（国際海事機関を含む）、非政府組織、企業および個人の支援者などから拠出を受けるものとする。すべての拠出金は、口座を開設して受け取るものとする。

基金現況

3. マラッカ・シンガポール海峡における航行援助施設の維持、取替作業のために基金に寄せられた拠出金の残高は、2012年3月31日時点で2,405,646.60 USドルである。

4. 2012年の資金拠出状況は、次のとおりである。

4.1 マラッカ海峡協議会 — 500,000.00 USドル

4.2 アラブ首長国連邦 — 100,000.00 USドル

5. 基金委員会は、本文書に記載された情報および見解を適宜考慮することを求められる。
基金作業計画

2011年第4四半期および2012年第1四半期
マ・シ海峡における航行援助施設メンテナンス作業報告

沿岸国より提出

はじめに

1. 基金運営規則第8.2.3項にしたがい、当局は沿岸国とコミュニケーションを図り、指定された航行援助施設の提供およびメンテナンス作業について、少なくとも年1回、委員会に状況報告を行うことが求められる。

2. 基金委員会は、2009年からのマ・シ海峡における航行援助施設の10ヵ年メンテナンス作業計画（PMP）を原則として承認した。PMPは、主要航行援助施設の取替および更新作業に関する計画であり、具体的には、マ・シ海峡内の51の指定航行援助施設の取替、維持作業について定めている。

マ・シ海峡における航行援助施設のメンテナンス作業報告

3. 2011および2012年に沿岸国が実施した航行援助施設のメンテナンス作業に関する報告は、別添のとおりである。

   3.1 別添1インドネシア
   3.2 別添2マレーシア
   3.3 別添3シンガポール

委員会に求められる行動

4. 基金委員会を招集して、提示された情報に関する妥当性を判断する。
1. はじめに

1.1. 基金運営規則第 8.2.3 項にもとづき、当局は沿岸国と協力して、指定された航行援助施設の提供およびメンテナンス作業のための基金利用について、少なくとも年1回、委員会に対して状況報告を行うことが求められる。

1.2. 第2回航行援助施設基金委員会議は、マ・シ海峡における航行援助施設10ヵ年メンテナンス作業計画（PMP）を承認した。これは、インドネシアの28の主要航行援助施設の取替および更新作業について定めたものである。

1.3. 第6回航行援助施設基金委員会議は、沿岸国より提出されたマ・シ海峡における航行援助施設の整備および取替に関する2011年作業プログラムを承認した。

1.4. 第7回航行援助施設基金委員会議において、マ・シ海峡における2011年航行援助施設メンテナンス作業報告を確認した。

2. 2011年第4四半期および2012年第1四半期作業計画

2.1. 土木基礎工事（C&S）準備作業

2.1.1. 活動／詳細（承認済メンテナンス計画に対応した活動）

2.1.1.1. One Fathom Bank 北基準マーク灯標（ILL.572）

2.1.2. スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業活動</th>
<th>2011 年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td>ILL-572 – OBF</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>● 承認済 PMP</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>● 活動の実施</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
2.1.3. 航行援助施設の全般的状態

2.1.3.1. One Fathom Bank 北基準マーク灯標（ILL.572）

設置から20年近く経過しており、経済的にも設計的にも製品寿命上限に達している。上部構造は、国籍不明の船舶により頻繁に衝撃を受けるため、本体部には多数の曲がりや歪みがみられる。灯標の下部構造および繋留システムには腐食がみられ、特に、高潮時や高波、船舶の航行による衝撃によりいつ破断してしまう成長期である。

2.1.4. 費用

2011年第4四半期C&S準備作業にかかっ出した実際費用合計額

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>承認済 PMP</th>
<th>実際必要額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2.</td>
<td>One Fathom Bank 北基準マーク灯標（ILL.572）</td>
<td>USD 85,000.00</td>
<td>USD 88,317.56</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>USD 85,000.00</td>
<td>USD 88,317.56</td>
</tr>
</tbody>
</table>

2.1.5. 結論／所見

2.1.5.1. 調査エリア

新規浮体式灯標は、現在の灯台が置かれている場所と同様の位置に設置される予定である。交換準備をサポートする調査エリアは、現在のRLBの位置を中心とする500m×500mであった。

2.1.5.2. 海底地形

一般的に、調査エリアにおける海底地形は、低潮時（LWS）の深さが21.5mから29.9mに渡っている。最も浅い海底は、調査エリアの南東の境界に位置しており、最も水深の深い部分は調査エリアの南西の境界に位置している。

2.1.5.3. 浅瀬の地質状態

4ヶ所の異なる場所で採取された海底物質の性質に基づくと、海底を形成した海の堆積物（Unit-A）は細かい砂であった。地層の下には相対的に非常に硬い反射があったが、この反射が継続していない地点もあった。この地層（Unit-B）の地震学的特徴は様々
であり、調査線上のほとんどの地点で十分な硬さであったが、すべての調査線上で一貫性があるわけではなかった。堆積物の種類は、粘土、沈泥、砂の混合物と考えられ、砂の分類は様々であった。砂を含んだ物質で形成された海底下の堆積物がもたらした浸透力はこの調査エリアで限界に達した。

2.1.5.4. 推奨RLB設計
RLBの仕様:

・タワー（上部構造）：浮体式灯標
・サブ構造（仮）：スチール
・メイン機器：ランタン、レーダービーチャン、レーダーリフレクター、ソーラーパワーサプライシステム、トップマーク、ボードストライク、ライトニングプロテクション

技術者費用見積:

・準備作業：USD 163,848.17
・メイン構造作業：USD 222,161.21
・航行援助機器：USD 106,346.53
・現場作業：USD 309,967.05

合計 USD 802,322.96
2.1.5.5. 助言

第三者コンサルタントによって実施された One Fathom Bank 北基準マーク灯標（ILL.572）土木基礎工事準備作業をもとに算出した見積もり額は、USD802,322.96 である。
2.1.6. 写真
2.2. メンテナンス作業

2.2.1. メンテナンス作業活動

2.2.1.1. 2011年メンテナンス作業プログラム承認済み計画

i. 分離通航帯上のインドネシア航行援助施設（28施設）に対する第1回巡回保守点検作業

ii. 分離通航帯上のインドネシア航行援助施設（28施設）に対する第2回巡回保守点検作業

2.2.1.2. 2011年第4四半期実施済みメンテナンス作業計画

i. 分離通航帯上のインドネシア航行援助施設（28施設）に対する第2回巡回保守点検作業

2.2.1.3. 航行援助施設巡回保守点検作業には、電気設備、灯火設備および機械設備の整備ならびに航行援助の構造部に係る整備が含まれる。
2.2.2. スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>2011年</th>
<th>1</th>
<th>2</th>
<th>3</th>
<th>4</th>
<th>5</th>
<th>6</th>
<th>7</th>
<th>8</th>
<th>9</th>
<th>10</th>
<th>11</th>
<th>12</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2011年第2回航行援助施設巡回保守点検作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>● 承認済 PMP</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>● 活動の実施</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

2.2.3. 航行援助施設の全般的な状態

全般的には、航行援助施設は良好な運用状態にあるが、一部、構造物としての技術的状態や設備の技術的状態に関して若干の劣化が見られる。特に、経済的・設計的耐用年数上に近づいている施設での技術的状態の悪化が顕著である。また、詳細不明の事故により故障した施設もあり、このうち Batu Berhanti 灯標については国籍不明船による当て逃げ事件が発生したため、衝突の衝撃により受けた被害が大きく、特に注意を払う必要がある。

2.2.4. 2011年第2回航行援助施設巡回保守点検作業の費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>費用</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>作業チーム諸手当</td>
<td>USD 9,989.14</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>船員日当</td>
<td>USD 15,613.39</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>糧食支給</td>
<td>USD 21,200.00</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>船舶運用経費</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>a.</td>
<td>燃料／HSD</td>
<td>USD 25,714.29</td>
</tr>
<tr>
<td>b.</td>
<td>ガソリン</td>
<td>USD 267.86</td>
</tr>
<tr>
<td>c.</td>
<td>潤滑油</td>
<td>USD 892.55</td>
</tr>
<tr>
<td>d.</td>
<td>潤滑油 2T</td>
<td>USD 80.95</td>
</tr>
<tr>
<td>e.</td>
<td>淨水</td>
<td>USD 1,125.00</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>機器・予備機</td>
<td>USD 3,523.50</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>雑費</td>
<td>USD 4,442.89</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>USD 82,849.57</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注：
・為替レート：1USドル＝8.400インドネシアルピア
・定期点検作業費用はインドネシアルピアの対ドルレートの変動により上昇した。
2.2.5. 特記事項／所見

2011年第2回航行援助施設巡回保守点検作業において、点灯していない航行援助施設が3ヵ所見つかった。これは、器物破損や窃盗が原因と考えられる。巡回工事の一環として必要部品の補修と再設置を行い、施設としての機能は回復している。

2.3. 取替作業計画

2.3.1. 2011年取替作業計画

2.3.1.1. 承認済み2011年取替作業計画

i. Pasir Shoal北基準マーク灯標（ILL.574）取替作業計画

ii. Raleigh Shoal浅瀬灯標（ILL.620）取替作業計画

2.3.1.2. 実施済み2011年取替作業計画

i. 第6回航行援助施設基金委員会は、2011年取替作業計画を変更し、2011年中にBuffalo Rock北基準マーク灯標（ILL.574）の取替作業計画を実施することに合意した。

Buffalo Rock北基準マーク灯標取替作業計画の実施は、現在進行中である。

ii. Pasir Shoal北基準マーク灯標（ILL.574）の取替作業計画は、インドネシアの予算で実施される。

2.3.1.3. 未了2011年取替作業計画

Buffalo Rock北基準マーク灯標（ILL.574）の取替作業計画は、2012年第1四半期に完了予定。

2.3.2. スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業計画</th>
<th>2011年</th>
<th>2012年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>5 6 7 8</td>
<td>9 10 11 12</td>
</tr>
<tr>
<td>Buffalo Rock北基準マーク灯標（ILL.574）取替作業</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>• 承認済 PMP</td>
<td>□ □ □ □</td>
<td>□ □ □ □</td>
</tr>
<tr>
<td>• 活動の実施</td>
<td>□□□□□□□□□</td>
<td>□□□□□□□□□</td>
</tr>
</tbody>
</table>

50
2.3.3. 費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>内訳</th>
<th>承認済 PMP</th>
<th>実際必要額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>Buffalo Rock 北基準マーク灯標（ILL.834）</td>
<td>USD 950,000.00</td>
<td>USD 912,317.62</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>USD 950,000.00</td>
<td>USD 912,317.62</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注:
・為替レート: 1 US ドル=8.400 インドネシアルピア

2.3.4. 特記事項／所見

2.3.4.1. 2011年下半期に実施された取替作業のスケジュールにより、取替作業は2012年第1四半期をまたいで完了した。

2.3.4.2. 土木基礎工事準備作業の結果に基づき、灯標プラットフォームを支えている鋼管を大型のコンクリートブロックに交換して灯標の基礎構造を強化することが決定された。

2.3.4.3. 取替作業実施中は、臨時信号灯が設置された。

2.3.4.4. 航行援助施設の安全性を強化するため、また Buffalo Rock 北基準マーク灯標（ILL.834）およびマ・シ海峡におけるその他の航行援助施設の適切な機能を確保するため、灯標は監視システムを装備している。

2.3.4.5. 悪天候により作業の完了が遅れ、Buffalo Rock 北基準マーク灯標（ILL.834）の取替作業のスケジュール全般が延長された。

2.3.5. 詳細情報／別紙要約

該当なし
2.3.6. 写真

2.4. 作業監査／査察（必要がある場合）

業務監査人として、マラッカ海峡協議会より通知される。

2.5. 要約

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>承認済PMP単位の見積総額</th>
<th>必要総額</th>
<th>実際支出総額（2011年第1〜第3四半期）</th>
<th>実際支出総額（2011年第4四半期〜2012年第1四半期）</th>
<th>実際支出総額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>土木基礎工事</td>
<td>170,000</td>
<td>172,758</td>
<td>87,758.00</td>
<td>88,317.56</td>
<td>176,075.56</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>特定保守作業</td>
<td>105,263</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>通常保守作業</td>
<td>523,827</td>
<td>160,514.22</td>
<td>80,454.66</td>
<td>82,849.57</td>
<td>163,304.23</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>取替作業</td>
<td>3,000,000</td>
<td>950,000</td>
<td>912,317.62</td>
<td>912,317.62</td>
<td>912,317.62</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>交換部品調達</td>
<td>523,287</td>
<td>292,271.66</td>
<td>298,985.15</td>
<td>298,985.15</td>
<td>298,985.15</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>(USD)</td>
<td>4,055,741</td>
<td>1,575,543.22</td>
<td>467,197.81</td>
<td>1,083,484.75</td>
<td>1,550,682.56</td>
</tr>
</tbody>
</table>

52
## 2011年第4四半期
海峡航行援助施設メンテナンス作業報告

マレーシア

（2011年10月〜12月）

### 1.0 はじめに

### 1.1 第6回航行援助施設基金委員会会議において、基金委員会は、マ・シ海峡における航行援助施設10ヵ年メンテナンス作業計画（PMP）を承認した。本会議において、マレーシアは2011年の維持、土木基礎工事、取替作業対象である18の航行援助施設を確認した。

### 1.2 2011年に3航行援助施設の土木基礎工事、7施設の整備、2施設の取替作業が下記のとおり実施された。

<table>
<thead>
<tr>
<th>航行援助施設</th>
<th>2011年作業範囲</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i. One Fathom Bank</td>
<td>維持</td>
</tr>
<tr>
<td>ii. Bukit Segenting</td>
<td>取替</td>
</tr>
<tr>
<td>灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i. Tg. Gabang</td>
<td>維持</td>
</tr>
<tr>
<td>ii. Tanjung Tohor</td>
<td>維持</td>
</tr>
<tr>
<td>iii. Panjang Selatan</td>
<td>土木基礎工事</td>
</tr>
<tr>
<td>iv. Tg. Piai</td>
<td>維持</td>
</tr>
<tr>
<td>v. Tompok Utara</td>
<td>土木基礎工事</td>
</tr>
<tr>
<td>vi. Pu. Mungging</td>
<td>維持</td>
</tr>
<tr>
<td>vii. Panjang Utara</td>
<td>土木基礎工事</td>
</tr>
<tr>
<td>viii. Mudah Utara</td>
<td>維持</td>
</tr>
<tr>
<td>ix. One Fathom Bank North</td>
<td>維持</td>
</tr>
<tr>
<td>浮体式灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i. Sepat</td>
<td>取替</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 1.3 2011年に終了した航行援助施設メンテナンス概要は、別紙1のとおりである。
2.0 2011年メンテナンス作業報告

2.1 土木基礎工事（C&S）

i. Tompok Utara、Panjang Utara、Panjang Selatan 灯標の3ヵ所において、2011年に基礎工事が実施された。

ii. Panjang Utara 灯標土木基礎工事は、2011年10月2日に完了し、費用はUSD250,930.00であった。

iii. Tompok Utara 灯標土木基礎工事は、2011年10月25日に完了し、費用はUSD257,034.00であった。

iv. 前回の議題で示したとおり、Panjang Selatan 灯標土木基礎工事は、破損のため予定通り実施することができなかった。

2.2 航行援助施設交換部品購入およびその他整備

i. 2011年第4四半期の航行援助施設交換部品、整備、設備の発注と購入がなされた。詳細は下記のとおり。

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>数量</th>
<th>見積額 (USD)</th>
<th>実費用</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>電球 - パーランプ</td>
<td>200 個</td>
<td>122,450.00</td>
<td>98,838.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>LCDパネルモーター</td>
<td>3 個</td>
<td>237.34</td>
<td>208.86</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>スロットタイプフォトマイクロ</td>
<td>6 個</td>
<td>208.86</td>
<td>13,291.14</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>フラックスメーター</td>
<td>3 個</td>
<td>13,291.14</td>
<td>13,291.14</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>レーコン</td>
<td>1 個</td>
<td>37,974.68</td>
<td>37,974.68</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>ソーラーパネル</td>
<td>4 個</td>
<td>5,063.29</td>
<td>5,063.29</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>ソーラーチャージャー</td>
<td>12 個</td>
<td>13,291.14</td>
<td>13,291.14</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>ステッピングモーター</td>
<td>6 個</td>
<td>9,113.92</td>
<td>9,113.92</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>タングステンハロゲンランプ</td>
<td>40 個</td>
<td>2,050.63</td>
<td>2,050.63</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>アルミニウムソーラーパネルブラケット</td>
<td>2 個</td>
<td>392.41</td>
<td>392.41</td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計(USD) 122,450.00 98,838.00

その他作業費用として、One Fathom Bank 灯台作業時のジェネレーター用ディーゼル燃料にUSD40,923を要した。

2.3 Sepat浮体式灯標（RLB）およびBukit Segenting灯台取替作業

i. Sepat RLBの取替作業は、2011年9月5日に開始され、2012年1月11日に完了した。費用はUSD977,848.00であった。
ii. **Bukit Segenting** 灯台航行援助照明機器およびシステム取替作業は、2011年8月24日に開始され、2011年11月25日に完了した。費用はUSD199,367.00であった。

iii. **Sepat RLB** の取替作業、**Bukit Segenting** 灯台の航行援助照明機器およびシステム取替作業の情報と進捗報告は別紙2のとおりである。

### 2.4 2011年業務監査／調査

i. 第1回航行援助施設メンテナンス調査が2011年第2四半期に、第2回航行援助施設基金メンテナンス調査が第4四半期に行われ、海洋局からの職員10名、マラッカ海峡協議会（MSC）からの職員1名が関わった。メンテナンス調査の費用は下記のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>期間</th>
<th>費用（USD）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>第2、第4四半期</td>
<td>USD 21,711.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

ii. この年の18航行援助施設に対するメンテナンス調査は、移動手段として車両や船舶を利用する。

### 3.0 2011年メンテナンス作業報告概要

#### 3.1 第6回航行援助施設委員会会議（クアラルンプール）で提案されたメンテナンス作業の一部は、2011年第4四半期に引き続き行われる予定である。

#### 3.2 2011年のメンテナンス作業および、それにかかる費用は下記のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>費用（USD）</th>
<th>配分（USD）</th>
<th>残高／貯蓄（USD）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>Panjang Utara, Panjang Selatan 基礎工事</td>
<td>250,930.00</td>
<td>604,722.00</td>
<td>353,792.00 *Panjang Selatan 灯標は破損</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>Tompok Utara 基礎工事 * (2010年支払)</td>
<td>*257,034.00</td>
<td>281,250.00 *24,216.00 (2010年支払)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>航行援助施設交換部品</td>
<td>98,838.00</td>
<td>122,450.00</td>
<td>23,612.00</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>メンテナンス調査</td>
<td>21,711.00</td>
<td>15,000.00</td>
<td>-6,711.00 (マレーシア負担残高)</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>Bukit Segenting 灯台航行援助照明とシステムの取替作業</td>
<td>199,367.00</td>
<td>474,684.00</td>
<td>275,317.00</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>Sepat RLB 取替作業</td>
<td>977,848.00</td>
<td>999,978.00</td>
<td>22,130.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td><strong>Total</strong></td>
<td>1,805,728.00</td>
<td>2,498,084.00</td>
<td><strong>699,067.00</strong> <strong>Total (1+2+3+5+6)</strong></td>
</tr>
</tbody>
</table>

55
メンテナンス作業備考
1. One Fathom Bank 灯台 — 火災報知システム
2. Tg Gabang 灯標 — 2010 年土木基礎工事の保証期間中
3. Tg Tohot — 灯火の改修
4. Tg Piai — （2009 年改修済み）
5. Pu Mungging 灯標 — 2010 年土木基礎工事の保証期間中
6. Mudah Utara 灯標 — 2009 年完成
7. One Fathom Bank 北基準マーク灯標 — 2009 年完成
<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>2011年マレーシア航行援助施設メンテナンス作業計画</th>
<th>予算 (USD)</th>
<th>費用 (USD)</th>
<th>残高 (USD)</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>土木基礎工事(C&amp;S)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>a.</td>
<td>Panjang Utara 灯標(MSC)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i.</td>
<td>修繕作業</td>
<td>604,722.00</td>
<td>250,930.00</td>
<td>353,792.00</td>
<td>2011年10月完了</td>
</tr>
<tr>
<td>ii.</td>
<td>暫定金額</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>604,722.00</td>
<td>250,930.00</td>
<td>353,792.00</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>a.</td>
<td>Tompok Utara 灯標(MSC)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i.</td>
<td>修繕作業</td>
<td>*281,250.00</td>
<td>*257,034.00</td>
<td>24,216.00</td>
<td>*2010年支払</td>
</tr>
<tr>
<td>ii.</td>
<td>暫定金額</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>*281,250.00</td>
<td>*257,034.00</td>
<td>24,216.00</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>土木基礎工事総計</td>
<td></td>
<td>*885,972.00</td>
<td>507,964.00</td>
<td>378,008.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>Sepat RLB 取替作業(MSC)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>a.</td>
<td>Sepat RLB 取替作業</td>
<td>999,978.00</td>
<td>977,848.00</td>
<td>22,130.00</td>
<td>2012年1月完了</td>
</tr>
<tr>
<td>b.</td>
<td>Bukit Segenting 灯台航行援助灯火およびシステム取替作業</td>
<td>474,684.00</td>
<td>199,367.00</td>
<td>275,317.00</td>
<td>2011年12月完了</td>
</tr>
<tr>
<td>取替作業総計</td>
<td></td>
<td>1,474,662.00</td>
<td>1,177,215.00</td>
<td>297,447.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>航行援助施設交換部品の購入、その他整備</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>a.</td>
<td>電球－パーランプ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b.</td>
<td>LCDパネルモーター</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>c.</td>
<td>スロットタイプフォトマイクロ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>d.</td>
<td>フラックスメーター</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>e.</td>
<td>レーコン</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>f.</td>
<td>ソーラーパネル</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>g.</td>
<td>ソーラーチャージャー</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>h.</td>
<td>ステッピングモーター</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i.</td>
<td>タングステンハロゲンランプ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>j.</td>
<td>アルミニウムソーラーパネルブラケット</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>k.</td>
<td>システム外部フォトセル</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>交換部品総計</td>
<td></td>
<td>122,450.00</td>
<td>98,838.00</td>
<td>23,612.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>その他業務（メンテナンス調査）</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計(USD)</td>
<td></td>
<td>2,498,084.00</td>
<td>1,805,728.00</td>
<td>699,067.00</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
第1回および第2回航行援助施設メンテナンス調査

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>第1回及び第2回航行援助施設メンテナンス調査</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>地上輸送×2</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>i. 燃料（BGP9062）</td>
<td>143.42</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>燃料（BFG9549）</td>
<td>131.85</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ii. 高速道路料金 (TnGo)-(BGP9062)</td>
<td>59.50</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>高速道路料金 (TnGo)-(BGF9549)</td>
<td>58.23</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>393.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>海上輸送</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>i. 燃料@12757 リットル×RM1.73 (チーム A)</td>
<td>13,768.83</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ii. 燃料@3580×RM1.73 (チーム B)</td>
<td>3,919.87</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>17,688.70</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>人員（10名）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>i. 宿泊</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>宿泊費合計</td>
<td>1,591.77</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ii. 日当</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>日当合計</td>
<td>987.50</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>iii. 残業手当</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>残業手当合計</td>
<td>1,050.03</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>21,711.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>
SEPAT 浮体式灯標（RLB）取替作業進捗報告

1. はじめに

1.1 Sepat RLB は、北緯 2 度 33 分 53.34 秒、東経 101 度 23 分 21.76 秒に位置しており、2011年作業計画の中で決定されたとおり取替作業が行われる予定である。

1.2 Sepat RLB の取替作業は、2011年 9月 5 日に開始され、2012年 1月 16日に完了する見込みである。

2. 作業進捗

2.1 Sepat RLB の工事費用は USD977,848.00 であり、これは航行援助施設基金が負担する。

2.2 現時点において、取替作業はすべて終了しており、実際の作業完了報告は 2012年 1月 11日になされる。
じか積み（コンクリートシンカー）
輸送（メインタワー）
荷降ろし（下部パイプ）
輸送（上部構造）
組み立て（ユニバーサルジョイント）
組み立て（ユニバーサルジョイント）
組み立て（ユニバーサルジョイント）
組み立て（下部パイプ）
組み立て（メインタワー）
組み立て（メインタワー）
組み立て（上部構造）
組み立て（上部構造）
組み立て（パイプ用ロープ）
組み立て（ガードリング）
組み立て（ガードリング）
組み立て（ガードリング）
組み立て（ガードリング）
固縛
新規 RLB の設置
既存 RLB の撤去
既存 RLB の撤去
既存 RLB の撤去
ソーラーセルモジュールと GPS アンテナ

LED ランタン

航行援助 AIS

充電コントローラー

バッテリー

レーコンとトップマーク
完了
航行援助灯火装置およびシステム取替作業進捗報告
BUKIT SEGENTING 灯台

1. はじめに
1.1 Bukit Segenting 灯台は、北緯 1 度 47.5 分、東経 102 度 57.1 分に位置しており、2011 年作業計画で決定されたとおり航行援助灯火装置およびシステム取替作業が行われる。
1.2 Bukit Segenting 灯台の航行援助灯火装置およびシステム取替作業は、2011 年 8 月 24 日に開始され、2011 年 12 月 3 日に完了した。

2. 作業進捗
2.1 Bukit Segenting 灯台の航行援助灯火装置およびシステム取替作業の費用は USD199,367.00 であり、これは航行援助施設基金が負担する。
2.2 現時点において工事はすべて終了しており、実際の作業完了報告は 2011 年 11 月 25 日になされる。
海峡航行援助施設メンテナンス作業報告
マレーシア
（2012年1月～3月）

1.0 はじめに

1.1 第6回航行援助施設基金委員会会議において、基金委員会は、マ・シ海峡における航行援助施設10ヵ年メンテナンス作業計画（PMP）を承認した。本会議において、マレーシアは2011年の整備、土木基礎工事、取替作業対象である18の航行援助施設を確認した。

1.2 2012年に2航行援助施設の取替作業、8施設の整備が下記のとおり実施された。

<table>
<thead>
<tr>
<th>航行援助施設</th>
<th>2012年作業範囲</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>iii. One Fathom Bank</td>
<td>維持</td>
</tr>
<tr>
<td>iv. Bukit Segenting</td>
<td>取替</td>
</tr>
<tr>
<td>v. Pulau Undan</td>
<td>土木基礎工事</td>
</tr>
<tr>
<td>灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>x. Tg. Rhu</td>
<td>取替</td>
</tr>
<tr>
<td>xi. Tg. Gabang</td>
<td>維持</td>
</tr>
<tr>
<td>xii. Tanjung Tohor</td>
<td>維持</td>
</tr>
<tr>
<td>xiii. Panjang Selatan</td>
<td>取替</td>
</tr>
<tr>
<td>xiv. Tg. Piai</td>
<td>土木基礎工事</td>
</tr>
<tr>
<td>xv. Pu. Mungging</td>
<td>維持</td>
</tr>
<tr>
<td>xvi. Mudah Utara</td>
<td>維持</td>
</tr>
<tr>
<td>xvii. One Fathom Bank North</td>
<td>維持</td>
</tr>
<tr>
<td>浮体式灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ii. Sepat</td>
<td>維持</td>
</tr>
</tbody>
</table>

2.0 メンテナンス作業計画

2.1 土木基礎工事（C&S）

2.1.1 Pulau Undan灯台とTg. Piai灯標の2ヵ所において、2012年に土木基礎工事（C&S）が実施される。

2.1.2 現在、Pulau Undan灯台とTg.Piai灯標における灯標の土木基礎工事は入札の段
階であり、工事の開始は 2012 年 5 月上旬の見込みである。

2.1.3 2012 年 2 月 9 日にマレーシア公共事業局(PWD)を伴い、Palau Undan 灯台の現場視察が実施された。土壌調査と亀裂のモニタリング調査が提案され、この調査には 6～8 ヵ月を要する。費用はおよそ USD70,000.00 であり、土木基礎工事は調査結果に基づいたPWDからの提案を受け取りしい実施される予定である。

2.1.4 Pulau Undan 灯台土木基礎工事の情報と進捗報告は別紙 1 のとおりである。

2.2. メンテナンス作業

2.2.1 2012 年第 1 四半期分の航行援助施設交換部品、整備、設備の発注と購入がなされた。詳細は下記のとおり。

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>数量</th>
<th>見積額 (USD)</th>
<th>実費用</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>フラッシャー TF 3b</td>
<td></td>
<td>14,427.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>コントロールカード（Pulau Undan）</td>
<td></td>
<td>1,803.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>レーコン</td>
<td></td>
<td>進行中</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>バッテリー</td>
<td></td>
<td>進行中</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>電球</td>
<td></td>
<td>進行中</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計(USD)</td>
<td></td>
<td>16,230.00</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

※為替レート：USD 1ドル=RM 3.05

2.2.2 その他作業費用として、One Fathom Bank 灯台作業時のジェネレーター用ディーゼル燃料に USD15,682.00 を要した。

2.3 取替作業

2.3.1 2012 年にTanjung Rhu および Panjang Selatan 灯標の 2 ヵ所において取替作業が実施される計画である。

2.3.2 第 1 四半期に向け、Panjan Selatan 灯標の取替作業は現在、査定および入札の段階である。この計画は 2012 年 6 月上旬に開始され、5 ヵ月以内に終了する見込みである。Tg. Rhu 灯標の取替作業の入札は、2012 年 6 月に開始される見込みである。
3.0 2012年第1四半期メンテナンス作業計画概要

3.1 2012年第1四半期航行援助施設メンテナンス作業計画概要は次のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>2012年第1四半期</th>
<th>承認済費用 (USD)</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>Pulau Undan 灯台土木基礎工事（C&amp;S）</td>
<td>280,000</td>
<td>ANF 負担</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>Tg. Piai 灯標土木基礎工事（C&amp;S）</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>航行援助施設交換部品</td>
<td>204,908</td>
<td>ANF 負担</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>メンテナンス調査</td>
<td>15,000</td>
<td>ANF 負担</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>運用</td>
<td>258,000</td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td>Panjang Selatan 灯標 取替作業</td>
<td>1,500,000</td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td>7.</td>
<td>Tg. Rhu 灯標 取替作業</td>
<td>1,500,000</td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td>総合計</td>
<td></td>
<td>3,757,908</td>
<td>ANF 負担額 499,908</td>
</tr>
</tbody>
</table>
Palau Undan 灯台復旧作業報告

1. はじめに

1.1 Pulau Undan 灯台は、北緯 2 度 2.9 分、東経 102 度 20.1 分に位置し、1880 年に設置された。この灯標は、航行援助灯と予備灯、遠隔監視システム（遠隔測定）、自動認証システム（ADS）を装備している。灯台の構造は八角形のタワーからなり、灯台管理職員棟が設けてある。（石造り）。

1.2 2011 年 6 月 2 日に、マレーシア海事局（PWD）－航空基地および海洋支部－を伴い、第 1 回目の視察が行われた。現場視察に関する予備報告は第 7 回航行援助施設基金委員会会議において報告されたとおりである。報告によると、結果的に現場視察は複数回実施され、2011 年 8 月 10 日（PWD 建築法学部門による）、2011 年 10 月 13 日（PWD 地質工学部門による）、最後の視察は 2012 年 2 月 9 日に実施された。

1.3 PWD はこの灯台に関して、USD70,000.00 の見積額で、総合的な土壌調査と灯台タワー部の亀裂のモニタリングを含む調査を提案した。海事局と PWD のさらなる討議の結果、復旧作業基金に見積額として USD70,000.00 の費用を要する。調査・研究の期間はおよそ 6〜8 ヶ月を要する見込みであり、復旧作業に関する調査報告は調査終了後に提出される。

1.4 Palau Undan 灯台が重要であるため、技術専門家として海洋局を代表して PWD を指名し調査を実施した。本計画に要する費用に関して航行援助施設基金委員会メンバーに意見を求めた。

2. 全般的な仕様

2.1 Pulau Undan 灯台は、複数コンポーネントに分解することができる。

i) メイン構造部（八角形）は、1 つの円筒状のタワー、灯台管理職員棟、機械室、バッテリー／ジェネレーター室からなる。

ii) 灯台管理職員用食糧庫（建物部）

2.2 塔頂プラットフォームから平均高潮面（MHWS）までの構造物全長は 53 メートルである。

2.3 灯火特性および灯火範囲は以下のとおりである。

i) 灯火特性 ： FL.(2).W15s

ii) 灯火範囲 ： 18NM

2.4 タワー部およびオフィス部構造の建築計画は添付画像のとおりである。
タワー部建築計画
事務所／居住部建築計画
# 8th ATON FUND MEETING

**AIDS TO NAVIGATION FUND COMMITTEE MEETING**  
10th April 2012  
PUTRAJAYA

---

## 4th QUARTER 2011 MAINTENANCE REPORT (MALAYSIA)

<table>
<thead>
<tr>
<th>Aids to Navigation</th>
<th>2011 Scope of Work</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>Lighthouse</td>
<td>Maintenance Replacement</td>
</tr>
<tr>
<td>i. One Fathom Bank</td>
<td>Maintenance Replacement</td>
</tr>
<tr>
<td>ii. Bukit Segenting</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>Light Beacon</td>
<td>Maintenance C&amp;S</td>
</tr>
<tr>
<td>i. Tg. Gabang</td>
<td>Maintenance C&amp;S</td>
</tr>
<tr>
<td>ii. Tmjung Tohor</td>
<td>Maintenance C&amp;S</td>
</tr>
<tr>
<td>iii. Panjang Selatan</td>
<td>Maintenance C&amp;S</td>
</tr>
<tr>
<td>iv. Tg. Ptfi</td>
<td>Maintenance C&amp;S</td>
</tr>
<tr>
<td>v. Tmpok Utara</td>
<td>Maintenance C&amp;S</td>
</tr>
<tr>
<td>vi. Pu. Munigging</td>
<td>Maintenance C&amp;S</td>
</tr>
<tr>
<td>vii. Panjang Utara</td>
<td>Maintenance C&amp;S</td>
</tr>
<tr>
<td>viii. Mudah Utara</td>
<td>Maintenance C&amp;S</td>
</tr>
<tr>
<td>ix. One Fathom Bank North</td>
<td>Maintenance C&amp;S</td>
</tr>
<tr>
<td>Resilient Light Beacon</td>
<td>Replacement</td>
</tr>
<tr>
<td>i. Sepat</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
C&S Panjang Utara Lightbeacon started since 5th September 2011 and reported completed on 2nd October 2011.
4th QUARTER 2011
MAINTENANCE REPORT (MALAYSIA)

C&S Panjang Utara Lightbeacon

Rusted Lantern’s Steel Base

4th QUARTER 2011
MAINTENANCE REPORT (MALAYSIA)

C&S Panjang Utara Lightbeacon

Splash Pro System

Bottom Of Top Platform
Cleaning & Repaint

Work Completed on 2nd October 2011
C&S Tompok Utara Lightbeacon

C&S Tompok Utara Lightbeacon started since 5th September 2011 and reported completed on 25th October 2011.
### AtoN Spare Part Purchasing & Other Services

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>Item</th>
<th>Unit</th>
<th>Estimated Cost (USD)</th>
<th>Actual Cost (USD)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>Light bulb - Par lamp</td>
<td>200 pc</td>
<td></td>
<td>17,215.19</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>LCD Panel Motor</td>
<td>3 pc</td>
<td></td>
<td>237.34</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>Slot Type Photomicro</td>
<td>6 pc</td>
<td></td>
<td>208.86</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>Fluxmeter</td>
<td>3 pc</td>
<td></td>
<td>13,291.14</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>Racon</td>
<td>1 pc</td>
<td></td>
<td>37,974.68</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>Solar Panel</td>
<td>4 pc</td>
<td>122,450.00</td>
<td>5,063.29</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>Solar Charger</td>
<td>12 pc</td>
<td></td>
<td>13,291.14</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>Stepper Motor</td>
<td>6 pc</td>
<td></td>
<td>9,113.92</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>Tungsten Halogen Lamps</td>
<td>40 pc</td>
<td></td>
<td>2,050.63</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>Aluminium Bracket Solar Panel</td>
<td>2 pc</td>
<td>392.41</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Total (USD)</td>
<td></td>
<td>122,450.00</td>
<td>98,838.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>
Replacement of Sepat RLB

Replacement of Sepat RLB was started on 5th September 2011 and reported completed on 11th January 2012.
Replacement of Sepat RLB

Installation of a New RLB
Replacement of Sepat RLB

Replacement of Sepat RLB
Removal of the Existing RLB
Replacement of Sepat RLB

Completion

4th QUARTER 2011
MAINTENANCE REPORT (MALAYSIA)

Replacement of Navigation Lighting Equipment And System At Bukit Segenting Light House.

Started since 24th August 2011 and reported completed on 25th November 2012.
### Summary

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>Item</th>
<th>Cost (USD)</th>
<th>Allocation (USD)</th>
<th>Balance / Saving (USD)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>C&amp;S Work Panjang Utara &amp; Panjang Selatan</td>
<td>250,930.00</td>
<td>604,722.00</td>
<td>353,792.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>*Panjang Selatan Light Beacon Destroyed</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>C&amp;S Work Tompok Utara <em>(Disbursement in 2010)</em></td>
<td>*257,034.00</td>
<td>*281,250.00</td>
<td>*24,216.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td><em>(Disbursement in 2010)</em></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>AtoN Spare Part</td>
<td>98,838.00</td>
<td>122,450.00</td>
<td>23,612.00</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>Maintenance Inspection</td>
<td>21,711.00</td>
<td>15,000.00</td>
<td>-6,711.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td><em>(Balance Funded by Malaysia)</em></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>Replacement of Navigation Lighting and System at Bukit Segenting Lighthouse</td>
<td>199,367.00</td>
<td>474,684.00</td>
<td>275,317.00</td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td>Replacement of Sepat RLB</td>
<td>977,848.00</td>
<td>999,978.00</td>
<td>22,130.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Total</td>
<td>1,805,738.00</td>
<td>2,498,084.00</td>
<td>699,067.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

Total (1+2+3+5+6)
4th QUARTER 2011
MAINTENANCE REPORT (MALAYSIA)

Summary

Approval PMP
Actual Cost

4th QUARTER 2011
MAINTENANCE REPORT (MALAYSIA)

Thank You
## 1st QUARTER 2012 MAINTENANCE REPORT (MALAYSIA)

<table>
<thead>
<tr>
<th>Aids to Navigation</th>
<th>2012 Scope of Work</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td><strong>Lighthouse</strong></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i. One Fathom Bank</td>
<td>Maintenance</td>
</tr>
<tr>
<td>ii. Bukit Segenting</td>
<td>Maintenance</td>
</tr>
<tr>
<td>iii. Pulau Undan</td>
<td>C&amp;S</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>Light Beacon</strong></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i. Tg. Rhu</td>
<td>Replacement</td>
</tr>
<tr>
<td>ii. Tg. Gabang</td>
<td>Maintenance</td>
</tr>
<tr>
<td>iii. Tanjung Tohor</td>
<td>Maintenance</td>
</tr>
<tr>
<td>iv. Panjang Selatan</td>
<td>Replacement</td>
</tr>
<tr>
<td>v. Tg. Piai</td>
<td>C&amp;S</td>
</tr>
<tr>
<td>vi. Pu. Mungging</td>
<td>Maintenance</td>
</tr>
<tr>
<td>vii. Mudah Utara</td>
<td>Maintenance</td>
</tr>
<tr>
<td>viii. One Fathom Bank North</td>
<td>Maintenance</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>Resilient Light Beacon</strong></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i. Sepat</td>
<td>Maintenance</td>
</tr>
</tbody>
</table>
1st QUARTER 2012
MAINTENANCE REPORT (MALAYSIA)

C&S Pulau Undan Light House &
Tanjung Piai Light Beacon

Currently, the C&S works (Civil & Structural) at Tg. Piai Light Beacon and are in process of tender and expected to be started on early Mei 2012.

Pulau Undan Light House (Rehabilitation)- Soil Investigation and crack Monitoring for 6 month. The works will be started after received the report.
1st QUARTER 2012
MAINTENANCE REPORT (MALAYSIA)

AtoN Spare Part Purchasing & Other Services

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>Item</th>
<th>Unit</th>
<th>Estimated Cost (USD)</th>
<th>Actual (USD)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>Flasher TF 3b</td>
<td></td>
<td></td>
<td>14,427.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>Control card (Pulau Undan)</td>
<td></td>
<td></td>
<td>1,803.00</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>Racon</td>
<td></td>
<td></td>
<td>In Progress</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>Battery</td>
<td></td>
<td></td>
<td>In Progress</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>Bulb</td>
<td></td>
<td></td>
<td>In Progress</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Total (RM)</td>
<td></td>
<td></td>
<td>49,500.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>*Total (USD)</td>
<td></td>
<td></td>
<td>16,230.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

1st QUARTER 2012
MAINTENANCE REPORT (MALAYSIA)

Replacement of Tg. Rhu & Panjang Selatan Light Beacon

For the 1st Quarter, the replacement of Panjang Selatan Light Beacon currently in evaluation and tender process. This project expected to be started on early June 2012 and will be done in 5 month. For the replacement of Tg Rhu Light Beacon the tender process expected to commence on June 2012.
# 1st Quarter 2012 Maintenance Report (Malaysia)

## Summary

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>1st Quarter 2012</th>
<th>Approved Cost (USD)</th>
<th>Note</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>C&amp;S work Pulau Undan Light House</td>
<td>280,000</td>
<td>Funded by ANF</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>C&amp;S work Tg. Piai Light Beacon</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>AtoN Spare Part</td>
<td>204,908</td>
<td>Funded by ANF</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>Maintenance Inspection</td>
<td>15,000</td>
<td>Funded by ANF</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>Operational</td>
<td>258,000</td>
<td>Funded by Malaysia</td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td>Replacement of Panjang Selatan Light Beacon</td>
<td>1,500,000</td>
<td>Funded by Malaysia</td>
</tr>
<tr>
<td>7.</td>
<td>Replacement of Tg. Rhu Light Beacon</td>
<td>1,500,000</td>
<td>Funded by Malaysia</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td><strong>Grand Total</strong></td>
<td><strong>3,757,908</strong></td>
<td>Funded by ANF – 499,908</td>
</tr>
</tbody>
</table>

---

**Thank You**
航海援助施設メンテナンス作業報告
シンガポール

1.0 はじめに
シンガポールはマ・シ海峡における5つの主要航海援助施設（AtoN）の維持に対して責任を負う。5主要航海援助施設とは、Pulau Pisang、Sultan Shoal、Raffles、Bedok、Horsburgh灯台である。

2012年上旬の査定により、Bedok灯台とSultan Shoal灯台のメンテナンスと修理に、それぞれUSD11,000とUSD93,000が予算として充てられた。両灯台は現在、入札の段階であり、作業は2012年末に完了する見込みである。メンテナンス作業の内容は、構造的修繕、再塗装、取替、灯台と周囲の設備強化である。

2.0 メンテナンス作業計画（Bedok 灯台）

2.1 メンテナンス作業計画

2.1.1 土木基礎工事（C&S）
(i) 灯台タワー部の修繕および再塗装
(ii) 構造部修理
(iii) 反射フィルム取替

3.0 メンテナンス作業計画（Sultan Shoal 灯台）

3.1 メンテナンス作業計画

3.1.1 土木基礎工事（C&S）
(i) 灯台タワー部の修繕および再塗装
(ii) 構造部修理
### 4.0 概要

#### 4.1 費用（Bedok 灯台）

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>承認済 PMP見積総額</th>
<th>必要改訂総額</th>
<th>支出総額</th>
<th>支出済総額 (USD)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1. 土木基礎工事（C&amp;S）</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>8,000</td>
</tr>
<tr>
<td>2. メンテナンス作業</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>3,000</td>
</tr>
<tr>
<td>(i) 運転</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>(ii) 維持</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>(iii) 交換部品</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>3. 取替作業</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>4. 作業監査（必要な場合）</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>11,000</td>
</tr>
</tbody>
</table>

#### 4.2 費用（Sultan Shoal 灯台）

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>承認済 PMP見積総額</th>
<th>必要改訂総額</th>
<th>支出総額</th>
<th>支出済総額 (USD)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1. 土木基礎工事（C&amp;S）</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>93,000</td>
</tr>
<tr>
<td>2. メンテナンス作業</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>(i) 運転</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>(ii) 維持</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>(iii) 交換部品</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>3. 取替作業</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>4. 作業実績監査（必要な場合）</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>93,000</td>
</tr>
</tbody>
</table>
基金の事業計画

マ・シ海峡における航行援助施設 2011 年業務監査報告

マラッカ海峡協議会（MSC）より提出

はじめに

1. 基金運営規則第 2.3 条にしたがい、承認済 10 年メンテナンス作業計画（PMP）に記された維持・更新および修繕作業が計画に従って実施されたことを確認するため、有資格の独立第三者機関が年次事後業務監査を行うこととする。

年次業務監査報告

2. MSC の専門家は、別紙に記載のとおり、委員会に対して 2011 年に実施された業務監査に関する助言を行う。

委員会に求められる行動

3. 基金委員会を招集して、提示された情報に関する妥当性を判断する。
2011年会計年度業務監査報告
（2011年1月～12月）

2011年会計年度業務監査報告

航行援助基金が適用されているマレーシアの18航行援助施設およびインドネシアの28航行援助施設については、2011年作業計画に記載のとおり、二度の定期保守点検作業が実施された。

航行援助基金委員会により業務監査役に指名されたマラッカ海峡協議会は、上記のすべての保守点検作業現場へ技術者を派遣した。派遣された技術者は各保守点検作業に立ち会い、計画どおりに作業が行われたことを確認した。

2012年3月

マラッカ海峡協議会

________________________________________
Fumio Kaneko
常務理事（業務監査人）
保守点検作業概要

1. 報告対象期間

本報告は2011年1月から2011年12月までの期間を対象とする業務監査報告である。

2. 業務監査対象航行援助施設

マレーシア：18地点
インドネシア：28地点

3. 2011年保守点検作業期間

保守点検作業は下記のとおり実施された。

（事前ミーティング ～ 保守点検作業 ～ 事後ミーティング）

● マレーシア

第1回巡回保守点検作業

2011年4月18日～2011年4月29日（協議会は2011年3月31日にマレーシア政府より招請状を受領）

第2回巡回保守点検作業

2011年10月21日～2011年10月31日（協議会は2011年10月7日にマレーシア政府より招請状を受領）

● インドネシア

第1回巡回保守点検作業

2011年7月22日～2011年8月12日（協議会は2011年6月14日にインドネシア政府より招請状を受領）

第2回巡回保守点検作業

2011年11月18日～2011年12月12日（協議会は2011年10月26日にインドネシア政府より招請状を受領）
4. 保守点検作業概略

● マレーシア

各巡回保守点検作業において、それぞれ海上交通局からの技術者5名からなる2チームを組織した。第1チームは、9航行援助施設の保守点検作業を担当し、作業期間半ばで残りの9航行援助施設を担当する第2チームに作業を引き継いだ。対象地点までの移動手段については、車両による陸上移動と海上交通局船舶による移動とを適宜組み合わせた。

● インドネシア

巡回保守点検作業は2部に分けられ、第1チームはTg. Pinang基地が所有する15航行援助施設、第2チームはDumai基地が所有する13航行援助施設を担当した。

第1チームは、管理技術者5名（うち3名は海運総局、2名はTg. Pinang基地所属）で構成された。第1チームによる15航行援助施設の保守点検作業が終了した時点で、新たに構成された5名（うち3名は海運総局、2名はTg. Pinang基地所属）からなる第2チームに引き継がれた。

Tg. Pinang基地所属の設標船「Jadayat」を作業全般をとおして母船として活動させた。

航路援助施設の種類、破損や年数の度合いにより各現場での作業内容は異なるが、基本的な保守点検作業内容は下記のとおりである。

(1) 機能点検

機能点検において、下記の項目を確認し、部品交換、蓄電池端子やレンズ、ソーラーパネルのクリーニング作業など現場で必要な措置をとった。

- 灯火特性（リズム）
- 点滅装置およびランプチャージャーの機能点検
- 電球（暗い、点灯しない）
- ランタンおよびレンズの状態
- 接続ケーブル
- 蓄電池の分析
- レーダービーコンの信号検出性能
- ソーラーパネルの出力電圧
- 非常用電源のための自動発電システムの機能点検
- 避雷器、避雷針および接地状態点検
・ 機器内の腐食防止剤の有効性の検証

(2) 構造点検
・ 塗装の落ち・剥がれ
・ 木造構造部の腐朽点検
・ コンクリート構造部の亀裂点検
・ スチール構造部の腐食点検。必要であればチッピング・縫い塗りの実施
・ おもりの引き上げ用アイボルトのゆるみの矯正
・ チェーン摩耗のチェック（灯浮標）
・ 鳥の糞の掃除

(3) 関連設備の点検
・ 航行援助施設の桟橋など通路の安全確認
・ 通路上の海草の刈り取り
・ 避雷針ケーブルのインピーダンス測定

5. 所見

5.1 マレーシア

(1) 第1回巡回保守点検作業

a. 灯具
18 航行援助施設のうち、2 航行援助施設が点灯していなかった。

b. レーダービーコン（レーコン）
18 航行援助施設のうち、6 航行援助施設にレーコンを設置している。これら6つのうち、4つのレーコンはレーダー波を発信しておらず、修理のため回収した。

(2) 第2回巡回保守点検作業

a. 灯具
18 航行援助施設のうち、5 航行援助施設が点灯してなかった。

b. レーダービーコン（レーコン）
6 つのレーコンのうち、1 つがレーダー波を発信しておらず、修理のため回収した。
5.2 インドネシア

(1) 第1回巡回保守点検作業

a. 灯具

シンガポール海峡の15航行援助施設のうち、1航行援助施設（灯浮標）が点灯していなかった。

マラッカ海峡の13航行援助施設のうち、4航行援助施設（3灯浮標、1浮体式灯標）が点灯しておらず、1つの航行援助施設（灯浮標）は電圧降下が原因でほとんど点灯していなかった。

b. レーダービーコン（レーコン）

シンガポール海峡の6つのレーコンのうち、灯浮標に設置されている1つがレーダーポーを発信していなかった。保守点検作業期間に修理・再装置がなされたが、再びレーダーポーを発信せず、修理のため回収された。

Buffalo Rock 北基準マーク灯標は、船舶の衝突により深刻な被害を受けている。前回の保守点検作業で、灯標の倒壊を防ぐための緊急措置が取られ、第1回巡回保守点検作業時においてもそのままの状態であった。

(2) 第2回巡回保守点検作業

a. 灯具

シンガポール海峡の15航行援助施設で点灯していない航行援助施設はなかったが、1航行援助施設において、交換部品の調達が困難なため機能レベルの低下が見られた。

一方、マラッカ海峡の13航行援助施設のうち、3航行援助施設が点灯しておらず、2航行援助施設において、交換部品の調達が困難なため機能レベルの低下が見られた。

b. レーダービーコン（レーコン）

シンガポール海峡の6つのレーコンのうち、1つのレーコンが修理のため回収されている。マラッカ海峡の4つのレーコンすべては問題なく機能していた。

Buffalo Rock 北基準マーク灯標は、第2回巡回保守点検作業時において工事中であった。

99
6. 勧告

マレーシアの航行援助施設に関して、2011年第2回巡回保守点検作業期間中に、18航行援助施設のうち5航行援助施設が非点灯であることが分かった。これは過去6回の保守点検作業で最も悪い結果であった。よりメンテナンスが容易なLED灯火装置に変更したことを考えても、このような結果は、マ・シ海峡の航行の安全を維持するため、期待される航行援助施設のレベルとして満足いくものであるとはいえないのである。

機器の採用に関して技術スタッフの意見を反映し、既存のモニタリングシステムを維持し、大いに活用することが必要である。

インドネシアの航行援助施設に関して、2011年第1回巡回保守点検作業が7月から8月にかけて、第2回目が11月から12月に実施された。このような半年ごとの定期的な間隔をおいての実施は望ましいことである。

2011年のマラッカ海峡第1回巡回保守点検作業期間中、Dumai基地所有の13航行援助施設のうち、4航行援助施設が非点灯であり、1航行援助施設がほとんど非点灯の状態であった。また、第2回巡回保守点検作業期間中、3航行援助施設が非点灯であり、2航行援助施設が十分に機能していなかった。機器と部品が頻繁に盗難にあっていることが分かった、このような窃盗に対して予防策を強化することが必要である。

また、特にシンガポール海峡において、船舶の衝突による航行援助施設の破損、転位および紛失が頻繁に起こっていることが分かった。このように迅速な必要措置をとることについて触れておきたい。

寿命が近づいている航行援助施設の更新が遅れていることが危惧され、作業の遅れの原因について検討し、状況を改善する必要がある。

シンガポール海峡において、航行援助施設が正常に作動していない際に迅速な必要措置をとることについて触れておきたい。

2010年会計年度の業務監査報告の「助言」部分で指摘したとおり、日本政府とマレーシア政府の協力により、沿岸国のメンテナンス作業スタッフを訓練するための強化プログラムがマレーシアで実施された。このような取り組みが続くことは非常に望ましいことである。
基金の作業計画

2012年作業計画（改訂）

沿岸国より提出

はじめに

1. 基金運営規則第8.2.2条により、当局は、対象航行援助施設の提供および維持管理に関する年間作業計画を策定して、基金委員会の承認を得ることが求められる。

2012年作業計画案

2. 2012年作業計画案は別添1に記載のとおりである。沿岸国による改訂を受け、昨年2011年10月17日～18日に開かれた第7回航行援助施設基金委員会会議において作業計画が承認された。

3. 2012年作業計画の要約は次のとおりである。

(i) 承認済みPMP（メンテナンス作業）にしたがい、マ・シ海峡51航行援助施設取替および維持更新作業を実施する。詳細は沿岸国より提示される予定である。

   一 別添1：インドネシア
   一 別添2：マレーシア
   一 別添3：シンガポール

(ii) 独立監査人による基金に関する2011年度財務監査を、2012年3月31日までに実施するものとする。

(iii) 独立した第三者専門家による業務監査をインドネシアおよびマレーシアに対して実施する。委員会メンバーの要請により、詳細はマラッカ海峡協議会より提出される予定である。

(iv) 2012年第8回および第9回の航行援助施設基金委員会会議を実施する。

委員会に求められる行動

5. 基金委員会を招集して、提示された情報に関する妥当性を判断する。
2012年海峡航行援助施設作業計画（改訂）
インドネシアより提出

1. はじめに

1.1. 基金運営規則第8.2.2条にしたがい、当局は、対象航行援助施設の提供およびメンテナンスに関して年間作業報告を作成し、基金委員会に提出し承認を得なければなら

1.2. 第2回航行援助施設基金委員会会議において、海峡における航行援助施設10ヵ年メンテナンス作業計画（PMP）が承認された。これには、28のインドネシア重要航行援助施設の取替・更新作業が含まれる。

1.3. 作業計画は承認済10ヵ年メンテナンス作業計画にしがたって実施される予定であるが、インドネシアは利用可能な基金の資金を考慮し、2012年作業計画に対して可能な費用節減策を講じる必要がある。

1.4. 第5回航行援助施設基金委員会会議において、Buffalo Rock北灯標（ILL.834）土木基礎工事準備作業が承認された。当初は、2014年実施の予定であったが、2011年に前倒しで実施）。

1.5. 第7回航行援助施設基金委員会会議において、沿岸国により提出された2012年作業計画が検討された。

2. 作業計画

2.1 全体計画／活動

2.1.1. 承認済メンテナンス作業計画（PMP）に対応した活動の提案

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>航行援助施設リスト／説明</th>
<th>2012年計画</th>
<th>承認済10ヵ年PMP</th>
<th>作業計画案</th>
<th>承認済PMPによる見積合計額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>One Fathom Bank北基準マーク灯標（ILL.572）</td>
<td>✓</td>
<td>✓</td>
<td>✓</td>
<td>USD.950,000</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>Raleigh Shoal浅瀬灯標（ILL.610）</td>
<td>✓</td>
<td>✓</td>
<td>✓</td>
<td>USD.1,500,000</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>One Fathom Bank南基準マーク灯標（ILL.571）</td>
<td>✓</td>
<td>✓</td>
<td>✓</td>
<td>USD.85,000</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>Cula一般マーク灯標（ILL.825）</td>
<td>✓</td>
<td>✓</td>
<td>✓</td>
<td>USD.80,000</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>28航行援助施設に対する交換部品・メンテナンス年間費用</td>
<td>✓</td>
<td>✓</td>
<td></td>
<td>USD.554,654</td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td>航行援助施設保守点検作業のための船舶・乗員</td>
<td>✓</td>
<td>✓</td>
<td></td>
<td>USD.272,622</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>USD.3,442,276</td>
</tr>
</tbody>
</table>

備考：為替レート：1USドル＝8,500インドネシアルピー
・C：土木基礎工事（C&S）・M：保守作業・R：取替作業
2.1.2. 作業対象範囲案

2.1.2.1. 土木基礎工事（C&S）準備作業

(1) 計画詳細（承認済メンテナンス作業計画に対応した活動）

(a) 承認済 2012 年メンテナンス作業計画

i. One Fathom Bank 南基準マーク灯標（ILL.571）
ii. Raleigh Shoal 浅瀬灯標（ILL.610）

(b) 2012 年メンテナンス作業計画案

i. One Fathom Bank 南基準マーク灯標（ILL.571）
ii. Cula 一般マーク灯標（ILL.825）

(c) 実施スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業計画</th>
<th>第1四半期</th>
<th>第2四半期</th>
<th>第3四半期</th>
<th>第4四半期</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>a. One Fathom Bank 南基準マーク灯標（ILL.571）</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b. Cula 一般マーク灯標（ILL.825）</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(d) 費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>承認済 PMP</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>One Fathom Bank 南基準マーク灯標（ILL.571）</td>
<td>USD.85,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>Cula 一般マーク灯標（ILL.825）</td>
<td>USD.80,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>USD.165,000.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(2) 詳細情報／別紙概要

該当なし
(3) 写真

i. One Fathom Bank 南基準マーク灯標（ILL.571）

![One Fathom Bank 南基準マーク灯標](image1)

ii. Cula 一般マーク灯標（ILL.825）

![Cula 一般マーク灯標](image2)

2.1.2.2. 定期メンテナンス作業

(1) 計画詳細（承認済メンテナンス作業計画に対応した活動）

(a) 2012 年承認済メンテナンス作業計画

i. 2012 年第 1 回巡回保守点検作業は 2012 年 5 月～6 月に実施される予定である。

ii. 2012 年第 2 回巡回保守点検作業は 2012 年 10 月～11 月に実施される予定である。
(b) 実施スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業計画</th>
<th>2012 年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>第1四半期</td>
</tr>
<tr>
<td>a. 2012年第1回巡回保守点検作業は2012年4月～5月に実施予定</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b. 2012年第2回巡回保守点検作業は2012年10月～12月に実施予定</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(c) 費用
次ページに記載

(2) 詳細情報／別紙概要
該当なし

(3) 写真
該当なし
<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>第1回巡回保守点検作業</th>
<th>第2回巡回保守点検作業</th>
<th>合計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>作業チーム諸手当</td>
<td>USD 9,941.18</td>
<td>USD 9,941.18</td>
<td>USD 19,882.35</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>船員日当</td>
<td>USD 15,529.41</td>
<td>USD 15,529.41</td>
<td>USD31,058.82</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>糧食支給</td>
<td>USD 21,058.82</td>
<td>USD 21,058.82</td>
<td>USD 42,117.65</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>船舶運用経費</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>a. 燃料／HSD</td>
<td>USD 25,411.76</td>
<td>USD 25,411.76</td>
<td>USD 50,823.53</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>b. ガソリン</td>
<td>USD 264.71</td>
<td>USD 264.71</td>
<td>USD 529.41</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>c. 潤滑油</td>
<td>USD 882.05</td>
<td>USD 882.05</td>
<td>USD 1,764.09</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>d. 潤滑油 2T</td>
<td>USD 80</td>
<td>USD 80</td>
<td>USD 160</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>e. 淨水</td>
<td>USD 1,111.76</td>
<td>USD 1,111.76</td>
<td>USD 2,223.56</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>機器・予備機</td>
<td>USD 3,529.41</td>
<td>USD 3,529.41</td>
<td>USD 7,058.82</td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td>その他</td>
<td>USD 4,411.76</td>
<td>USD 4,411.76</td>
<td>USD 8,823.53</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>USD 82,222.05</td>
<td>USD 82,222.05</td>
<td>USD 164,441.74</td>
</tr>
</tbody>
</table>
2.1.2.3. 特定保守作業

(1) PMP（メンテナンス作業計画）で承認された2012年インドネシア航行援助施設特定メンテナンス作業

i. Buffalo Rock 北基準マーク灯標（ILL.834）突堤設置作業

2.1.2.4. 取替作業

(1) 計画詳細（承認済メンテナンス作業計画に対応した活動）

(a) 2012年承認済メンテナンス作業プログラム

i. One Fathom Bank 北基準マーク灯標（ILL.572）
ii. Rob Roy Bank 浅瀬灯標（ILL.620）

(b) 2012年メンテナンス作業計画案

i. One Fathom Bank 北基準マーク灯標（ILL.572）
ii. Raleigh Shoal 浅瀬灯標（ILL.610）

（c）実施スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業計画</th>
<th>2012年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>第1四半期</td>
</tr>
<tr>
<td>a. One Fathom Bank 北基準マーク灯標（ILL.572）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b. Raleigh Shoal 浅瀬灯標（ILL.610）</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(d) 費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>承認済PMP</th>
<th>実際必要額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>One Fathom Bank 南基準マーク灯標（ILL.571）</td>
<td>USD 950,000.00</td>
<td>USD 802,322.96</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>Cula 一般マーク灯標（ILL.825）</td>
<td>USD 1,500,000.00</td>
<td>USD 920,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>USD 2,450,000.00</td>
<td>USD 1,722,322.96</td>
</tr>
</tbody>
</table>

備考：
為替レート：1USドル = 9.000インドネシアルピア
(2) 詳細情報／別紙概要

当初、2013年に開始される予定であった Raleigh Shoal 浅瀬灯標（ILL.610）の土木基礎工事（C&S）準備作業スケジュールの改訂により、日本政府の協力でマラッカ海峡協議会（MSC）とDGSTが行った海洋調査に基づいたデスクトップ調査が開始された。

上記の調査に基づき、Raleigh Shoal 浅瀬灯標（ILL.610）の取替作業に要する技術者費用見積は、下記のとおりである。（既存の灯標の仕様を利用）

灯標の仕様

- タワー（上部構造）：FRP モジュラー灯標
- サブ構造（仮）：スチールパイルを使用したスチールプラットフォーム
- メイン機器：ランタン、レーダービーコン、レーダーリフレクター、ソーラーパワーサプライシステム、トップマーク、バードストライク、ライトニングプロテクション

技術者費用見積

- 準備作業：USD 150,000.00
- メイン構造部作業：USD 380,000.00
- 航行援助施設機器：USD 110,000.00
- 現場作業：USD 280,000.00

合計 USD 920,000.00
(3) 写真

i. One Fathom Bank 北基準マーク灯標（ILL.571）

ii. Raleigh Shoal 浅瀬灯標（ILL.610）

(4) 上記 2 地点の取替作業のほか、インドネシアは Nongsa 灯台（ILL.874）、Tanjung Medang 灯台（ILL.630）、Nipa 一般マーク灯標（ILL.820）の取替作業と更新を実施する予定である。この作業は 2012 年に開始され、インドネシアの予算で行われる。
2.1.2.5. 交換部品の調達

(1) 計画詳細（承認済メンテナンス作業計画に対応した活動）

(a) 2012年メンテナンス作業計画案

2012年にインドネシアは定期メンテナンス作業支援のため交換部品を調達し、航行援助施設に生じうる不測の事態または技術的不具合の発生に備える。調達自体については、2012年5月～8月に実施する予定である。

(b) 実施スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業計画</th>
<th>2012年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>第1四半期</td>
<td>第2四半期</td>
</tr>
<tr>
<td>交換部品の調達</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(c) 費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>承認済 PMP</th>
<th>実際必要額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>交換部品の調達</td>
<td>USD 554,654</td>
<td>USD 318,929</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>USD 554,654.00</td>
<td>USD 318,929.00</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

備考：
為替レート：USD 1ドル = 9.000 インドネシアルピア

2.1.2.6. 概要

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>承認済 PMPによる合計見積額</th>
<th>実際必要額</th>
<th>2012年予算案</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>土木基礎工事</td>
<td>165,000</td>
<td>-</td>
<td>165,000</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>特定保守作業</td>
<td>157,895</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>通常保守作業</td>
<td>272,622</td>
<td>164,441.74</td>
<td>164,441.74</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>取替作業</td>
<td>2,450,000</td>
<td>-</td>
<td>1,722,322.96</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>交換部品調達</td>
<td>554,654</td>
<td>318,929</td>
<td>318,929</td>
</tr>
<tr>
<td>合計 (USD)</td>
<td>3,600,201</td>
<td>483,370.74</td>
<td>2,370,693.70</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

備考：
為替レート：USD 1ドル = 9.000 インドネシアルピア
2012年海峡航行援助施設作業計画

マレーシア

1.0 概要

1.1 海峡におけるマレーシア18航海援助施設について2012年メンテナンス計画は、承認済み10年計画のメンテナンス作業計画（PMP）に基づいて策定されている。

1.2 電気系、機械系および灯火系の各保守を含む9か所の航海援助施設のメンテナンス費用はマレーシアが負担する。残りの航海援助施設のメンテナンス費用については航海援助施設基金（以下、「基金」）の負担となる。

1.3 2か所の土木基礎工事（C&S）を含む2012年メンテナンス計画については、8か所の維持更新作業が基金からの資金拠出となり、6件の維持更新作業および2件の交換作業については以下のとおりマレーシアが費用負担することになる。

<table>
<thead>
<tr>
<th>航海援助施設</th>
<th>2012年作業範囲</th>
<th>基金による負担</th>
<th>マレーシアによる負担</th>
</tr>
</thead>
</table>
| 灯台<br>
Bukit Jugra<br>Tg. Tuan<br>Pulau Undan<br>One Fathom Bank<br>Bukit Segenting | 維持更新<br>維持更新<br>土木基礎工事<br>維持更新<br>維持更新 | ✓ <br> ✓ <br> ✓ <br> ✓ <br> ✓ |
| 灯標<br>
Tg. Rhu<br>Panjang Selatan<br>Mudah Selatan<br>Tompok Utara<br>Panjang Utara<br>Tanjung Tohor<br>Mudah Utara<br>Tanjung Gabang<br>Tanjung Piai<br>Pulau Mungging<br>OFB North | 取替<br>取替<br>維持更新<br>維持更新<br>維持更新<br>維持更新<br>維持更新<br>土木基礎工事<br>維持更新<br>維持更新 | ✓ <br> ✓ <br> ✓ <br> ✓ <br> ✓ <br> ✓ <br> ✓ <br> ✓ <br> ✓ <br> ✓ |
| 浮体式灯標<br> Sepat | 維持更新 | ✓ |
| 浮標<br> Piai | 維持更新 | ✓ |
2.0 メンテナンスプログラム

2.1 航行援助施設メンテナンス作業計画（PMP）について提案されている４つの主要分野は以下のとおりである。

2.1.1 土木基礎工事

(i) 2012年度は、3か所の航行援助施設に対する土木基礎工事が予定されている。詳細は以下のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>航行援助施設設置場所</th>
<th>見積費用（USドル）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>Pulau Undan灯台</td>
<td>220,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>Piai灯標</td>
<td>60,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>総計</td>
<td>280,000.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(ii) 見積費用は2008年査定調査において土木基礎工事コンサルタントが作成した数量明細書に基づく数値である。

(iii) 第1回査察は、マレーシア公共事業局（PWD）により2011年5月10日に実施され、第2回査察は2011年8月10日に、Pulau Undan灯台にて実施された。同灯台の円筒状塔部の中心部に変位による大きな亀裂が生じていることが判明したため、第3回査察については2011年10月に実施する予定とした。また、マレーシア公共事業局は、基礎構造部分の不具合や斜面変動がないかどうか確認するため、継続的な地質工学的監視を行う予定である。

(iv) マレーシア公共事業局（PWD）の査察報告を前提とすると、土木・構造物工事の費用は2008年査定調査を上回ると考えられる。特にPulau Undan灯台に対する土木基礎工事は基礎構造部分の回復作業にその多くが費やされると考えられる。マレーシア公共事業局による最終報告および費用査定は、最終の地質工学的調査が完了したのに海事交通局に提出される。マレーシア公共事業局による予備報告については別紙1のとおりである。

2.1.2 電気系、機械系、灯火系保守工事

(i) 電気系、機械系、灯火系メンテナンス作業については、基金からの支払いが必要なのは以下の9施設のみである。詳細については別紙2のとおりである。
<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>マレーシア費用負担施設</th>
<th>基金費用負担施設</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>Bukit Jugra 灯台</td>
<td>OFB 灯台</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>Tg. Tuan 灯台</td>
<td>Bukit Segenting 灯台</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>Pulau Undan</td>
<td>Tanjung Tohor 灯標</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>Tg. Rhu 灯標</td>
<td>Mudah Utara 灯標</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>Panjang Selatan 灯標</td>
<td>Tanjung Gabang 灯標</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>Mudah Selatan 灯標</td>
<td>Tanjung Piai 灯標</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>Tompok Utara 灯標</td>
<td>Pulau Mungging 灯標</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>Panjang Utara 灯標</td>
<td>OFB 北灯標</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>Piai 浮標</td>
<td>Sepat 浮体式灯標</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計＝USD 204,908</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

・Bukit Segenting 灯台およびSepat 浮体式灯標は取替計画の対象となっているため保証期間中である。

2.1.3 Panjang Selatan 灯標およびTanjung Rhu 灯標の取替作業

(i) Panjang Selatan 灯標およびTanjung Rhu 灯標は破壊されているため、取替作業は優先して実施すべきである。

(ii) 破壊されたPanjang Selatan 灯標およびTanjung Rhu 灯標に関する情報については、別紙3を参照。

2.1.4 基金による保守点検作業

(i) 保守点検作業は年2回実施される。予定では、メンテナンス作業は2012年4月から10月にかけて実施される。海上交通局の職員10名およびマラッカ海峡協議会職員が参加する予定である。人員は同人数で構成した2つのグループに分ける。基金による保守点検作業の見積費用はUSD 15,000 である。
3.0 2012年メンテナンス計画の概要

3.1 2012年度メンテナンス作業計画（PMP）の総額は以下のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>金額 (US ドル)</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>Pulau Undan および Piai 灯標の土木基礎工事</td>
<td>280,000.00</td>
<td>第2・第3四半期</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>基金による 9 航行援助施設メンテナンス（電気系、機械系および灯火系等）</td>
<td>204,908.00</td>
<td>優先度高第1四半期</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>作業・活動費用</td>
<td>258,000.00</td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>基金メンテナンス第三者検査</td>
<td>15,000.00</td>
<td>第2・第4四半期</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>Panjang Selatan 灯標の取替作業</td>
<td>1,500,000.00</td>
<td>優先度高第1四半期 マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td>Tanjung Rhu 灯標の取替作業</td>
<td>1,500,000.00</td>
<td>優先度高第1四半期 マレーシア負担</td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計 3,757,908.00
## 予備報告

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>窓日よけの損傷</th>
<th>木製日よけの不具合</th>
<th>非常に高い (非構造的)</th>
<th>新規木製日よけの設置</th>
<th>-</th>
<th>画像 3-5 参照</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2</td>
<td>塗装の剥がれ</td>
<td>海水および塩素による影響</td>
<td>非常に高い (非構造的)</td>
<td>剥がれ部分の洗浄とアクリルペンキでの再塗装</td>
<td>-</td>
<td>画像 6-7 参照</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>窓枠およびビーム口の構造的亀裂</td>
<td>-</td>
<td>低い (構造的)</td>
<td>窓枠－グラウトビーム－コンクリート補修</td>
<td>-</td>
<td>画像 8-9 参照</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>木製コンポーネントの損傷／腐食</td>
<td>水による影響</td>
<td>低い (非構造的)</td>
<td>関連構造部取替・定期的な害虫駆除作業の実施</td>
<td>-</td>
<td>画像 10-11 参照</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>ランタンドームフレームの腐食</td>
<td>・ガラスとランタンドームフレーム間のすきまを埋めるシリコンの濡れ・塩素による影響</td>
<td>低い (構造的)</td>
<td>腐敗がひどく進んでいるフレーム部の取替／除去</td>
<td>-</td>
<td>画像 12-13 参照</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>コンクリート壁根の亀裂および剥落</td>
<td>過負荷</td>
<td>低い (構造的)</td>
<td>グロウトおよび防水皮膜実施</td>
<td>-</td>
<td>画像 14-15 参照</td>
</tr>
</tbody>
</table>


## 予備報告

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>現場における損傷所見／不具合</th>
<th>原因</th>
<th>損傷レベル</th>
<th>修繕についての勧告および手段</th>
<th>参照／別紙／明細／図面</th>
<th>註</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>7</td>
<td>建物およびランタンドームを支える主要構造部の亀裂</td>
<td>横への負荷</td>
<td>高い（構造的）</td>
<td>グロウトおよび金属除去の実施（引き続き監視中）</td>
<td>-</td>
<td>画像16-17参照</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>建物エプロン部の亀裂</td>
<td>地面の細かい堆積物および地下運動による疑い</td>
<td>高い（構造的）</td>
<td>エプロン最舗装</td>
<td>-</td>
<td>画像18-19参照</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>傾斜壁周辺水路の細かい堆積物および亀裂</td>
<td>地面の細かい堆積物</td>
<td>低い（構造的）</td>
<td>コンクリート再舗装</td>
<td>-</td>
<td>画像20-21参照</td>
</tr>
</tbody>
</table>
写真

画像 1 灯台

画像 2 灯台

画像 3 窓日よけ損傷
画像4 窓日よけ損傷

画像5 窓ひよけ損傷

画像6 塗装不具合
画像 7 地衣類の生えた壁

画像 8 建物の壁の亀裂

画像 9 建物の壁の亀裂
画像 10 木製コンポーネントの損傷
画像 11 木製コンポーネントの損傷
画像 12 ランタンドームの腐食
画像13 ランタンドームの腐食

画像14 屋根厚板の亀裂

画像15 屋根厚板の亀裂
画像16 タワー主要構造部の亀裂

画像17 タワー主要構造部の亀裂

画像18 建物エプロン部の亀裂
画像 19 建物エプロン部の亀裂
画像 20 傾斜壁の堆積物
画像 21 傾斜壁周辺水路の亀裂
### メンテナンス作業計画

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>マレーシア航行援助施設工事計画 2012</th>
<th>1月</th>
<th>2月</th>
<th>3月</th>
<th>4月</th>
<th>5月</th>
<th>6月</th>
<th>7月</th>
<th>8月</th>
<th>9月</th>
<th>10月</th>
<th>11月</th>
<th>12月</th>
<th>予算 (USドル)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>Jugra 灯台</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>5,955</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球（1,000 時間）8 個×4 回／年×$150／個</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>場所発電機</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>10,719</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>予備発電機ディーゼル燃料@10 リットル×12 か月（$0.82-0.89）</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>119</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>設備・通信</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>179</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>発電機整備</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>2,382</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,573</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>22,927</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>OFB 灯台*</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>10,927</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球（1,000 時間）16 個×4 回／年×$150／個</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>近隣整備保守</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>9,835</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>灯台発電機（OFB）ディーゼル燃料@10,000 リットル×12 か月（$0.50）</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>107,524</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>乗員交代用船舶燃料@3 回×12 か月×12,000 リットル（$0.82-0.89）</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>38,709</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>2,783</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>Tg. Rhu 灯標</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>1,500,000</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>取替</td>
<td>R</td>
<td></td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>1,503,278</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,278</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>1,503,278</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>Tg. Gabang 灯標（MSC）*</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>273</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,278</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ランプチェンジャー（3,000）</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>2,185</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>太陽光スイッチ（2,000）</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,278</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>9,014</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>Sepat 浮体式灯標（MSC）*</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>保証期間</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>No.</td>
<td>マレーシア航行援助施設工事計画 2012</td>
<td>1月</td>
<td>2月</td>
<td>3月</td>
<td>4月</td>
<td>5月</td>
<td>6月</td>
<td>7月</td>
<td>8月</td>
<td>9月</td>
<td>10月</td>
<td>11月</td>
<td>12月</td>
<td>予算（USドル）</td>
</tr>
<tr>
<td>-----</td>
<td>-----------------------------------</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>----------------</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>Tg. Tuan 灯台</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>Pulau Undan 灯台</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>Tg.Tobor 灯標（MSC）*</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>B.Segenting 灯台 (MSC)*</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>Panjang Selatan 灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>Mudah Selatan 灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>灯台</th>
<th>1月</th>
<th>2月</th>
<th>3月</th>
<th>4月</th>
<th>5月</th>
<th>6月</th>
<th>7月</th>
<th>8月</th>
<th>9月</th>
<th>10月</th>
<th>11月</th>
<th>12月</th>
<th>合計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>6</td>
<td>電球</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>I</td>
<td>I</td>
<td>328</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>電球</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>I</td>
<td>I</td>
<td>546</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>電球</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>I</td>
<td>I</td>
<td>273</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>電球</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>I</td>
<td>I</td>
<td>273</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>取替</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>1,500,000</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>電球</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>I</td>
<td>273</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計: 274,745 USドル
<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>マレーシア航行援助施設工事計画 2012</th>
<th>1月</th>
<th>2月</th>
<th>3月</th>
<th>4月</th>
<th>5月</th>
<th>6月</th>
<th>7月</th>
<th>8月</th>
<th>9月</th>
<th>10月</th>
<th>11月</th>
<th>12月</th>
<th>予算</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>12</td>
<td>Piai 浮標</td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>36,442</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>浮標改修</td>
<td>I</td>
<td>I</td>
<td>M</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>2,513</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>積載装置（チェーン、シャックル、スイベル、おもり） (5,800)</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>6,338</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,278</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>Piai 灯標（MSC）*</td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>12,129</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>273</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ランプチェンジャー（3,000）</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,278</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>太陽光スイッチ（2,000）</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>2,185</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>土木基礎工事</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>C</td>
<td>C</td>
<td>C</td>
<td>C</td>
<td>C</td>
<td></td>
<td></td>
<td>60,000</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,278</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>69,014</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>Tompok Utara 灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>9,835</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>遠隔監視保守</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>9,835</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>Pu. Mugging 灯標（MSC）*</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>5,736</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>273</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>太陽電池（2,000）</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>2,185</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,278</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>9,835</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>Panjang Utara 灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>9,835</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>遠隔監視保守</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>9,835</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>OFB 北灯標*</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,660</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球（2,000時間）</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>273</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>太陽電池（100）</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>109</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,278</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,660</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>Mudah Utara 灯標*</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>273</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球（2,000時間）×2個×$125/個</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>273</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>太陽電池（1,500）</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>109</td>
</tr>
</tbody>
</table>
| No. | マレーシア航行援助施設工事計画 2012 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 予算 
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | (USドル) |
| 1 | 付随作業 | | | | | | | | | | | | 3,278 |
| 2 | 合計 | | | | | | | | | | | | 3,660 |
| 3 | 合計額（18航行援助施設） | | | | | | | | | | | | 3,653,167 |
| 4 | マレーシア負担合計額（9航行援助施設） | | | | | | | | | | | | 168,259 |
| 5 | a ANF負担合計額（9航行援助施設） | | | | | | | | | | | | 204,908 |
| 6 | b 土木基礎工事合計額（3航行援助施設） | | | | | | | | | | | | 280,000 |
| 7 | c Tg. Rhu灯標取替 | | | | | | | | | | | | 1,500,000 |
| 8 | d Panjang Selatan灯標取替 | | | | | | | | | | | | 1,500,000 |
| 9 | e 航行援助施設メンテナンス第三者検査 | | | | | | | | | | | | 15,000 |
| 10 | ANF総計（a+b+c+d+e） | | | | | | | | | | | | 3,499,908 |

S: 発注・購入  
I: 保守点検  
C: 土木・構造物工事  
M: めんたけんすす（動作系/灯火系）  
R: 航行援助施設交換工事
<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>2012年(USドル)</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>電気系交換部品・サービス @ 9施設</td>
<td>204,908</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>土木基礎修理・新規工事 @ 2施設</td>
<td>280,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>航行援助施設保守点検</td>
<td>15,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>旅費・残業代 @ 18施設メンテナンス</td>
<td>25,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>レンタル（ポート、クレーン、輸送等）</td>
<td>6,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>その他資材（保守工具、ナット、ボルト、ケーブル、汎用工具等）</td>
<td>20,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>小修理・保守サービス（空調、照明、発電機、火災警報装置等）</td>
<td>25,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>各種付随サービス（造船、シロアリ駆除（薬品処理）、警備、接遇等）</td>
<td>25,000</td>
<td>業務関連</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>施設および施設の修理（施設設備の更新・修理、避難対策、AIS等）</td>
<td>10,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>その他資産購入（折り畳みはしご、消火器、トランシーバ、家具、ポンプ等）</td>
<td>15,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>石油、石油製品（船舶燃料・陸上輸送） @ 12,000リットル×$0.50</td>
<td>72,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>船舶用ディーゼル燃料×3航海×40,000リットル×$0.50</td>
<td>60,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>取替</td>
<td>3,000,000.00</td>
<td>3,000,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計 (USドル)</td>
<td>3,757,908.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>No.</td>
<td>航行援助施設リスト</td>
<td>電気系保守</td>
<td>土木基礎</td>
</tr>
<tr>
<td>-----</td>
<td>------------------</td>
<td>----------</td>
<td>----------</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>Jugra 灯台</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>OFB 灯台</td>
<td>170,273</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>Tg. Rhu 灯標</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>Tg. Gabang 灯標</td>
<td>9,014</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>Sepat 浮体式灯標</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>Tg. Tuan 灯台</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>Pulau Undan 灯台</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>Tg. Tohor 灯標</td>
<td>3,551</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>Bukit Segenting 灯台</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>Panjang Selatan 灯標</td>
<td></td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>Mudah Selatan 灯標</td>
<td></td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>Piai 浮標</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>Piai 灯標</td>
<td>9,014</td>
<td>60,000</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>Tompok Utara 灯標</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>Pulau Mugging 灯標</td>
<td>5,736</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>Panjang Utara 灯標</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>OFB 北灯標</td>
<td>3,660</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>Mudah Utara 灯標</td>
<td>3,660</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計（USドル）</td>
<td>204,908</td>
<td>280,000</td>
</tr>
</tbody>
</table>
1. 概要

1.1 2008年8月、本灯標が衝突により破壊されたとの報告連絡がなされ、応急処置として当該区域の識別のため仮設浮標を浮設した。本灯標の緯度経度は北緯02度50分21.3秒、東経101度17分7秒であって、1998年12月に設置されたものである。本灯標は航行用灯具、補助灯具、AISトランスポンダーおよび自動切換ユニット等を備えていた。

1.2 事故調査については現在も続いており、マレーシアはTanjung Rhu灯標の取替に要する費用をその負担によりすでに投入しているところである。

2. 一般仕様

2.1 Mudah Utara灯標の仕様は複数コンポーネントに分解することができる。

a. 8脚杭材（垂直4本・傾斜4本推奨）
b. つなぎ梁
c. パイルキャップ-上部メインコンクリートプラットフォーム
d. 鉄筋コンクリート製塔部・頂部プラットフォーム
e. 航行用灯火、遠隔監視施設および予備灯具

2.2 塔頂プラットフォームから平均高潮面（MHWS）までの構造物全長は24メートル以上である。

2.3 灯火特性および灯火範囲は以下のとおり。

a. 灯火特性：FI.W.5s
b. 灯火範囲：（主灯）15海里 @ T=0.74
（予備灯）10海里 @ T=0.74
Tanjung Rhu 灯標

（事故前）

（事故直後）
PANJANG SELATAN 灯標の破壊についての報告

1. 概要

1.1 Panjang Selatan 灯標は北緯 1 度 23 分 47 秒、東経 103 度 7 分 84 秒に位置する 1998 年 12 月に設置された灯標である。本灯標は航行用灯火および予備灯火、遠隔監視システム（テレメトリ）および自動切換装置を備えている。構造部は、灯標、5 ブロックガードレールおよび防壁で構成されている。

1.2 2011年 5 月 28 日、本灯標は船舶による衝突により破壊された旨の報告があり、区域を識別させるため仮設浮標が浮設された。事故の詳細については現在調査中である。

1.3 Panjang Selatan 灯標の重要性に鑑み、マレーシアは Panjang Selatan 灯標用費用を計上および負担することとした。灯標の交換作業に要する見積費用は約 350 万マレーシアリングである。現在、入札手続きのため技術仕様書を作成中である。

2. 一般仕様

2.1 灯標構造物の仕様は複数の主要コンポーネントに分解することができる。

a. 8 脚杭材（垂直 4 本・傾斜 4 本推奨）
b. つなぎ梁
c. パイルキャップ-上部メインコンクリートプラットフォーム
d. 鉄筋コンクリート製の塔部・塔頂プラットフォーム
e. 航行用灯火、遠隔監視施設および予備灯火

2.2 塔頂プラットフォームから大潮平均高潮面（MHWS）までの構造物全長は 27 メートル以上である。

2.3 灯火特性および灯火範囲は以下のとおり。

a. 光源特性：FIW.
b. 範囲：（主灯）15 海里 @ T=0.74
   （予備灯）10 海里 @ T=0.74
Panjang Selatan 灯標

（事故前）

（事故直後）
2012年シンガポール海峡航行援助施設作業計画

シンガポール

1.0 概要
USD11,000およびUSD93,000がそれぞれ2012年のSultan Shoal灯台およびBedok灯台の維持更新・修理のため予算配分された。

2.0メンテナンス計画

2.1全体計画／活動

2.1.1承認済みメンテナンス作業計画（PMP）に対応した活動案

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>航行援助施設リスト</th>
<th>2012年計画</th>
<th>見積合計額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>承認済み10年PMP</td>
<td>作業計画案</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>C M R</td>
<td>C M R</td>
</tr>
<tr>
<td>1.</td>
<td>Bedok灯台</td>
<td>✓ ✓ -</td>
<td>✓ ✓ -</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>Sultan Shoal灯台</td>
<td>✓ - -</td>
<td>✓ - -</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注：
C：土木基礎工事
M：維持更新作業
R：取替作業
（✓）：いずれか一方を選択

2.2作業対象範囲案：-

Bedok灯台

2.2.1土木基礎（C&S）工事：

(i) 灯台の塔部および付属建屋の修理および再塗装
(ii) 構造部修理
2.2.2 メンテナンス作業（電気系、灯火系、機械系その他）；

(i) 反射フィルムの取替
Sultan Shoal 灯台

2.2.3 土木基礎 (C&S) 工事；

(i) 灯台の修理および再塗装
(ii) 構造部修理

3.0 要約

3.1 費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>承認済み PMP による合計見積額</th>
<th>実際必要額合計</th>
<th>優先度</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>土木基礎 (C&amp;S) 工事</td>
<td>-</td>
<td>Bedok 灯台 ($8,000) Sultan Shoal 灯台 ($93,000)</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>$101,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>メンテナンス；(i) 運用；(ii) 保守；(iii) 交換部品；</td>
<td>-</td>
<td>Bedok 灯台 ($3,000)</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>$3,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計 (USD)</td>
<td></td>
<td>USS 104,000</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
基金の予算と配分の検討

事務局より提出

はじめに

1. 航行援助施設基金（以下、「基金」）は、2012年12月31日までマレーシア半島海事局により管理・運用される。基金の運用を円滑にするため、マレーシアの法律の下「航行援助施設基金」の名称で信託勘定をおこない、USドルで運用されている。

基金の状況

2. 基金運営規則第2.1条および2.2条にしたがい、受領した拠出金は主に、マ・シ海峡における対象航行援助施設の提供とメンテナンスの実施に必要な業務や活動に利用される。

3. 基金の口座の詳細は別添のとおりである。

3.1 別添1 — 2011年1月1日から2011年12月31日までの航行援助施設基金略述

3.2 別添2 — 2011年1月1日から2011年12月31日までのプロジェクト4の実施に関する航行援助施設基金略述

3.3 別添3 — 2012年1月1日から2012年3月31日までの航行援助施設基金

3.4 別添4 — 2012年1月1日から2012年3月31日までのプロジェクト4の実施に関する航行援助施設基金

4. 上記の3.1項および3.2項を参照し、基金委員会メンバーは、文書ANF8/6/2の記述にある第三者監査人による口座に関する報告について確認する必要がある。

基金委員会に求められる行動

5. 基金委員会を招集し、提示された情報に関する妥当性を判断する。
<table>
<thead>
<tr>
<th>受領</th>
<th>資金配分</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>細目</td>
<td>USD</td>
</tr>
<tr>
<td>期首残高</td>
<td>3,424,768.56</td>
</tr>
<tr>
<td>航行援助施設基金 沿岸国手元金（注記2）</td>
<td>1,002,971.00</td>
</tr>
<tr>
<td>利用国、公企業、民間企業、協会、国際組織および非政府組織からの資金拠出（注記3）</td>
<td>2,001,554.14</td>
</tr>
<tr>
<td>定期預金利子（注記4）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>当座預金利子（注記5）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>受領合計</td>
<td>3,004,525.14</td>
</tr>
<tr>
<td>12月31日時点残高</td>
<td>2,320,556.60</td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 合計 | 6,429,293.70 |

別添 1
注記

1. 会計方針

本明細書は現金主義で作成している。本明細書はマレーシア財務省回報2001年No.18の対象である。

2. 航行援助施設基金 沿岸国手元金

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>返金</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2011年2月10日</td>
<td>マレーシア – Sepat 燈標換総作業（2010年メンテナンス活動に百万USドル）</td>
<td>1,000,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年2月18日</td>
<td>CIMB銀行</td>
<td>26.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年11月</td>
<td>マレーシア – マレーシア口座からの残高（RM9,253.55）</td>
<td>2,945.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>1,002,971.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

3. 資金拠出

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2011年1月31日</td>
<td>国際海事機関（IMO）</td>
<td>50,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年2月11日</td>
<td>国際海事機関（IMO）</td>
<td>50,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年3月3日</td>
<td>マラッカ海峡協議会</td>
<td>500,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年4月11日</td>
<td>大韓民国</td>
<td>91,554.14</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年5月3日</td>
<td>アラブ首長国連邦</td>
<td>100,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年6月24日</td>
<td>日本財団</td>
<td>1,000,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年10月13日</td>
<td>中華人民共和国</td>
<td>210,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>2,001,554.14</td>
</tr>
</tbody>
</table>

4. 定期預金利子

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

5. 当座預金利子

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
6. 航行援助施設の維持管理、大規模修繕または更新の支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2011年1月31日</td>
<td>インドネシア</td>
<td>365,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年3月7日</td>
<td>マレーシア(*)</td>
<td>3,018.65</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年4月25日</td>
<td>インドネシア</td>
<td>1,201,543.22</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年5月25日</td>
<td>マレーシア</td>
<td>2,498,084.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年5月25日</td>
<td>マレーシア</td>
<td>981.35</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>4,068,627.10</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注：2011年1月1日から2011年12月31日までの期間のマレーシア ANF 口座残高はUSD 3,018.65（RM 9,267.25 / 3.07）。マレーシア ANF 口座は、口座を維持するための国際循環のため現在も継続中である。

7. 専門家による検査および接遇の支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2011年1月31日</td>
<td>マラッカ海峡協議会（MSC）</td>
<td>12,015.39</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年2月11日</td>
<td>マラッカ海峡協議会（MSC）</td>
<td>2,984.61</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年1月6日</td>
<td>送金手数料</td>
<td>10.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年1月31日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>4.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年2月10日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年2月10日</td>
<td>送金手数料</td>
<td>22.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年2月11日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年4月1日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年4月1日</td>
<td>送金手数料</td>
<td>33.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年4月11日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年4月11日</td>
<td>送金手数料</td>
<td>7.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年4月25日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年5月3日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年6月30日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>10.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年10月28日</td>
<td>マラッカ海峡協議会（MSC）</td>
<td>15,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年10月28日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年12月31日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>10.00</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>30,110.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

8. 機械、装置、機構、施設その他のレンタルの支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

142
9. 会議、講習または研修の開催費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2011年5月25日</td>
<td>第6、7回航海援助施設基金委員会会議</td>
<td>10,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>10,000.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

10. 外部監査機関への手数料

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

注：2010年に終了したAbu Bakar Rajuddin Co.によるANF口座第三者財務監査のための手数料はUSD2,033.33（RM 6100 / 3.00）であり、マレーシアANF口座からの支払保留中である。
<table>
<thead>
<tr>
<th>細目</th>
<th>受領</th>
<th>USD</th>
<th>資金配分</th>
<th>細目</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>期首残高</td>
<td></td>
<td>1,021,032.22</td>
<td>航行援助施設の維持管理、大規模修繕または更新の支払い（注記3）</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>利用国、公企業、民間企業、協会、国際組織および非政府組織からの資金拠出（注記2）</td>
<td></td>
<td>913,000.00</td>
<td>専門家による検査および接遇の支払い（注記4）</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>機械、装置、機構、施設その他のレンタルの支払い（注記5）</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>会議、講習または研修の開催費用（注記6）</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>外部監査機関への手数料（注記7）</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>受領合計</td>
<td></td>
<td>913,000.00</td>
<td>支払合計</td>
<td></td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>12月31日時点残高</td>
<td></td>
<td>1,934,032.22</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>1,934,032.22</td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>1,934,032.22</td>
</tr>
</tbody>
</table>
注記

1. 会計方針
本明細書は現金主義で作成している。本明細書はマレーシア財務省回報2001年No.18の対象である。

2. 資金拠出

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>返金</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2011年4月1日</td>
<td>インド</td>
<td>913,000.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計 913,000.00

3. 航行援助施設の維持管理、大規模修繕または更新の支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
</table>

合計

4. 専門家による検査および接遇の支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
</table>

合計

5. 機械、装置、機構、施設その他のレンタルの支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
</table>

合計

6. 会議、講習または研修の開催費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
</table>

合計

7. 外部監査機関への手数料

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
</table>

合計
マラッカ・シンガポール海峡航行援助施設基金

口座明細

2012年1月1日～2012年3月31日

<table>
<thead>
<tr>
<th>受領</th>
<th>資金配分</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>細目</td>
<td>USD</td>
</tr>
<tr>
<td>期首残高</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>航行援助施設基金 沿岸国手元金（注記2）</td>
<td>600,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>利用国、公企業、民間企業、協会、国際組織および非政府組織からの資金拠出（注記3）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>定期預金利子（注記4）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>当座預金利子（注記5）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>受領合計</td>
<td>600,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>2,920,556.60</td>
</tr>
</tbody>
</table>
注記

1. 会計方針

本明細書は現金主義で作成している。本明細書はマレーシア財務省回報 2001 年 No. 18 の対象である。

2. 航行援助施設基金 沿岸国手元金

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>返金</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

3. 資金拠出

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012 年 3 月 9 日</td>
<td>マラッカ海峡協議会（MSC）</td>
<td>500,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012 年 3 月 22 日</td>
<td>マラッカ海峡協議会（MSC）</td>
<td>100,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>600,000.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

4. 定期預金利子

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

5. 当座預金利子

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

6. 航行援助施設の維持管理、大規模修繕または更新の支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012 年 3 月 9 日</td>
<td>マレーシア</td>
<td>499,908.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>499,908.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

7. 専門家による検査および接遇の支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012 年 3 月 9 日</td>
<td>マラッカ海峡協議会（MSC）</td>
<td>15,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012 年 3 月 9 日</td>
<td>2012 年メンテナンス作業監査第 1 回支払</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2012 年 3 月 9 日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>15,002.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>
8. 機械、装置、機構、施設その他のレンタルの支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

9. 会議、講習または研修の開催費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

10. 外部監査機関への手数料

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
マラッカ・シンガポール海峡航行援助施設基金
協力メカニズム
プロジェクト 4 実施に関する口座明細
2012年1月1日～2012年3月31日

<table>
<thead>
<tr>
<th>受領</th>
<th>細目</th>
<th>USD</th>
<th>資金配分</th>
<th>細目</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>期首残高</td>
<td>1,934,032.22</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>利用国、公企業、民間企業、協会、国際組織および非政府組織からの資金拠出（注記2）</td>
<td>0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>会議、講習または研修の開催費用（注記6）</td>
<td>0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>外部監査機関への手数料（注記7）</td>
<td>0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>受領合計</td>
<td>0</td>
<td>支払合計</td>
<td>0</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>1,934,032.22</td>
<td>合計</td>
<td>1,934,032.22</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

3月31日時点残高 1,934,032.22
注記

1. 会計方針
本明細書は現金主義で作成している。本明細書はマレーシア財務省回報 2001 年 No. 18 の対象である。

2. 資金拠出

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>返金</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

3. 航行援助施設の維持管理、大規模修繕または更新の支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

4. 専門家による検査および接遇の支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

5. 機械、装置、機構、施設その他のレンタルの支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

6. 会議、講習または研修の開催費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

7. 外部監査機関への手数料

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
基金の管理と運営

基金活動概要

（事務局より提出）

はじめに

1. 基金運営規則第2条は、基金は、沿岸国により確認・承認されたマ・シ海峡における航行援助施設の設置と維持を主たる目的として利用されることを定めている。さらに基金は、対象航行援助施設の提供とメンテナンスに必要な作業と活動にのみ利用される。その費用には、航行援助施設の日常業務とメンテナンスに関わる主要人員の訓練、およびその他付随する承認された業務も含まれる。

基金の活動

2. 第8回航行援助施設基金委員会において、日本財団は事務局に対し、前年（2011年）のメンテナンス作業活動のための沿岸国による承認済予算、支出、経費削減対策の概要を含む報告を求めた。詳細は別紙のとおりである。

委員会に求められる行動

3. 基金委員会を招集して、提示された情報に関する妥当性を判断する。
### 2011年基金活動概要

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>活動内容</th>
<th>予算見積 (USD)</th>
<th>支出総額 (USD)</th>
<th>実費 (USD)</th>
<th>残高(預金) (USD)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>承認済 PMP にもとづく、マ・シ海峡における航行援助施設取替および維持作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1.1</td>
<td>インドネシア</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1.1(i)</td>
<td>Buffalo Rock 北基準マーク灯標</td>
<td>950,000.00</td>
<td>950,000.00</td>
<td>912,317.62</td>
<td>37,682.38</td>
</tr>
<tr>
<td>1.1(ii)</td>
<td>土木基礎工事</td>
<td>172,758.00</td>
<td>172,758.00</td>
<td>176,075.56</td>
<td>(-3317.56)</td>
</tr>
<tr>
<td>1.1(iii)</td>
<td>定期メンテナンス</td>
<td>160,514.22</td>
<td>160,514.22</td>
<td>163,304.23</td>
<td>(-2790.01)</td>
</tr>
<tr>
<td>1.1(iv)</td>
<td>交換部品</td>
<td>292,271.00</td>
<td>292,271.00</td>
<td>298,985.15</td>
<td>(-6714.15)</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>1,575,543.22</td>
<td>1,575,543.22</td>
<td>1,550,682.56</td>
<td>24,860.65</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1.2</td>
<td>マレーシア</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1.2(i)</td>
<td>Sepat 浮体式灯標取替作業</td>
<td>999,978.00</td>
<td>999,978.00</td>
<td>977,848.00</td>
<td>22,130.00</td>
</tr>
<tr>
<td>1.2(ii)</td>
<td>土木基礎工事</td>
<td>281,250.00</td>
<td>281,250.00</td>
<td>257,034.00</td>
<td>24,216.00</td>
</tr>
<tr>
<td>1.2(iii)</td>
<td>土木基礎工事</td>
<td>604,722.00</td>
<td>604,722.00</td>
<td>250,930.00</td>
<td>353,792.00</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>2,498,084.00</td>
<td>2,216,834.00</td>
<td>1,805,728.00</td>
<td>699,067.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1.3</td>
<td>シンガポール</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>第6回・第7回航行援助施設基金委員会</td>
<td>10,000.00</td>
<td>10,000.00</td>
<td>10,000.00</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>2010年度年次会計監査</td>
<td>3,000.00</td>
<td>3,000.00</td>
<td>2,033.33</td>
<td>966.67</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>マラッカ海峡協議会による業務監査</td>
<td>30,000.00</td>
<td>30,000.00</td>
<td>30,000.00</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>43,000.00</td>
<td>43,000.00</td>
<td>42,033.33</td>
<td>966.67</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2011年度予算合計</td>
<td>3,835,377.22</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2011年度支出合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2011年度残高合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

備考：
(*) 委員会は、銀行手数料、両替手数料差引後の USD1,571,311.22 をインドネシアが受け取ったことを確認した。
(**) 2010年の支出であるが、計画は2011年に完了した。
基金の予算および配分の検討

基金監査人による報告

はじめに

1. 基金運営規則第12条は、年1回、基金の監査を行い、監査対象となった収支報告書を他の2ヶ国の沿岸国および資金拠出者に対して開示することを定めている。また、基金運営規則第4.5項は、主催国の法規にしたがって監査を行うことを定めているほか、独立監査人による監査を要請してもよいとしている。

監査人の指名

2. 上記および前回の基金委員会会議での決定にしたがって、マレーシアは、Wan Nadzir & Coのマレーシア公認会計士を独立監査人として指名する手続きに移行した。これは、マレーシアが基金の運営役を務める2011年から2012年の会計年度まで有効である。

3. 次いで、監査人により2011年12月31日を決算日とする基金口座の監査が実施された。監査人の報告は別添のとおりである。

基金委員会に求められる行動

4. 基金委員会を招集し、提示された情報に関する妥当性を判断する。
別添

マレーシア海事局

マラッカ・シンガポール海峡航行援助施設基金

収支報告

2011年12月31日決算
マレーシア海事局
マラッカ・シンガポール海峡航行援助施設基金

目次

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>ページ</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>企業情報</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>監査人による報告</td>
<td>2－3</td>
</tr>
<tr>
<td>収支報告書</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td>収支報告書に関する注記</td>
<td>5－6</td>
</tr>
</tbody>
</table>
マレーシア海事局

マラッカ・シンガポール海峡航行援助施設基金

企業情報

基金名称：マラッカ・シンガポール海峡航行援助施設基金

対象期間：3年間（2008年4月1日～2010年12月31日）

延長期間：2年間（2011年1月1日～2012年12月31日）

基金管理者：マレーシア海事局

本部

42000 Port Klang
Selangor. Malaysia

Tel: 603-33467777 Fax: 603-31685289
E-mail: kpgr@marine.gov.my

監査人：Wan Nadzir & Co

公認会計士
監査人による報告

マラッカ・シンガポール海峡協力メカニズムにもとづく航行援助施設基金に対する独立監査人による監査報告書

収支報告書に関する報告

当監査法人は、マラッカ・シンガポール海峡航行援助施設基金の2011年12月31日の決算日までの収支報告書について監査を行った。

基金管理者の収支報告書に関する責任

マレーシア半島海事局の管理者の責任により、収支報告書の作成および公正な記述がなされている。責任範囲には、不正・過失を問わず、重要な虚偽記載のない本諸表を作成するにあたり、内部統制のもと、計画、実施および決定がなされ、状況上妥当な会計上の見積りを作成することも含まれる。

収支報告書には、マレーシア・シンガポール海峡航行援助施設基金を代表して、マレーシア半島海事局が受領した拠出金および基金による支出も記載してある。

監査人の責任

当監査法人の責任は、監査にもとづき収支報告書について意見を述べることである。当監査法人は、マレーシアにおいて認められる監査基準に準拠して監査を行った。これらの監査基準は、倫理的要件にしたがって監査を立案、実施し、収支報告書に重要な虚偽の記載がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。

監査では、収支報告書の金額および開示について監査証拠を入手するための手続きを実施する。監査手続きは、不正または過失を問わず収支報告書に重要な虚偽の記載が含まれるリスクの評価など、当監査法人の判断をもとに決定する。状況上妥当な監査手続きを立案するため、このようなリスク評価の実施においては、基金による収支報告書の作成および公正な記述に関する内部統制を考慮に入れるが、これは基金の内部統制の有効性に関する意見を述べるものではない。また、監査では適用
した会計方針の適正性、受託者による会計上の見積もりの妥当性および収支報告書全体の記述に関する評価も行う。

当監査法人が入手した監査証拠は、監査人の意見の根拠を説明するうえで、十分かつ妥当なものであると考える。

意見

当監査法人の意見では、2011年12月31日決算のマラッカ・シンガポール海峡航行援助施設基金の収支報告書は適正であり、添付の収支報告書は現金により受け取った拠出金を公正に表記している。

前年の航行援助施設基金の収支報告書は他の会計事務所からの監査人によって監査され、2011年3月10日付の報告書において、適正意見（監査の結果、適正に作成されている）と表記されている。
マレーシア海事局
マラッカ・シンガポール海峡航行援助施設基金

収支報告書
(2011年12月31日決算)

<table>
<thead>
<tr>
<th>注記</th>
<th>2011年USD</th>
<th>2010年USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>収入、利益およびその他助成金</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>提出金</td>
<td>4</td>
<td>2,914,554</td>
</tr>
<tr>
<td>その他収益</td>
<td>5</td>
<td>1,000,000</td>
</tr>
<tr>
<td>受入利息</td>
<td>31</td>
<td>6,469</td>
</tr>
<tr>
<td>外国為替差益</td>
<td>68</td>
<td>261,779</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>3,914,653</td>
</tr>
</tbody>
</table>

支出

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2011年USD</th>
<th>2010年USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>航行援助施設の維持、修繕または新設費用</td>
<td>6</td>
<td>4,094,627</td>
</tr>
<tr>
<td>専門家による検査および接遇費用</td>
<td>110</td>
<td>76</td>
</tr>
<tr>
<td>会議費用</td>
<td>14,000</td>
<td>2,500</td>
</tr>
<tr>
<td>外部監査機関手数料</td>
<td>-</td>
<td>1,671</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>4,108,737</td>
</tr>
</tbody>
</table>

収支残高（損失）／利益

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2011年USD</th>
<th>2010年USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>期首現金・預金残高</td>
<td>(194,084)</td>
<td>(393,079)</td>
</tr>
<tr>
<td>期末現金・預金残高</td>
<td>4,606,958</td>
<td>5,000,037</td>
</tr>
<tr>
<td>期末現金・預金残高</td>
<td>4,412,874</td>
<td>4,606,958</td>
</tr>
</tbody>
</table>
収支報告書注記

1. 概説
   航行援助施設基金は、マラッカ・シンガポール海峡の高額な維持費に対して設立された。基金の目的は、沿岸国および利用国からの直接的な経済的援助を受けることである。基金は原則3年ごとの交代制で管理され、マレーシア、シンガポールおよびインドネシアによるメンテナンス作業に対して支出がなされる。

2. 重要な会計方針
   会計公準
   収支報告書は現金主義により作成されている。
   通貨換算
   対象年度の外貨建取引は、取引日の為替レートで換算する。為替レートは概ね1USD＝3.16RMである。

3. 通貨
   記載の金額はすべてUSドル建である。
4. 拠出金

年間の拠出金は下記のとおり受領されている。

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2011 年</th>
<th>2010 年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>USD</td>
<td>USD</td>
</tr>
<tr>
<td>日本財団</td>
<td>1,000,000</td>
<td>1,390,000</td>
</tr>
<tr>
<td>中東航行援助サービス（ロンドン）</td>
<td>-</td>
<td>1,000,000</td>
</tr>
<tr>
<td>マラッカ海峡協議会</td>
<td>500,000</td>
<td>500,000</td>
</tr>
<tr>
<td>中華人民共和国</td>
<td>210,000</td>
<td>250,000</td>
</tr>
<tr>
<td>サウジアラビア</td>
<td>-</td>
<td>100,000</td>
</tr>
<tr>
<td>アラブ首長国連邦</td>
<td>100,000</td>
<td>100,000</td>
</tr>
<tr>
<td>大韓民国</td>
<td>91,554</td>
<td>88,235</td>
</tr>
<tr>
<td>IMO (International Maritime Organization, London)</td>
<td>100,000</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>インド高等弁務団</td>
<td>913,000</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2,914,554</td>
<td>3,428,235</td>
</tr>
</tbody>
</table>

5. その他収益

その他収益は、前年に支払われた非利用の基金の返却を示している。
6. 航行援助施設の維持、修繕または新設

各国に支払われた維持、修繕および新設費用は下記のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>国名</th>
<th>2011年</th>
<th>2010年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>インドネシア</td>
<td>1,566,543</td>
<td>2,380,165</td>
</tr>
<tr>
<td>マラッカ海峡協議会</td>
<td>30,000</td>
<td>30,000</td>
</tr>
<tr>
<td>マレーシア(*)</td>
<td>2,498,084</td>
<td>1,675,150</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>4,094,627</td>
<td>4,085,315</td>
</tr>
</tbody>
</table>

*Lembaga Dius Api Semenanjug Malaysia からの請求により支出がなされた。

7. 外部監査機関手数料

2011年12月31日までの会計年度については、USD1,973の手数料が代表とし
てLembaga Dius Api Semenanjug Malaysia（LDASM）に支払われたが、その金
額はすでにLDASMより請求があった。
AIDS TO NAVIGATION FUND
FOR THE STRAITS OF MALACCA AND SINGAPORE

Statement of Receipts and Payments

WAN NADZIR & CO.
Audit Objectives

- to express an opinion on the statement of receipts and payment based on the audit
- to obtain reasonable assurance about whether the statement is free from material misstatement.
Risk Assessment

Completeness - Transactions that are not recorded

Validity - Transactions that are recorded are not valid

Cut off - Transactions are recorded at the wrong period

Recording - The transaction is recorded incorrectly
Audit Approach

☐ Test of control
  ■ Perform Walkthrough test on Receipts and Payments
Audit Finding: Receipts

<table>
<thead>
<tr>
<th>Audit objective</th>
<th>Audit Finding</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>Completeness</td>
<td>All contributions and receipts received are: - 1. supported with notification</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>notice/letter 2. recorded in the fund’s account 3. deposited promptly</td>
</tr>
<tr>
<td>Ownership/Existence</td>
<td>Bank accounts exist and opened in the name of the Fund with CIMB Bank Berhad</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td><strong>Account number</strong></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>1. 1214-0094705-52-9</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2. 1211-0000098-10-0</td>
</tr>
<tr>
<td>Cut-off</td>
<td>All contributions and receipts are recorded in the correct accounting period</td>
</tr>
</tbody>
</table>

Aids to Navigation Fund
Audit Finding: Payments

- Auditor's remuneration: $0 (2011), $1,671 (2010)
## Audit Finding: Payments

<table>
<thead>
<tr>
<th>Audit Objective</th>
<th>Audit Finding</th>
</tr>
</thead>
</table>
| Completeness    | All payments made from the funds are:-  
1. properly supported by the approved minutes of meeting  
2. authorised by the members of secretariat  
3. recorded in the fund’s account |
| Cut-off         | All disbursement are recorded in the correct accounting period |

### Expenses

<table>
<thead>
<tr>
<th>Expenses</th>
<th>Budgeted USD</th>
<th>Actual USD</th>
<th>(Under)/Over USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1. Maintenance, repair or new building aids</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(a) Indonesia</td>
<td>1,575,543</td>
<td>1,566,543</td>
<td>(9,000)</td>
</tr>
<tr>
<td>(b) Malacca Strait Council</td>
<td>30,000</td>
<td>30,000</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>(c) Malaysia</td>
<td>2,498,084</td>
<td>2,498,084</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>2. Organisation of meeting</td>
<td>10,000*</td>
<td>14,000</td>
<td>4,000#</td>
</tr>
</tbody>
</table>

* Budget made in respect of 6th and 7th Fund Committee Meeting.  
# Variance of USD 4,000 in respect of organisation of the 5th meeting claimed during the year. The expenses was previously paid on behalf by LDASM.
Audit Finding: Management Letter

☐ No detail spending on disbursed Funds

☐ Suggestion:
  ■ Detail spending should be prepared
  ■ Increase accountability
  ■ Improve future budgeting

Audit Opinion

The accompanying Statement presents fairly, on a cash basis, the contributions received, disbursements and payments of The Aids to Navigation Fund for the Straits of Malacca and Singapore for the year ended 31 December 2011
基金の予算および配分の検討

2012年予算案（改訂版）

事務局より提出

はじめに

1. 基金運営規則第8.2.4項にしたがい、当局は、基金委員会に対して年間の管理運営予算に関する提言を行い、承認を得ることが求められる。

予算提案

2. 同項にしたがい、予算は、基金の運営と2012年作業計画の実施を主たる目的として策定された。昨年の2011年10月17日〜18日に行われた第7回航行援助施設基金委員会議において、委員会メンバーに対し予算が提示された。

3. 2012年航行援助施設のメンテナンスに関する予算総額の詳細は別添のとおりである。

基金委員会に求められる行動

4. 基金委員会を招集し、提示された情報に関する妥当性を判断する。
<table>
<thead>
<tr>
<th>No</th>
<th>活動内容</th>
<th>2012年予算見積 (USD)</th>
<th>基金負担 2012年予算案 (USD)</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>承認済 PMPにもとづく、マ・シ海峡における航行援助施設取替および維持作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>1.1.インドネシア</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(i) 土木基礎工事</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>a. One Fathom Bank南基準マーク灯標</td>
<td>85,000.00</td>
<td>85,000.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>b. Cula一般マーク灯標</td>
<td>80,000.00</td>
<td>80,000.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(ii) メンテナンス</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>a. 運転</td>
<td>157,895.00</td>
<td>-</td>
<td>インドネシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>b. 維持作業</td>
<td>164,441.74</td>
<td>164,441.74</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>c. 交換部品</td>
<td>318,929.00</td>
<td>318,929.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(iii) 取替作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>a. One Fathom Bank北基準マーク灯標</td>
<td>950,000.00</td>
<td>802,322.96</td>
<td>インドネシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>b. Raleigh Shoal浅瀬灯標</td>
<td>1,500,000.00</td>
<td>-</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>3,256,265.74</td>
<td>1,450,693.70</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1.2.マレーシア</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(i) 土木基礎工事</td>
<td>280,000.00</td>
<td>280,000.00</td>
<td>第2、第3四半期</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>a. Pulau Undan灯台</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b. Piai灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(ii) メンテナンス</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>a. 運転</td>
<td>258,000.00</td>
<td>-</td>
<td>マレーシア負担</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b. 維持作業</td>
<td>204,908.00</td>
<td>204,908.00</td>
<td>最優先</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>c. 第三者機関による航行援助施設監査</td>
<td>15,000.00</td>
<td>15,000.00</td>
<td>第2、第3四半期</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(iii) 取替作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>a. Panjang Selatan灯標</td>
<td>1,500,000.00</td>
<td>-</td>
<td>マレーシア負担</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b. Tg. Rhu浅瀬灯標</td>
<td>1,500,000.00</td>
<td>-</td>
<td>マレーシア負担</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>3,757,908.00</td>
<td>499,908.00</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>No</td>
<td>活動内容</td>
<td>予算見積 (USD)</td>
<td>基金負担 2012年予算案 (USD)</td>
<td>備考</td>
</tr>
<tr>
<td>----</td>
<td>---------</td>
<td>----------------</td>
<td>--------------------------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>1.3. シンガポール</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(i) 土木基礎工事</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>a. Sultan Shoal 灯台</td>
<td>93,000.00</td>
<td>-</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b. Bedok 灯台</td>
<td>8,000.00</td>
<td>-</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(ii) メンテナンス</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>a. 運転</td>
<td></td>
<td>-</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b. 維持作業</td>
<td>3,000.00</td>
<td>-</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>c. 交換部品</td>
<td></td>
<td>-</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(iii) 取替作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>104,000.00</td>
<td>-</td>
<td>シンガポール負担</td>
</tr>
<tr>
<td>2. 事務局</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2.1 第8回、第9回航海援助施設基金委員会（会議2回×USD6,000）</td>
<td>12,000.00</td>
<td>12,000.00</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2.2 2011年年次財務監査</td>
<td>3,000.00</td>
<td>3,000.00</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2.3 第三者専門機関による航海援助施設業務監査（別紙参照）</td>
<td>30,000.00</td>
<td>30,000.00</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>45,000.00</td>
<td>45,000.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2012年必要予算合計</td>
<td>7,163,173.74</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2012年予算案総合計</td>
<td>1,995,600.96</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
2012年作業計画のための予算提案

マラッカ海峡協議会（MSC）より提出

はいに

1. 基金運営規則第8.2.4項にしたがい、当局は、基金委員会に対して年間の管理運営予算に関する提言を行い、承認を得ることが求められる。

予算提案

2. 同項にしたがい、2012年作業計画に応じてマラッカ海峡協議会が実施する巡回保守点検作業および年次業務監査のための予算を策定した。予算総額はUSD30,000.00であり、その内訳は次のとおりである。

4.1 インドネシア航行援助施設

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>詳細</th>
<th>合計（円）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>宿泊</td>
<td>15,100 円×8泊</td>
<td>120,800</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>日当</td>
<td>5,000 円×33日</td>
<td>165,000</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>食費</td>
<td>6,700 円×24日</td>
<td>160,800</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>運賃</td>
<td>301,500 円</td>
<td>301,500</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>その他</td>
<td>19,750 円</td>
<td>19,750</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td>767,850</td>
</tr>
</tbody>
</table>

4.2 マレーシア航行援助施設

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>詳細</th>
<th>合計（円）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>宿泊</td>
<td>15,100 円×9泊</td>
<td>135,900</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>日当</td>
<td>5,000 円×10日</td>
<td>50,000</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>運賃</td>
<td>301,500 円</td>
<td>301,500</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>その他</td>
<td>19,750 円</td>
<td>19,750</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td>507,150</td>
</tr>
</tbody>
</table>

4.3 総計

<table>
<thead>
<tr>
<th>国名</th>
<th>詳細</th>
<th>合計（円）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>インドネシア</td>
<td>767,850 円×巡回保守点検作業2回</td>
<td>1,535,700</td>
</tr>
<tr>
<td>マレーシア</td>
<td>507,150 円×巡回保守点検作業2回</td>
<td>1,034,100</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>2,569,800</td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計（1USD＝85 円） ±USD 30,000
# 2012年度基金予算配分案

<table>
<thead>
<tr>
<th>No</th>
<th>活動</th>
<th>見積予算 (USD)</th>
<th>2012年第1四半期配分合計 (USD)</th>
<th>配分合計 (USD)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>承認済 PMP にもとづく、マ・シ海峡における航行援助施設取替および維持作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 1.1. インドネシア

(i) 土木基礎工事
- OFB 南基準マーク灯標 85,000.00 USD 85,000.00 USD
- Cula 一般マーク灯標 80,000.00 USD - 80,000.00 USD

(ii) メンテナンス
- 運用 157,895.00 USD - インドネシア負担
- 維持更新 164,441.74 USD 164,441.74 USD
- 交換部品 318,929.00 USD - 318,929.00 USD

(iii) 取替作業
- OFB 北基準マーク灯標 802,322.96 USD 802,322.96 USD インドネシア負担
- Raleigh Shoal 浅瀬灯標

<p>| | | | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2011年度作業計画残高</td>
<td>85,000.00</td>
<td>80,000.00</td>
<td>164,441.74</td>
<td>318,929.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 1.2. マレーシア

(i) 土木基礎工事
- Pulau Undan 灯台 220,000.00 USD 220,000.00 USD
- Piai 灯標 60,000.00 USD 60,000.00 USD

(ii) メンテナンス
- 運用 258,000.00 USD - マレーシア負担
- 維持更新 204,908.00 USD 204,908.00 USD
- 第3者機関による航行援助施設メンテナンス調査 15,000.00 USD 15,000.00 USD

(iii) 取替作業 1,500,000.00 USD - マレーシア負担
- Panjang Selatan 灯標
- Tg Rhu灯標 1,500,000.00 USD - マレーシア負担

<p>| | | | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>合計</td>
<td>1,608,588.70</td>
<td>1,430,085.04</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 1.3. シンガポール

(i) 土木基礎工事
- Sultan Shoal 灯台 93,000.00 USD -

<p>| | | | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>合計</td>
<td>3,757,908.00</td>
<td>499,908.00</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計 5,756,496.70 USD 1,929,093.04 USD
<table>
<thead>
<tr>
<th>No</th>
<th>活動</th>
<th>見積予算 (USD)</th>
<th>2012年第1四半期 配分合計 (USD)</th>
<th>配分案合計 (USD)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>b. Bedok 灯台</td>
<td>8,000.00</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(ii) メンテナンス</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>a. 運用</td>
<td></td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>b. 維持更新</td>
<td>3,000.00</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>c. 交換部品</td>
<td></td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(iii) 取替作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>104,000.00</td>
<td>シンガポール負担</td>
<td>シンガポール負担</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>事務局</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2.1 第8回、第9回航行援助施設基金委員会（会議2回×USD6,000）</td>
<td>12,000.00</td>
<td>-</td>
<td>12,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2.2 2011年年次財務監査</td>
<td>3,000.00</td>
<td>-</td>
<td>3,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2.3 第三者専門機関による航行援助施設業務監査(*)</td>
<td>30,000.00</td>
<td>15,000.00</td>
<td>15,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>45,000.00</td>
<td>15,000.00</td>
<td>30,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2012年必要予算合計</td>
<td>5,515,496.70</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2012年予算案総合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td>1,974,993.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

Notes:

1. (*) USD 15,000.00がインドネシアおよびマレーシアの第1回業務監査のためマラッカ海峡協議会（MSC）に配分された。
出席者一覧

インドネシア

Mr. Antonius Tonny Budiono, Director for Navigation, Directorate General of Sea Transportation, Ministry of Transportation;

Mr. Nanditya Darma Wardhana, Officer of Directorate of Navigation, Directorate General of Sea Transportation, Ministry of Transportation;

Ms. Arie Prakiswati, Officer of Planning Division, Directorate General of Sea Transportation, Ministry of Transportation;

マレーシア

Dato’ Captain Hj Ahmad Othman, Director General of Marine, Marine Department Malaysia;

Rossid Musa, Director, Safety of Navigation Division, Marine Department Malaysia;

Capt. Mohammad Halim Ahmed, Senior Principal Assistant Director, Safety of Navigation Division, Marine Department Malaysia.

Mdm. Norhasliza Mat Salleh, Senior Principal Assistant Secretary, National Security Council, Prime Minister’s Department;

Mr. Hairizam Albukhari, Principal Assistant Director, Safety of Navigation Division, Marine Department Malaysia;

Mdm. Rosni Julis, Accountant, Management Services Division, Marine Department Malaysia;

Mr. Mohd. Fairoz Rozali, Principal Assistant Director, Safety of Navigation Division, Marine Department Malaysia;
Mr. Mohd Nurrul Faiz Mohd Taib, Marine Officer, Maritime Industrial Control Division, Marine Department Malaysia;

Mr. Mohd Azahari Ayob, Marine Officer, Safety of Navigation Division, Marine Department Malaysia;

Mdm. Rina Maslina Baharudin, Marine Officer, Safety of Navigation Division, Marine Department Malaysia;

シンガポール

Captain Muhammad Segar, Assistant Chief Executive (Operations), Maritime and Port Authority of Singapore;

Ms. Yvonne Chan; Deputy Director (Corporate Service) / Financial Controller, Maritime and Port Authority of Singapore;

Mr. Tay Yeow Min, Assistant Director (International 1), Maritime and Port Authority of Singapore;

Ms. Lynette Lee, Manager (General Accounting), Maritime and Port Authority of Singapore;

Mr. Lee Weng Choy, Assistant Hydrographer, Maritime and Port Authority of Singapore;

Ms. Lee Wen Jie, Assistant Manager (International), Maritime and Port Authority of Singapore;

中華人民共和国

Ms. Li Guanyu, Director, Division of International Organization, Department of International Cooperation, The Ministry of Transport of the People’s Republic of China;
Indian

Colonel Yashpal Ahlawat, Defence Advisor, High Commission of India in Malaysia;

Captain Vineet McCarty, Defence Adviser to Singapore and Philippines, High Commission of India in Singapore;

Japanese

Mr. Masayoshi Tsuno, Director for International Maritime Transport, Maritime Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism (MLIT);

Arab States

H.E Nasser Salman Al Aboodi, Ambassador of the United Arab Emirates to Malaysia.

IFAN (INTERNATIONAL FOUNDATION OF AIDS TO NAVIGATION)

Mr. Trevor Smith, Chairman;

IMO (INTERNATIONAL MARITIME ORGANIZATION)

Mr. Ashok Mahapatra, Senior Deputy Director;

Mara'kka Haikal Ko-inigeki

Mr. Eiichi Kato, Managing Director;
日本財団

Mr. Mitsuyuki Unno, Executive Director, The Nippon Foundation;

Mr. Kiyoharu Sugiura, Project Coordinator, Maritime Affairs Department, The Nippon Foundation;

Mr. Hiroki Nakamura, Managing Director, Nippon Maritime Center;

Mr. Takashi Sakai, Deputy Managing Director, Nippon Maritime Center;

Captain Mathew Mathai, Marine Manager, Nippon Maritime Center;

Akiko Kume, Interpreter;
議題の採択

議題案に関する注釈
事務局より提出

1. 開会
基金委員会議長が開会の挨拶を述べた。

2. 議題の採択
ANF 9/2：議題案 一事務局
ANF 9/2/1：議題案に関する注釈 一事務局
基金委員会を招集して、議題案の検討、採択を行う。

3. 代表の資格に関する報告
ANF 9/3：資格に関する報告 一事務局
事務局は、基金委員会の代表の資格について報告を行い、適切な通知を受領したこと
を確認する。これは、基金運営規則第5条にしたがうものである。

4. 行航援助施設基金の管理および運営
ANF 9/4/1：利用国および利用者からの資金拠出 一事務局
基金委員会は、利用国および利用者からの資金拠出に関する最新の報告を受ける。
ANF 9/4/2：基金活動の更新
基金委員会は、2012年までに基金活動の最新報告を受ける。

ANF9/4/3：2011および2012年インドネシア基金管理 ーインドネシア
基金委員会は2011および2012年のインドネシアの航行援助施設のメンテナンスバランスの最新の報告を受ける。

ANF9/4/4：航行援助施設基金の管理計画 ーシンガポール
基金委員会は、新議長による2013から2015年の基金の管理計画の最新の報告を受ける。

5. 基金委員会の作業計画

ANF 9/5/1：2012年第1四半期～第3四半期維持・更新作業報告 ー沿岸国
基金委員会は、マ・シ海峡航行援助施設の維持・更新に関する報告を沿岸国より受ける。

ANF 9/5/2：2012年業務監査報告 ーマラッカ海峡協議会（MSC）
基金委員会は、2012年の航行援助施設の維持・更新についてMSCが実施した業務監査に関する報告を受ける。

ANF 9/5/3：2013年作業計画案 ー沿岸国
基金委員会は、承認されたメンテナンス作業計画（PMP）にもとづく2013年作業計画案（改訂版）について、報告を受ける。

6. 予算の検討と基金からの支出

ANF 9/6/1：基金の財務状況に関する報告 ー事務局
基金委員会は、基金の財務状況に関する報告を受ける。

ANF 9/6/2：予算案 ー事務局
基金委員会を招集して、沿岸国が提案する2012年度活動予算の承認を行う。

ANF 9/6/3：基金からの支出 ー事務局
基金委員会を招集して、承認された活動範囲および基金運用規則第2項にしたがって、基金の支出に関する検討を行う。
7. 次回会議の開催日および場所
議長と航行援助基金委員会のホストは2013年の第10回基金会議の開催日および場所を発表した。

8. その他
ANF 9/8: マシ海峡航行援助施設の第2回テクニカルワークショップの報告

—MLIT、日本
注: 基金および協力メカニズムに関連するその他一切の事柄について提起するために基金委員会が招集される。

9. 会議レポートの検討、採択
ANF 9/9: 会議議事録

10. 閉会
航行援助施設基金の管理および運営

利用国および利用者からの資金拠出

事務局より提出

はじめに

1. 航行援助施設基金（以下「基金」とする）の基金運営規則第1条によると、基金の目的は、利用国およびその他の関係者から資金拠出を受けて、マ・シ海峡における航行援助施設の提供および維持・更新を行うことである。

航行援助施設基金

2. 基金運営規則第3条にもとづき、基金への資金拠出は任意とし、国家、政府間組織（国際海事機関を含む）、非政府組織、企業および個人の支援者などから拠出を受けるものとする。すべての拠出金は、口座を開設して受け取るものとする。

基金現況

3. 2012年11月30日までの総受入金額はUSD 2,397,870.00となっており、詳細は下記の通りである。

3.1. 大韓民国：USD 87,870.33；
3.2. アラブ首長国連邦（UAE）：USD 100,000.00；
3.3. 国際航行援助施設基金（2011年）：USD 1,000,000.00
3.4. 国際海事機関：USD 50,000.00
3.5. マラッカ海峡協議会：USD 500,000.00；
3.6. 日本財団：USD 660,000.00；

委員会に求められる行動

4. 基金委員会を招集し、本文書の記載事項および見解を適宜確認する。
### A. 2011年インドネシア基金管理

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>受領合計</th>
<th>実際必要額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>a. インドネシア ANF 口座残高（2010年作業計画残金合計）</td>
<td>USD 4,820.00</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>b. 2010年度残高の補正課税とその他費用</td>
<td>USD 4,853.90</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>c. 補正後インドネシア ANF 口座残高（2010年作業計画残金合計）</td>
<td>USD 9,673.90</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>2011年第1回インドネシア受領額</td>
<td>USD 364,964.00</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>2011年第2回インドネシア受領額</td>
<td>USD 1,201,507.22</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>インドネシア 2011年支出合計</td>
<td>USD 1,550,682.56</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>インドネシア 2011年支出合計の補正課税とその他費用</td>
<td>(USD 94,758.39)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td>補正後インドネシア 2011年支出合計</td>
<td>USD 1,455,924.17</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>USD 1,576,145.12</td>
<td>USD 1,455,924.17</td>
</tr>
</tbody>
</table>

インドネシア ANF 口座利用可能残高  USD 120,220.95

### B. 2012年インドネシア基金管理

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>受領合計</th>
<th>実際必要額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>インドネシア ANF 口座残高（2012年作業計画残高合計）</td>
<td>USD 120,220.95</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>2012年インドネシア受領額</td>
<td>USD 1,430,048.04</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>インドネシア 2012年支出見積合計</td>
<td>USD 1,369,410.26</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>USD 1,550,268.99</td>
<td>USD 1,369,410.26</td>
</tr>
</tbody>
</table>

インドネシア ANF 口座利用可能見積残高  USD 180,858.73
航続援助施設基金管理計画
第9回航続援助施設基金委員会会議
（2012年12月13～14日）
シンガポールより提出

背景
1. シンガポールは2013年から2015年までの3年間、航続援助施設基金（ANF）委員会の議長を担う。

目的
2. シンガポールは議長国の準備として、シンガポールの基金管理計画案に対しANF委員会メンバーの承認を求める。

ANF口座開設
3. 基金運営規則は、「当局は、委員会の承認を得るため、基金を預け入れる銀行のリストおよび通貨を提示するものとする」と定めている。シンガポールの主要銀行ーシティバンク、DBS銀行、HSBCホールディングス、メイ銀行（Malayan Banking Berhad）、OCBC、ユニタイトル・オリバーシーズ銀行（UOB）ーの中で、DBS銀行が最大手であり最も利用しやすい銀行である。したがって、MPAはANF委員会を代表してDBS銀行にて当座預金口座を開設することを提案する。口座は「MPA航続援助施設基金」の名称で開設される。

4. また、基金は主にUSドル建てであるため、拠出金および支出にはUSドル口座の開設を提案する。これは外国為替の損失を最小限に抑えるためである。

ANFへの拠出金
5. 基金への拠出金は、沿岸国、政府間組織、非政府組織および民間企業からの任意のものである。ANF委員会メンバーおよび拠出に関心のある新規拠出者は、口座に拠出金を預け入れる前にANF議長と財務担当者に書面で通知する必要がある。ANF口座の詳細は、2013年1月にすべての委員会メンバーに伝えられる。その後委員会メンバーは拠出金の受領を通知される。
管理と配分

6. 基金は、作業案とそれに関連した予算が各 ANF 委員会会議で承認されたのち配分される。維持管理および取替作業完了後、沿岸国には以下のことが求められる。
   i) 2011 年 3 月に行われた第 6 回 ANF 委員会会議において承認された書式を利用して、維持管理および取替作業の報告をする。
   ii) 会議の 1 ヶ月前に ANF 事務局に報告を提出する。

7. 新規作業計画のため、沿岸国には以下のことが求められる。
   i) 2011 年 3 月に行われた第 6 回 ANF 委員会会議において承認された書式を利用して、作業計画案を作成する。
   ii) 委員会メンバーが ANF 委員会会議で作業計画案および予算案を査定、承認する十分な時間がないため、会議の 1 ヶ月前に ANF 事務局に作業計画案を提出する。

基金の配分

8. ANF 委員会による基金配分の承認を受け、沿岸国は規定の用紙で財務担当者および ANF 委員会事務局に基金配分の要求を提出することが求められる。この用紙で提出することにより適時な基金配分が容易になる。この用紙は 2013 年 1 月に配布される。

9. 記入された用紙はその後すべての委員会メンバーの間で共有される。

基金口座の監査

10. 基金運営規則は、「基金は年に 1 回監査を受け、沿岸国および拠出者に口座の監査報告を提示しなければならない」と定めている。ANF 委員会の議長国として、シンガポールは 2013 年から 2015 年までの 3 回の会計年度(*)に対し、各会計年度毎に基金口座監査の入札のため公認会計事務所を招聘する必要がある。

(*)会計年度は 1 月 1 日より始まる暦と同じである。

第三者業務監査人

11. 基金運営規則は、「承認、基金配分された維持更新および修繕作業が実際に計画にしたがって実施されたかどうかを確認するため、適切な資格のある独立した第三者機関によって年 1 回の業務監査を行わなければならない」と定めている。

12. マラッカ海峡協議会（MSC）は ANF の下に実施された作業に 2008 年より第三者業務監査人として従事しているため、インドネシアとマレーシアにより運営されているマ・シ海峡の航行援助施設（AtNs）に精通している。監査報告の中で航行援助施設に関する詳細な評価および助言を提示しており、このことは航行援助施設の運営の改善に役立っている。シンガポールは、MSC は ANF の唯一の適切な資格のある業務監査人であると評価している。
このことを考慮し、シンガポールは ANF 委員会が引き続き MSC を 2013 年から 2015 年の第三者業務監査人として従事させるかを提案している。

基金の更新情報

13. シンガポールは 1 年に 4 回、ANF の更新情報（承認された基金の配分および口座残高を含む）を書面にて提出する。

ANF 議長の主要人員

14. MPA は議長、財務担当者および ANF 委員会書記官として以下の役員を指名した。

議長
Capt M Segar
Assistant Chief Executive (Operations)
Maritime and Port Authority of Singapore
Office Address: 460, Alexandra Road # 19-00 PSA Building, Singapore 119963
Telephone number: (65) 63751618
Email address M_SEGAR@MPA.GOV.SG

財務担当者
Ms Yvonne Chan
Financial Controller
Maritime and Port Authority of Singapore
Office Address: 460, Alexandra Road # 19-00 PSA Building, Singapore 119963
Telephone number: (65) 63751667
Fax number: 63751633
Email address: YVONNE_CHAN@MPA.GOV.SG

書記官
Ms Lee Wen Jie
Assistant Manager (International)
Maritime and Port Authority of Singapore
Office Address: 460, Alexandra Road # 19-00 PSA Building, Singapore 119963
Telephone number: (65) 63751627
Fax number: (65) 63751633
Email address: WEN_JIE_LEE@MPA.GOV.SG

ANF 委員会の承認

15. 以下の項目について ANF 委員会の承認が求められる。

i) シンガポール：DBS 銀行で US ドル建の当座預金口座を開設する。（3-4 項）

ii) 沿岸国：会議の 1 ヶ月前にメンテナンス報告および作業計画案を承認済の書式で事務局に提出する。（6-7 項）
iii) 沿岸国：財務担当者および ANF 委員会事務局に対し基金配分の要求を規定の用紙にて要求する。（8 項）

iv) シンガポール：2013 年から 2015 年までの 3 回の会計年度に対し、各会計年度毎に基金口座監査の入札のため公認会計事務所を招聘する。（10 項）

v) ANF 委員会：2013 年から 2015 年の第三者業務監査人としてマラッカ海峡協議会を従事させる。（12 項）
基金作業計画

2012年第1四半期～第3四半期
マ・シ海峡における航行援助施設メンテナンス作業報告

沿岸国より提出

はじめに

1. 基金運営規則第8.2.3項にしたがい、当局は沿岸国とコミュニケーションを図り、指定された航行援助施設の提供およびメンテナンス作業について、少なくとも年1回、委員会に状況報告を行うことが求められる。

2. 基金委員会は、2009年からのマ・シ海峡における航行援助施設の10ヵ年メンテナンス作業計画（PMP）を原則として承認した。PMPは、主要航行援助施設の取替および更新作業に関する計画であり、具体的には、マ・シ海峡内の51の指定航行援助施設の取替および維持管理作業について定めている。

マ・シ海峡における航行援助施設のメンテナンス作業報告

3. 2012年に沿岸国が実施した航行援助施設のメンテナンス作業に関する報告は、別添のとおりである。

3.1 別添1－インドネシア
3.2 別添2－マレーシア
3.3 別添3－シンガポール

委員会に求められる行動

4. 基金委員会を招集して、提示された情報に関する妥当性を判断する。
1. はじめに

1.1. 基金運営規則第8.2.3項にもとづき、当局は沿岸国と協力して、指定された航行援助施設の提供およびメンテナンス作業のための基金利用について、少なくとも毎年1回、委員会に対して状況報告を行うことが求められる。

1.2. 第2回航行援助施設基金委員会会議では、マ・シ海峡における航行援助施設10ヵ年メンテナンス作業計画（PMP）を承認した。これは、インドネシアの28の主要航行援助施設の取替および更新作業について定めたものである。

1.3. 第8回航行援助施設基金委員会会議では、2011年第4四半期および2012年第1四半期の海峡における航行援助施設メンテナンス報告について確認した。

1.4. 第8回航行援助施設基金委員会会議では、沿岸国より提出されたマ・シ海峡における航行援助施設維持更新および取替作業に関する2012年の作業計画を承認した。

2. 2012年第1四半期～第3四半期作業計画

2.1. 土木基礎工事（C&S）準備作業

2.1.1. 活動／詳細（承認済メンテナンス計画に対応した活動）

2.1.1.1. One Fathom Bank 南基準マーク灯標（ILL.571）

2.1.1.2. Cula 一般マーク灯標（ILL.825）

2.1.2. スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業活動</th>
<th>2012年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>第1四半期</td>
</tr>
<tr>
<td>ILL-571 OFB</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>• 承認済PMP</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>• 活動の実施</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ILL-825 Cula</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>• 承認済PMP</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>• 活動の実施</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
2.1.3. 航行援助施設の全般的状態

2.1.3.1. One Fathom Bank 南基準マーク灯標（ILL.571）

設置から15年近く経過しており、経済的にも設計的にも製品寿命上限に達している。灯標の上部構造には腐食が見られ、特に接合部のフランジの腐食が進んでいる。灯標は船舶による衝突でひどく損傷を受けており、上部構造には多数の歪みが見られた。

2.1.3.2. Cula 一般マーク灯標（ILL.825）

この灯標は1994年に設置されたものである。多数の亀裂がコンクリートのタワー部および基礎部分に見られた。入口部分の軒には部分的に破損が見られ、強化棒鋼は腐食していた。窓ガラスはすべてなくなってしまい、梯子もすべて腐食していた。ランタン台座、ランタン小屋に関しても梯子がすべて腐食していた。タワーの状態から見ると大規模な復旧作業および取替作業が必要であると考えられる。

2.1.4. 費用

2012年第1四半期〜第3四半期 C&S 準備作業に要した実際費用合計額

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>承認済 PMP</th>
<th>実際必要額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>One Fathom Bank 南基準マーク灯標（ILL.571）</td>
<td>USD 85,000.00</td>
<td>USD 81,979.21</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>Cula 一般マーク灯標（ILL.825）</td>
<td>USD 80,000.00</td>
<td>USD 74,476.32</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>USD 165,000.00</td>
<td>USD 156,455.53</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注:
・為替レート：1USドル=9.100-9.500インドネシアルピア

2.1.5. 結論／所見

2.1.5.1. One Fathom Bank 南基準マーク灯標（ILL.571）

i. 調査エリア

新規浮体式灯標（RLB）は、現在の灯標が置かれている場所と同様の位置に設置される予定である。調査エリアは Riau
州 Dumai よりおよそ 95 マイルのマラッカ海峡に位置している。調査エリアは、およそ 500m×500m であった。

ii. 海底地形

一般的に、調査エリアにおける海底地形は、低潮時 (LWS) の深さが最低でも 23 メートル、最も深いところでは描かれた LWS 地図を下回る 31.54 メートルと様々であった。海底の深さは南（東−南の境界線）の調査エリア周辺で最も浅く、南西の境界の調査エリア周辺で最も深いことが分かった。

iii. 浅瀬の地質状態

現場で得た海底の分析結果（浅瀬の地震反射）のデータ内容は非常によいものであった。現場での最大浸透率は海底から計算して 3 メートルから 6 メートルの範囲、もしくは低潮面を下回る最大およそ 31.0 メートルであった。

海底からの地震前兆反応は強力で断続的な反射として見られる。内部においては、海底下の地震反射の特性は底部では若干透き通って見える。4 か所の異なる場所で採取された物質サンプルの性質に基づくと、調査エリア内で海底を形成している海の堆積物 (Unit-A) は細かい砂であった。

上記で述べた物質の地層の下には相対的に非常に硬い反射があったが、いくつかの地点ではこの反射が途切れて、継続していないところもあった。この地層 (Unit-B) の地震学的特徴は様々であり、調査線上のほとんどの地点で十分な硬さであったが、すべての調査線上で一貫性があるわけではなかった。堆積物の種類は、粘土、沈泥、砂の混合物と考えられ、砂の分類は様々であった。
iv. 推奨 RLB 設計

RLB の仕様:

・タワー（上部構造）: 浮体式灯標
・サブ構造（仮）: スチール
・メイン機器: ランタン、レーダービーコン、レーダーリフレクター、ソーラーパワーサプライシステム、トップマーク、バードストライク、ライトニングプロテクション

技術者費用見積:

・準備作業: USD 198,947.37
・構造部作業: USD 212,974.79
・機械技術作業: USD 74,265.37
・仕上げ作業: USD 295,620.66

合計 USD 781,808.19
v. 助言

第三者コンサルタントによって実施された One Fathom Bank 南基準マーク灯標（ILL.571）土木基礎工事準備作業をもとに算出した見積額は、USD 781,808.19 である。

vi. 写真

2.1.5.2. Cula 一般マーク灯標（ILL.825）

i. 調査エリア

Cula 島はシンガポールの南、スマトラの東にある Riau 諸島 Durian 海峡に位置する島である。地理的に、Cula 島は北緯 1 度 2 分 20 秒、東経 103 度 42 分 42 秒に位置する。Cula 島 ILL825 灯標の仕様は、高さ 15 メートルの白色灯標である。

ii. 地形の状態

Cula 島の海底地形は、中間サイズの大きさの粗い砂で占められており、それらは島から来たものと海の有孔虫殻からできた砂によるものである。

iii. 海底地形および水深測量

Cula 島の南側は、低潮面 (LWL) を基準に海抜 7 メートル以
上の急な丘陵地形になっている。しかし、既存の灯標は低潮面（LWL）より海抜 2 メートルの島の北側に設置されている。

Cula 島はまた、島の周囲でもっとも海抜の低い地点で低潮面（LWL）よりマイナス 12 メートルの珊瑚の層の上に位置している。調査エリアでもっとも低い地点は低潮面よりマイナス 34 メートルであった。

iv. 推奨 RLB 設計

RLB の仕様:

・タワー（上部構造）: コンクリート（GRC）
・サブ構造: コンクリート

技術者費用見積:

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業</th>
<th>費用</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>準備作業</td>
<td>USD 31,494.11</td>
</tr>
<tr>
<td>土壌基礎工事</td>
<td>USD 76,981.82</td>
</tr>
<tr>
<td>構造部作業</td>
<td>USD 92,428.49</td>
</tr>
<tr>
<td>構脚工事</td>
<td>USD 24,782.48</td>
</tr>
<tr>
<td>突堤工事</td>
<td>USD 9,811.53</td>
</tr>
<tr>
<td>機械電気作業</td>
<td>USD 134,456.13</td>
</tr>
<tr>
<td>仕上げ作業</td>
<td>USD 2,619.29</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>USD 372,573.85</td>
</tr>
</tbody>
</table>
v. 助言

第三者コンサルタントにより実施された Cula 一般マーク灯標（ILL.825）の土木基礎工事準備作業により、ビーコンは構造部とサブ構造部の維持更新および修繕作業により持続
可能なことが分かった。この航行援助施設の取替作業見積額は、USD 372,573.85 である。

vi. 写真
2.2. メンテナンス作業

2.2.1. メンテナンス作業活動

2.2.1.1. 2012年メンテナンス作業プログラム承認済み計画

i. 分離通航帯上のインドネシア航行援助施設（28施設）に対する2012年第1巡回保守点検作業

ii. 分離通航帯上のインドネシア航行援助施設（28施設）に対する2012年第2巡回保守点検作業

2.2.1.2. 2012年第2四半期実施済みメンテナンス作業計画

i. 分離通航帯上のインドネシア航行援助施設（28施設）に対する2012年第1巡回保守点検作業

2.2.1.3. 2012年第4四半期実施中メンテナンス作業計画

i. 分離通航帯上のインドネシア航行援助施設（28施設）に対する2012年第2巡回保守点検作業

2.2.1.4. 航行援助施設巡回保守点検作業には、電気設備、灯火設備および機械設備の整備ならびに航行援助の構造物に係る整備が含まれる。

2.2.2. スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業計画</th>
<th>2012年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年第1巡回巡回保守点検作業</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>承認済 PM</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>活動の実施</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

2.2.3. 航行援助施設の全般的な状態

全般的には、航行援助施設は良好な運用状態にあるが、一部、構造物としての技術的状態や設備の技術的状態に関して若干の劣化が見られる。特に、経済的・設計的耐用年数上限に近づいている施設での技術的状態の悪化が顕著である。また、詳細不明の事故により故障した施設もあり、このうちBatu Berhanti灯標については国籍不明船による当て逃げ事件が発生したため、衝突の衝撃により受けた被害が大きく、特に注意を払う。
必要がある。

2.2.4. 2012年第1回航行援助施設巡回保守点検作業の費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>費用</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>作業チーム諸手当</td>
<td>USD 9,931.87</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>船員日当</td>
<td>USD 14,505.49</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>糧食支給</td>
<td>USD 19,670.33</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>船舶運用経費</td>
<td>USD 25,920.60</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>機器・備品</td>
<td>USD 3,875.27</td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td>雑費</td>
<td>USD 8,125.82</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>USD81,929.46</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注:
・為替レート：USドル=9.100 - 9.500 インドネシアルピア

2.2.5. 特記事項／所見

2012年第1回航行援助施設巡回保守点検作業において、灯火への衝突により点灯していない航行援助施設が3ヵ所見つかった。巡回工事の一環として必要部品の補修と再設置を行い、施設としての機能は回復している。

2.3. 取替作業計画

2.3.1. 2012年取替作業計画

2.3.1.1. 承認済み2012年取替作業計画

i. One Fathom Bank 北基準マーク灯標（ILL.572）取替作業計画

ii. Raleigh Shoal 浅瀬灯標（ILL.610）取替作業計画

2.3.1.2. 実施中2012年取替作業計画

i. One Fathom Bank 北基準マーク灯標（ILL.572）取替作業計画
2.3.2. スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業計画</th>
<th>2012年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>第1四半期</td>
</tr>
<tr>
<td>One Fathom Bank 北基準マーク灯標 (ILL.572) 取替作業</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>• 承認済 PMP</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>• 活動の実施</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

2.3.3. 費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>承認済 PMP</th>
<th>実際必要額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>One Fathom Bank 北基準マーク灯標 (ILL.572)</td>
<td>USD 950,000.00</td>
<td>USD 721,040.18</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>USD 950,000.00</td>
<td>USD 721,040.18</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

注:
・為替レート：1USドル=9.100 - 9.500インドネシアルピア

2.4. 交換部品の調達

2.4.1. 計画詳細（承認済み PMP に対応した活動）

2.4.1.1. 2012年メンテナンス作業計画

2012年にインドネシアは航行援助施設の定期メンテナンス作業のためおよび詳細不明の事故や技術的不具合を想定して交換部品を調達した。

2.4.1.2. スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業計画</th>
<th>2012年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>第1四半期</td>
</tr>
<tr>
<td>交換部品の調達</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
2.4.1.3. 費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>承認済 PMP</th>
<th>実際必要額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>交換部品の調達</td>
<td>USD 587,965.00</td>
<td>USD 301,686.68</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>USD 554,654.00</td>
<td>USD 301,686.68</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注：
・為替レート：1USドル=9.100 - 9.400 インドネシアルピア

2.5. 業務監査／査察（該当がある場合）
業務監査人としてマラッカ海峡協議会により勧告される。

2.6. 要約（USD）

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>承認済 PMP 単位の見積総額</th>
<th>必要総額（2012年第1～第3四半期）</th>
<th>実際支出総額（2012年第4四半期）</th>
<th>実際支出総額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>土木基礎工事</td>
<td>170,000</td>
<td>165,000</td>
<td>158,119.95</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>特定保守作業</td>
<td>105,263</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>通常保守作業</td>
<td>523,827</td>
<td>164,441.74</td>
<td>81,929.46</td>
<td>106,634.05</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>取替作業</td>
<td>3,000,000</td>
<td>802,322.96</td>
<td>721,040.18</td>
<td>721,040.18</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>交換部品調達</td>
<td>523,287</td>
<td>318,929</td>
<td>301,686.68</td>
<td>301,686.68</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計（USD）</td>
<td>4,055,741</td>
<td>1,450,693.70</td>
<td>541,736.02</td>
<td>827,674.23</td>
</tr>
</tbody>
</table>

203
1.0 はじめに

1.1 第7回航行援助施設基金委員会会議において、基金委員会は、マ・シ海峡における航
行援助施設 10ヵ年メンテナンス作業計画（PMP）を承認した。本会議において、マレーシアは 2012 年の維持更新作業、土木基礎工事（C&S）、取替作業対象である 18 の航
行援助施設を確認した。

1.2 2012年に2航行援助施設の取替作業、2施設の土木基礎工事、8施設の維持更新作業
が下記のとおり実施された。

<table>
<thead>
<tr>
<th>航行援助施設</th>
<th>2012年作業範囲</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i. One Fathom Bank</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>ii. Bukit Segenting</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>iii. Pulau Undan</td>
<td>土木基礎工事</td>
</tr>
<tr>
<td>灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i. Tg. Rhu</td>
<td>取替</td>
</tr>
<tr>
<td>ii. Tg. Gabang</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>iii. Tanjung Tohor</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>iv. Panjang Selatan</td>
<td>取替</td>
</tr>
<tr>
<td>v. Tg. Piai</td>
<td>土木基礎工事</td>
</tr>
<tr>
<td>vi. Pu. Mungging</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>vii. Mudah Utara</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>viii. One Fathom Bank North</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>浮体式灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i. Sepat</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
</tbody>
</table>
2.0 2011年メンテナンス作業報告

2.1 土木基礎工事（C&S）

2.1.1 Pulau Undan 灯台、Tg. Piai 灯標の2ヵ所において、2012年に土木基礎工事の実施が計画された。

2.1.2 Pulau Undan 灯台およびTg. Piai 灯標の土木基礎工事は現在入札の段階であり、2012年5月上旬に開始予定である。

2.1.3 マレーシア海事局（PWD）を伴い、2012年2月9日にPulau Undan 灯台の現場視察が行われた。PWDは構造部の土壌調査と亀裂のモニタリング調査を提案した。このモニタリング調査には6ヵ月を要する見込みであり、費用はおよそ USD70,000.00である。土木基礎工事は、調査結果をもとにPWDから提案された内容を受け取り次第開始される。

2.1.4 Pulau Undan 灯台の土木基礎工事に関する情報と進捗報告は別紙1に記載のとおりである。

2.2 メンテナンス作業

2.2.1 2012年第1四半期分の航行援助施設交換部品、整備、機器の発注がなされた。詳細は下記のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>数量</th>
<th>見積額（USD）</th>
<th>実費用</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>フラッシャーTF 3b</td>
<td>-</td>
<td>14,427.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>コントロールカード（Pulau Undan）</td>
<td>-</td>
<td>1,803.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>レーコン</td>
<td>-</td>
<td>進行中</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>バッテリー</td>
<td>-</td>
<td>進行中</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>電球</td>
<td>-</td>
<td>進行中</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計（USD）(*)</td>
<td></td>
<td></td>
<td>16,230.00</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(*) 為替レート 1USドル＝RM3.05

2.2.2 その他費用としてOne Fathom Bank灯台作業時のジェネレータ用ディーゼル燃料にRM47,829.60（USD15,682.00）を要した。

2.3 取替作業

2.3.1 Tanjung Rhu 灯標およびPanjang Selatan 灯標の2か所において2012年の取替作業が予定されている。

2.3.2 第1四半期に行われるPanjang Selatan灯標の取替作業については、現在見積もりと入札の段階である。
3.0 2012年第1四半期メンテナンス作業計画概要

3.1 2012年第1四半期の航行援助施設メンテナンス作業計画概要は下記のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>2012年第4四半期</th>
<th>承認済費用(USD)</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>Pulau Undan灯台土木基礎工事</td>
<td>280,000</td>
<td>ANF負担</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>Tg. Piai灯標土木基礎工事</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>航行援助施設交換部品</td>
<td>204,908</td>
<td>ANF負担</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>メンテナンス調査</td>
<td>15,000</td>
<td>ANF負担</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>運転</td>
<td>258,000</td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>Panjang Selatan灯標取替作業</td>
<td>1,500,000</td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>Tg. Rhu灯標取替作業</td>
<td>1,500,000</td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>3,757,908</td>
<td>ANF負担＝499,908</td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計

499,908
1. はじめに

1.1 Pulau Undan 灯台は北緯 2 度 2.9 分、東経 102 度 20.1 分位置し、1880 年に設立された。この灯台は、航行援助灯と予備灯、遠隔監視システム（遠隔測定）、自動認証システム（AIS）を装備している。灯台の構造は八角形のタワーからなり、灯台管理棟が付属している（石造り）。

1.2 2011年6月2日に、マレーシア海事局（PWD）－空軍基地および海洋支部－を伴い、第1回目の視察が行われた。現場視察に関する予備報告は第7回航行援助施設基金委員会会議において報告されたとおりである。報告によると、結果的に現場視察は複数回実施され、2011年8月10日（PWD建築法学部門による）、2011年10月13日（PWD地質工学部門による）、最後の視察は2012年2月9日に実施された。

1.3 海事局は、総合的な土壌調査と灯台構造部の亀裂のモニタリングを提案した。この調査に必要な費用はおよそ USD70,000.00 であり、復旧作業の上限額は USD70,000.00 である。調査期間はおよそ 6 ケ月を要する見込みであり、復旧作業の提案は調査が終了後に提出される予定である。

2. 全般的仕様

2.1 Pulau Undan 灯台はいくつかの主要部分に分けられる。

i) メイン構造部（八角形）は、1 つの円筒状のタワー、灯台管理棟、機械室、バッテリー／ジェネレーター室からなる。

ii) 灯台管理職員用食糧庫（建物脇）

2.2. 塔頂プラットフォームから大潮平均高潮面（MHWS）までの構造物全長は 53 メートルである。

2.3 灯火特性および灯火範囲は以下のとおりである。

i) 灯火特性  : FL.(2).W15s

ii) 灯火範囲  : 18NM

2.4 タワー部およびオフィス部構造の建築計画は添付画像のとおりである。
タワー部建築計画
事務所／居住部建築計画
2012年第2、第3四半期
マ・シ海峡における航行援助施設メンテナンス作業報告
（2012年4月～9月）

1.0 はじめに

1.1 第7回航行援助施設基金委員会会議において、基金委員会は、マ・シ海峡における航行援助施設10ヵ年メンテナンス作業計画（PMP）を承認した。本会議において、マレーシアは2012年の維持更新作業、土木基礎工事（C&S）、取替作業対象である18の航行援助施設を確認した。

1.2 2012年に2航行援助施設において、2ヵ所の土木基礎工事、8ヵ所の維持更新作業、2ヵ所の取替作業が下記のとおり実施された。

<table>
<thead>
<tr>
<th>航行援助施設</th>
<th>2012年作業範囲</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>iv. One Fathom Bank</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>v. Bukit Segenting</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>vi. Pulau Undan</td>
<td>土木基礎工事</td>
</tr>
<tr>
<td>灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ix. Tg. Rhu</td>
<td>取替</td>
</tr>
<tr>
<td>x. Tg. Gabang</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>xi. Tanjung Tohor</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>xii. Panjang Selatan</td>
<td>取替</td>
</tr>
<tr>
<td>xiii. Tg. Piai</td>
<td>土木基礎工事</td>
</tr>
<tr>
<td>xiv. Pu. Mungging</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>xv. Mudah Utara</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>xvi. One Fathom Bank North</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
<tr>
<td>浮体式灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ii. Sepat</td>
<td>維持更新</td>
</tr>
</tbody>
</table>

2.0 メンテナンス作業計画

2.1 土木基礎工事

2.1.1 Pulau Undan灯台、Tg. Piai灯標の2ヵ所において、2012年に基礎工事の実施が計画された。
2.1.2 Tg. Piai 灯標の土木基礎工事は、2012 年 9 月 24 日に完了し、要した費用は USD50,984.00 であった。

2.1.3 Tg. Piai 灯標の土木基礎工事に関する情報と進捗報告は別紙 2 に記載のとおりである。

2.1.4 Pulau Undan 灯台の土木基礎工事はまだ総合的土壌調査の段階である。構造部の亀裂のモニタリングも実施予定である。調査期間は、土壌移動の監視と構造部の監視に、2012 年 9 月 13 日から 2013 年 3 月 13 日までの 6 ヶ月を要する見込みである。このプロジェクトは、2013 年メンテナンス作業計画でマレーシアが提案する復旧作業のために 2014 年まで継続する予定である。

2.1.5 Pulau Undan 灯台の土木基礎工事に関する情報と進捗報告は別紙 3 に記載のとおりである。

2.2 メンテナンス作業

2.2.1 2012 年第 1 四半期～第 3 四半期分の航行援助施設交換部品、整備、機器の発注がなされた。詳細は下記のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>数量</th>
<th>見積額 (USD)</th>
<th>実費用</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>フラッシャー TF 3b</td>
<td>5</td>
<td>204,908.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>コントロールカード（Pulau Undan）</td>
<td>2</td>
<td>1,803.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>レーコン（Mudah Selatan, OFB North, Pulau Mungging）</td>
<td>3</td>
<td>91,279.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>バッテリー</td>
<td>24</td>
<td>40,997.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>バルブ</td>
<td>50</td>
<td>19,148.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>チャージャー</td>
<td>12</td>
<td>13,062.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>インバーター</td>
<td>2</td>
<td>9,705.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>スタビライザー</td>
<td>3</td>
<td>4,898.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>カード</td>
<td>4</td>
<td>4,590.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>1) ドライブ 2 個</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2) コントロール 2 個</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>リレーモジュール</td>
<td></td>
<td>5,213.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計(USD)(*)</td>
<td></td>
<td></td>
<td>205,121.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>マレーシア負担額</td>
<td></td>
<td></td>
<td>213.00</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(*)為替レート 1US ドル＝RM3.05

2.2.2 その他費用として One Fathom Bank 灯台作業時のジェネレータ用ディーゼル燃料に USD 31,916.00 を要した。
2.3 取替作業

2.3.1 Tanjung Rhu 灯標および Panjang Selatan 灯標の 2か所において 2012 年の取替作業が予定されている。

2.3.2 Panjang Selatan 灯標の取替作業は 2012 年 11 月 9日に完了した。このプロジェクトは 2012 年 7 月 2 日から開始され、費用は USD 1,288,525.00 であった。

2.3.3 Panjang Selatan 灯標の取替作業に関する情報と進捗報告は別紙 4 に記載のとおりである。

2.3.4 Tg. Rhu 灯標の取替作業は現在入札の段階である。このプロジェクトは灯標の損壊原因の調査のため延期され、2012 年 12 月に開始される見込みである。

2.4 業務監査／調査

2.4.1 第 1 回航行援助施設メンテナンス調査が 2012 年第 2 四半期に実施された。海洋局より 10 名、マラッカ海峡協議会（MSC）より 1 名の職員が参加した。メンテナンス調査費用は下記のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>期間</th>
<th>費用 (USD)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>第 2 四半期</td>
<td>USD 10,856.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>第 1 回及び第 2 回航行援助施設メンテナンス調査</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>地上輸送×2</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>i. 燃料 (BGP9062)</td>
<td>72.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>燃料 (BFG9549)</td>
<td>66.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ii. 高速道路料金 (TnGo)-(BGP9062)</td>
<td>30.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>高速道路料金 (TnGo)-(BGF9549)</td>
<td>29.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>197.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>海上輸送</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>i. 燃料 @12757 リットル×RM1.73 (チーム A)</td>
<td>6,884.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ii. 燃料 @3580 × RM1.73 (チーム B)</td>
<td>1,960.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>8,844.00</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>人員（10名）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>i. 宿泊</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>宿泊費合計</td>
<td>796.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ii. 日当</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>日当合計</td>
<td>494.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>iii. 残業手当</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>残業手当合計</td>
<td>525.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>10,856.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>
2.4.2 本年の18航行援助施設メンテナンス調査は、交通手段として車両と船舶を活用した。

3.0 2012年第1〜第3四半期メンテナンス報告概要

3.1 2012年第1四半期〜第3四半期航行援助施設メンテナンス報告概要は以下のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>2012年第1〜第3四半期</th>
<th>承認済費用(USD)</th>
<th>費用(USD)</th>
<th>貯蓄／残高(USD)</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>Pulau Undan灯台土木基礎工事(C&amp;S)</td>
<td>280,000</td>
<td>81,967</td>
<td>147,049</td>
<td>ANF負担*Pulau Undan復旧作業</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>Tg. Piai灯標土木基礎工事(C&amp;S)</td>
<td>50,934</td>
<td>50,984</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>航行援助施設交換部品</td>
<td>204,908</td>
<td>205,121</td>
<td>-213</td>
<td>ANF負担*マレーシア負担超過</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>メンテナンス調査</td>
<td>15,000</td>
<td>10,856</td>
<td>4,144</td>
<td>ANF負担*第4四半期第2回調査報告</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>運転</td>
<td>258,000</td>
<td></td>
<td></td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td>Panjang Selatan灯標取替作業</td>
<td>1,500,000</td>
<td>1,288,525</td>
<td>211,475</td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td>7.</td>
<td>Tg. Rhu灯標取替作業</td>
<td>1,500,000</td>
<td>-</td>
<td>1,500,000</td>
<td>マレーシア負担*進行中</td>
</tr>
</tbody>
</table>

総合計 | 3,575,908 | 1,637,453 | 1,862,455 | ANF負担額＝USD348,715*第3四半期まで |

214
<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>2012年マレーシア航行援助施設作業計画</th>
<th>予算(USD)</th>
<th>費用(USD)</th>
<th>残高(USD)</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>土木基礎工事(C&amp;S)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>a.</td>
<td>Tanjung Piai 灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i.</td>
<td>修繕作業</td>
<td>60,000.00</td>
<td>50,984.00</td>
<td>9,016.00</td>
<td>2012年9月24日完了</td>
</tr>
<tr>
<td>ii.</td>
<td>暫定金額</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>60,000.00</td>
<td>50,984.00</td>
<td>9,016.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b.</td>
<td>Pulau Undan 灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i.</td>
<td>修繕作業</td>
<td>220,000.00</td>
<td>81,967.00</td>
<td>138,033.00</td>
<td>2014年まで復旧作業継続</td>
</tr>
<tr>
<td>ii.</td>
<td>暫定金額</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>220,000.00</td>
<td>81,967.00</td>
<td>138,033.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>土木基礎工事総計</td>
<td>280,000.00</td>
<td>132,951.00</td>
<td>147,049.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>取替作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>a.</td>
<td>Panjang Selatan 灯標取替作業</td>
<td>1,500,000.00</td>
<td>1,288,525.00</td>
<td>211,475.00</td>
<td>2012年11月9日完了</td>
</tr>
<tr>
<td>b.</td>
<td>Tanjung Rhu 灯標取替作業</td>
<td>1,500,000.00</td>
<td>0.00</td>
<td>1,500,000.00</td>
<td>入札段階</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>取替作業総計</td>
<td>3,000,000.00</td>
<td>1,288,525.00</td>
<td>1,711,475.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>航行援助施設交換部品の購入、その他整備</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>a.</td>
<td>フラッシャー TF 3b</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b.</td>
<td>コントロールカード（Pulau Undan）</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>c.</td>
<td>レーコン</td>
<td>204,908.00</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>d.</td>
<td>バッテリー</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>e.</td>
<td>電球</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>f.</td>
<td>チャージャー</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>g.</td>
<td>インバーター</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>h.</td>
<td>テーブライザー</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>i.</td>
<td>ドライブおよびコントロールカード</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>j.</td>
<td>リレーモジュール</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>交換部品総計</td>
<td>204,908.00</td>
<td>205,121.00</td>
<td>-213.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>その他業務 (メンテナンス調査)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>a.</td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>3,499,908.00</td>
<td>1,637,453.00</td>
<td>1,862,455.00</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
INFORMATION PAPER PROGRESS REPORT
C&S WORK OF PIAI LIGHT BEACON

1. INTRODUCTION

1.1 Piai Light Beacon is located at LAT. 01° 15’ 37.15”N LONG. 103° 30’ 32.96”E and planned for C&S work as decided in work program 2012.

1.2 The C&S work for Piai Light Beacon has been carried out since 13th August 2012 and expected to be completed on 24th September 2012.

2. WORK PROGRESS

2.1 The Piai Light Beacon construction costing USD50,984.00 borne by ANF.

2.2 The current progress for C&S work is 100% and the actual completed work are reported on 22nd September 2012.
3. PICTURE REPORT

3.1 Before C&S Work
3.2 After C&S Work
1. INTRODUCTION

1.1 Pulau Undan Light House is located at LAT. 02° 2.9’N LONG. 102° 20.1’E and planed for C&S work as decided in work program 2012.

1.2 The C&S work for Pulau Undan Light House has been carried out since 4th July 2012 and expected to be completed on 2014.

2. WORK PROGRESS

2.1 C&S work for Pulau Undan Light House still under comprehensive soil investigation. Crack monitoring were planned on the structure. The whole lighthouse structure needs to be repaired and painted.

2.2 The duration of investigation will take 6 month to monitor the soil movement and the structure began from 13 September 2012 until 13 March 2013.

2.3 This project will continue until 2014 for the rehabilitation work which contained in Malaysia proposal for 2013 Maintenance Programe.
3. PICTURE REPORT

Bore Holes For The Inclinometer

Monitoring of Cracks
1. **INTRODUCTION**

1.3 Panjang Selatan Light Beacon is located at LAT. 01° 23.47’N LONG. 103° 07.84’E and planned for replacement work as decided in work program 2012.

1.4 The replacement work for Panjang Selatan Light Beacon has been carried out since 2\textsuperscript{nd} July 2012 and expected to be completed on 19\textsuperscript{th} November 2012.

2. **WORK PROGRESS**

2.1 The Panjang Selatan Light Beacon construction costing USD1,288,525.00 borne by Malaysia.

2.2 The current progress for replacement work is 100% and the actual completed work are reported on 9\textsuperscript{th} November 2012.
3. PICTURE REPORT

3.1 Before Replacement

3.2 Replacement Process
3.3 After Replacement
2012年マ・シ海峡における航行援助施設メンテナンス報告

シンガポール

1.0 はじめに

1.1 シンガポールは、マ・シ海峡における5主要航行援助施設（AtoN）の維持更新を行う責任を負う。Pulau Pisang、Sultan Shoal、Raffles、Bedok、Horsburgh灯台の定期点検が実施された。

1.2 2012年に、Sultan Shoal灯台とBedok灯台のメンテナンス作業にUSD58,500が費やされた。メンテナンス作業には灯台構造部および周辺施設の修繕と再塗装を含まれている。

1.3 USD 4,100,000の費用をかけて新規設標船を建造中である。35メートルの新規船舶は、2013年9月に完成予定であり、従来より大きく重量のある航行援助用ブイを取り扱うことができる。

2.0 メンテナンス作業計画（Bedok灯台）

2.1 メンテナンス作業計画

2.1.1 土木基礎工事（C&S）

(i) 灯台タワー部修繕および再塗装

(ii) 構造部修繕

(iii) 反射フィルム取替

3.0 メンテナンス作業計画（Sultan Shoal灯台）

3.1 メンテナンス作業計画

3.1.1 土木基礎工事（C&S）

(i) 灯台タワー部修繕および再塗装

(ii) 構造部修繕
4.0 概要

4.1 費用（Bedok 灯台）

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>承認済 PMP見積額</th>
<th>必要改訂総額</th>
<th>支出総額</th>
<th>支出済総額（USD）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1. 土木基礎工事（C&amp;S）</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>8,000</td>
</tr>
<tr>
<td>2. メンテナンス作業</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>3,000</td>
</tr>
<tr>
<td>(i) 運転</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(ii) 維持</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(iii) 交換品</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3. 取替作業（必要な場合）</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>4. 作業監査（必要な場合）</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>11,000</td>
</tr>
</tbody>
</table>

4.2 費用（Sultan Shoal 灯台）

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>承認済 PMP見積額</th>
<th>必要改訂総額</th>
<th>支出総額</th>
<th>支出済総額（USD）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1. 土木基礎工事（C&amp;S）</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>47,500</td>
</tr>
<tr>
<td>2. メンテナンス作業</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>(i) 運転</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(ii) 維持</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(iii) 交換品</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3. 取替作業（必要な場合）</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>4. 作業実績監査（必要な場合）</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>47,500</td>
</tr>
</tbody>
</table>
基 金 の 事 業 計 画
マ・シ海峡における航行援助施設 2012 年業務監査報告
マラッカ海峡協議会（MSC）より提出

はじめに

1. 基金運営規則第 2.3 条にしたがい、承認済 10 年メンテナンス作業計画（PMP）に記された維持・更新および修繕作業が計画に従って実施されたことを確認するため、有資格の独立第三者機関が年次事後業務監査を行うこととする。

年次業務監査報告

2. MSC の専門家は、別紙に記載のとおり、委員会に対して 2012 年に実施された業務監査に関する助言を行う。

委員会に求められる行動

3. 基金委員会を招集して、提示された情報に関する妥当性を判断する
2012年事業年度中間業務監査

2012年事業年度第1回マレーシア18航行援助施設メンテナンス作業のため、定期保守点検作業がマレーシア政府により2012年4月16日から4月26日まで実施された。

2012年事業年度第1回インドネシア28航行援助施設メンテナンス作業のため、定期保守点検作業がインドネシア政府により2012年5月11日から6月3日まで実施された。

2012年事業年度第2回マレーシア18航行援助施設メンテナンス作業のため、定期保守点検作業がマレーシア政府により2012年10月12日から10月22日まで実施された。

2012年事業年度第2回インドネシア28航行援助施設メンテナンス作業のため、定期保守点検作業がインドネシア政府により2012年11月23日から現在実施中である。

マレーシア海峡協議会は、航行援助施設基金から業務監査人として指名を受けて、上記の保守検査を実施したすべての拠点に技術専門家を派遣した。技術専門家は、それぞれの保守検査に立ち会い、作業が予定どおり適切に実施されたことを確認した。

2012年12月13日

マラッカ海峡協議会

Eiichi Kato
常務理事（業務監査人）
保守検査概要

1. 対象期間
本書は、2012年10月31日までの中間業務監査に関する報告書である。

2. 業務監査の対象となる航行援助施設
マレーシア：18地点
インドネシア：28地点
3. 保守検査およびメンテナンス作業スケジュール

3.1 マレーシア

2012年事業年度第1回・第2回定期保守検査およびメンテナンス作業が下記のとおり実施された。マラッカ海峡協議会（MSC）は、マレーシアからの要請にもとづき、すべての保守検査およびメンテナンス作業現場に技術専門家を派遣した。専門家により作業計画にしたがい作業が行われていることが確認された。

(i) 第1回保守検査およびメンテナンス作業

2012年4月16日〜26日（2012年3月30日、協議会はマレーシア政府より招聘状を受領）

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>日付</th>
<th>検査対象航行援助施設</th>
<th>チーム</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>4/16</td>
<td>事前ミーティング→Bukit Jugra 灯台</td>
<td>(A+B)A</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>17</td>
<td>One Fathom Bank 北灯標、One Fathom Bank 灯台</td>
<td>Team A</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>18</td>
<td>Tanjung Rhu 灯浮標、Sepat 浮体式灯標、Tanjung Gabang 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>19</td>
<td>Tanjung Tuan 灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>20</td>
<td>Tampok Utara 灯標、Pulau Mungging 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>21</td>
<td>悪天候のため引き上げ</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>22</td>
<td>Mudah Selatan 灯標、Panjang Selatan 灯浮標、Tanjung Piai 灯標、Piai 浮標</td>
<td>Team B</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>23</td>
<td>Tanjung Tohor 灯標、Panjang Utara 灯標、Mudah Utara 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>24</td>
<td>Bukit Segenting 灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>25</td>
<td>Pulau Undan 灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>26</td>
<td>最終ミーティング</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
(ii)第2回保守検査およびメンテナンス作業

2012年10月12日～22日（2012年9月7日、協議会はマレーシア政府より招聘状を受領）

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>日付</th>
<th>検査対象航行援助施設</th>
<th>チーム</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>10/12</td>
<td>事前ミーティング→Bukit Jugra 灯台</td>
<td>(A+B)A</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>13</td>
<td>One Fathom Bank 北灯標、One Fathom Bank 灯台</td>
<td>Team A</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>14</td>
<td>Sepat 浮体式灯標、Tanjung Gabang 灯標、Tanjung Rhu 灯浮標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>15</td>
<td>Tanjung Tuan 灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>16</td>
<td>Tompok Utara 灯標、Pulau Mungging 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>17</td>
<td>Piai 浮標、Tanjung Piai 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>18</td>
<td>Panjang Selatan 灯浮標、Mudah Selatan 灯標</td>
<td>Team B</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>19</td>
<td>Tanjung Tohor 灯標、Panjang Utara 灯標、Mudah Utara 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>20</td>
<td>Bukit Segenting 灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>21</td>
<td>Pulau Undan 灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>22</td>
<td>最終ミーティング</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
3.2 インドネシア

2012年事業年度第1回・第2回定期保守検査およびメンテナンス作業が下記のとおり実施された。マラッカ海峡協議会（MSC）は、インドネシアからの要請にもとづき、すべての保守検査およびメンテナンス作業現場に技術専門家を派遣した。専門家により作業計画にしたがい作業が行われていることが確認された。

2012事業年度保守検査およびメンテナンス作業は現在実施中である。作業は2012年11月23日に開始され、2012年12月21日に完了予定である。

(i) 第1回保守検査およびメンテナンス作業

2012年5月11日〜6月3日（2012年4月26日、協議会はインドネシア政府より招聘状を受領）

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>日付</th>
<th>検査対象航行援助施設</th>
<th>チーム</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>5/11</td>
<td>HQ ジャカルタにて事前ミーティング</td>
<td>(A+B)</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>12</td>
<td>準備および移動</td>
<td>Team A</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>13</td>
<td>準備および移動</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>14</td>
<td>Tg. Pinang 基地にてミーティング、機器および燃料の積み込み</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>15</td>
<td>設標船基地出発 Nongsia 灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>16</td>
<td>Batu Berhanti 灯浮標、Batu Berhanti 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>17</td>
<td>Takong 灯浮標、Takong 簡易浮体式灯標、Cula 灯標、Takong 灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>18</td>
<td>Durian 海峡南基準浮標、Jangkat 灯台、Durian 海峡安全水位線灯浮標甲板引き上げ</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>19</td>
<td>Durian 海峡安全水位線灯浮標、Nipa 灯標、Nipa 浮体式灯標、Baffalo Rock 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>20</td>
<td>Baffalo Rock 灯浮標、Helen Mars 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>21</td>
<td>チーム A 上陸</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>22</td>
<td>チーム B、Dumai へ出発</td>
<td>Team B</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>23</td>
<td>Dumai 到着・基地にてミーティング、OFB エリアへ出発</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>24</td>
<td>One Fathom Bank 灯浮標到着、One Fathom Bank 北基準マーク灯標、One Fathom Bank(s)浮体式灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>25</td>
<td>One Fathom Bank 安全水位線浮体式灯標、Gonsong Pasir 灯浮標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>26</td>
<td>Pyramid Shoal 灯浮標、Tanjung Medang 灯浮標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>27</td>
<td>Tanjung Medang 灯台、Raleigh Shoal 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>28</td>
<td>Rob Roy Bank 灯標、Bengkalis 浮体式灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>29</td>
<td>Tanjung Parit 灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>30</td>
<td>Iyu Kecil 灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>31</td>
<td>Dumai 到着・基地にてミーティング</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>6/1</td>
<td>Batam へ出発</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>2</td>
<td>Batam 到着・HQ チーム Batam にて上陸、移動</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>3</td>
<td>MSC 上陸、設標船は基地へ移動</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
4. 保守検査概要

4.1 チーム編成および交通手段

(i) マレーシア
各回ともほぼ同様の方法で保守点検作業が行われた。18 航行援助施設は 2 組に分けられ、それにより 2 チームを編成し、それぞれのチームは 5 ～ 7 名の海事局技術職員で構成された。まず第一班が 9 基の航行援助施設の保守検査を行った後、第二班に引き継ぎ、残りの 9 基の作業を行った。目的地までの交通手段は、陸上車のほか、海事局が所有する船舶やチャーター船を適宜組み合わせて利用した。

(ii) インドネシア
Tunjung Pianag 基地に属する 15 の航行援助施設と、Dumai 基地に属する 13 の航行援助施設の 2 つに分けて保守検査を実施した。第一班は 6 名の管理・技術職員、4 名の海運総局職員および 2 名のピナン基地職員で構成された。

Tunjung Pinang 基地に属する設標船「Jadayat」が本船として保守点検作業の全工程に参加した。

4.2 主要保守検査項目

(i) 機能検査
各施設で次の項目を確認し、部品交換やバッテリー端末、レンズおよび太陽電池パネルの洗浄など必要な措置を実施した。

* 灯火特性（周期性）
* 点滅装置およびランプチェンジャーの機能確認
* 電球（球切れ、不具合）
* ランタンおよびレンズの状態
* 接続ケーブル
* 電池、電圧、伝導率および比重の解析
* 太陽電池パネル出力電圧
* 非常用自動発電装置の機能確認
* 避雷器、避雷針および接地の状態確認
* 灯台の接地インピーダンス
* 装置の腐食防止剤の有効性
* レーダービーポン信号検出
(ii) 構造物検査
* 塗装の劣化
* 木材の腐朽状態
* コンクリート構造物の亀裂確認
* 鉄骨構造物の腐食の観察。必要に応じてチッピングや塗装の手直しを実施。
* シンカーアイボルトの緩みの調整
* 類の磨耗状態の確認（灯浮標）
* 鳥の糞の清掃

(iii) 関連設備の検査
* 航行援助施設の桟橋など通路の安全確認
* 通路上の海草の刈り取り

5. 主な所見
機能検査の結果は以下のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>航行援助施設属</th>
<th>マレーシア</th>
<th>インドネシア</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>分類</td>
<td>灯火</td>
<td>灯火およびレーコン</td>
</tr>
<tr>
<td>航行援助施設No.</td>
<td>13</td>
<td>5</td>
</tr>
<tr>
<td>保守検査</td>
<td>第1回</td>
<td>第2回</td>
</tr>
<tr>
<td>非灯火/レーダー波なし</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
</tr>
</tbody>
</table>

マレーシア
非灯火：□Mudah Selatan灯標（第2回）

レーダー波なし：□Mudah Selatan灯標（第1回）

インドネシア
非灯火：□Buffalo Rock灯標（第1回）

レーダー波なし：□Buffalo Rock灯標、Durian南基準灯浮標（整備のため回収）（第1回）
5.1 マレーシア

(i) 第 1 回保守点検

・ 第 1 回保守点検作業が対象 18 航行援助施設で実施された。（13 灯標、5 灯火・レーコン）

・ Sepat 浮体式灯標の取替作業が 2012 年 1 月に完了したことが確認された。

・ Bukit Segenting 灯台の取替作業の完了が確認され、落雷防止対策の強化がなされた。

・ 保守点検作業中に無灯火の航行援助施設はなかったが、18 航行救助施設のうち 2 灯標（Mudah Utara 灯標、Tompok Utara 灯標）で非常灯が作動しており、1 灯標（One Fathom Bank 北灯標）においては中も点灯している状態であった。これはバッテリーの浪費につながる。

・ 1 レーコン（Mudah Selatan 灯標）が点検修理のため保守点検作業時に一時的に取り外された。

(ii) 第 2 回保守検査

・ 第 2 回保守点検作業が対象 18 航行援助施設で実施された。（13 灯標、5 灯火・レーコン）

・ 1 灯標（Mudah Selatan 灯標）が無灯火であり、1 レーコン（One Fathom Bank 北灯標）の通信が途絶えていた。

・ Pulau Mugging 灯標は一時的に非常灯が設置されているため、適切な光度範囲で点灯していない。

・ 臨時バッテリー（12V タイプ）が 3 航行救助施設（Pulau Mugging 灯標、Mudah Selatan 灯標、Mudah Utara 灯標）において主要灯火の電源供給システムとして使用されており、できるだけ早く正規の仕様のもとに入れ替える必要がある。

5.2 インドネシア

(i) 第 1 回保守検査

・ 第 1 回保守点検作業が対象 28 航行援助施設で実施された。（18 灯標、10 灯火・レーコン）

・ 機器の盗難の減少が望まれる。
1. 灯標（Buffalo Rock 灯標）が無灯火であり、その他の航行援助施設（One Fathom Bank 南基準マーク灯標、One Fathom Bank 特別マーク灯標）の点灯光度が弱く、若干灯火特性が異なっていた。

2. 計画されていた航行援助施設（Jangkat 灯台、Takong 灯台）の塗装作業は完了である。

(ii) 第 2 回保守検査

第 2 回保守点検作業は実施中で、本中間報告には含まれていない。

6. 監査人意見

6.1 マレーシア

・ 前年に比べ、航行援助施設の顕著な改善が見られた。

・ しかしながら、より安定的で持続可能な機能を保つため、メンテナンスおよび運転システムのさらなる改善が期待される。

・ 納期を早めるため部品供給対策の改善する必要がある。

・ 機器の損傷を減らすために航行援助施設の落雷防止対策が強化されたことは望ましい。

6.2 インドネシア

・ 盗難による被害の減少が見られた。

・ 航行援助施設の更新のための現場作業において管理の改善が見られ、効果的な作業が期待される。

・ 新設の高速船が配置されてから、Dumai 併設基地領域でのメンテナンス作業能力が向上した。
基金の作業計画

2013年作業計画
沿岸国より提出

はじめに

1. 基金運営規則第8.2.2条により、当局は、対象航行援助施設の提供および維持管理に関する年間作業計画を策定して、基金委員会の承認を得ることが求められる。

2013年作業計画案

2. 2013年作業計画案は別添1に記載した。2013年作業計画の要約は次のとおりである。

(i) 承認済みPMP（メンテナンス作業）にしたがい、マ・シ海峡51航行援助施設取替および維持更新作業を実施する。詳細は沿岸国より提示される予定である。
   - 別添 1：インドネシア
   - 別添 2：マレーシア
   - 別添 3：シンガポール

(ii) 独立監査人による基金に関する2012年度財務監査を、2013年3月31日までに実施するものとする。

(iii) 独立した第三者専門家による業務監査をインドネシアおよびマレーシアに対して実施する。委員会メンバーの要請により、詳細はマラッカ海峡協議会より提出される予定である。

(iv) 2013年航行援助施設基金委員会会議を実施する。詳細はシンガポールより提示される

委員会に求められる行動

3. 基金委員会を招集して、提示された情報に関する妥当性を判断する。
2013年海峡航行援助施設作業計画
インドネシア

1. はじめに

1.1. 基金運営規則第8.2.2条により、当局は、指定航行援助施設の提供および維持管理に関する年間作業計画を策定して、基金委員会の承認を得ることが求められる。

1.2. 第2回ANF委員会会議は、マ・シ海峡の航行援助施設の10ヵ年メンテナンス作業計画（PMP）を承認した。これはインドネシアの28の主要航行援助施設の取替および更新作業に関するものである。

1.3. 基金で利用可能な金額を考えると、インドネシアは承認された10ヵ年PMPにしたがって2032年作業計画を実施するとともに、同計画で実行可能な経費節減策を検討する必要がある。

1.4. 第5回基金委員会は、Baffalo Rock北基準マーク標識灯標（ILL. 834）の土木基礎工事準備作業を承認した。これは、当初2014年に予定されていた工事であるが、2011年に前倒しされることとなった。

2. 作業計画

2.1. 全般的作業／活動

2.1.1. 承認済みメンテナンス作業計画（PMP）に対応した活動案

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>航行援助施設／内訳</th>
<th>2013年作業計画</th>
<th>承認済 10ヵ年 PMP</th>
<th>作業計画案</th>
<th>承認済 PMP見積合計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>C</td>
<td>M</td>
<td>R</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>1.</td>
<td>One Fathom Bank 南基準マーク標識灯標（ILL.571）</td>
<td>✓</td>
<td></td>
<td></td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>Cula 一般マーク灯標（ILL.825）</td>
<td>✓</td>
<td></td>
<td></td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>Rob Roy Bank 浅瀬灯標（ILL.620）</td>
<td>✓</td>
<td></td>
<td></td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>Batu Berhenti 一般マーク灯標（ILL.820）</td>
<td>✓</td>
<td></td>
<td></td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>交換部品およびメンテナンス年間費用</td>
<td>✓</td>
<td></td>
<td></td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td>航行援助施設保守点検作業用船および乗員</td>
<td>✓</td>
<td></td>
<td></td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

238
注記:
・為替レート: 1USD = 9.500. インドネシアリアル
・C: 土木基礎工事 (C&S)
・M: 維持更新作業
・R: 取替作業

2.1.2 作業範囲案

2.1.2.1. 土木基礎工事 (C&S) 準備作業

(1) 計画詳細 (承認済メンテナンス計画に対応した活動)

a. 2013年承認済メンテナンス計画
   i. Rob Roy Bank 浅瀬灯標 (ILL.620)
   ii. Cula 一般マーク灯標 (ILL.825)

b. 2013年メンテナンス作業計画案
   i. Rob Roy Bank 浅瀬灯標 (ILL.620)
   ii. Batu Berhenti 一般マーク灯標 (ILL.820)

c. 実施スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業活動</th>
<th>2013年（四半期）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>第1</td>
</tr>
<tr>
<td>a. Rob Roy Bank 浅瀬灯標 (ILL.620)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b. Batu Berhenti 一般マーク灯標 (ILL.820)</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>承認済 PMP</th>
<th>実際必要額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>Rob Roy Bank 浅瀬灯標 (ILL.620)</td>
<td>USD 85,000.00</td>
<td>USD 65,000</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>Batu Berhenti 一般マーク灯標 (ILL.820)</td>
<td>USD 80,000.00</td>
<td>USD 80,000</td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計 | USD 165,000.00 | USD 145,000.00 |
(2) 詳細情報／別紙概要

Rob Roy Bank 浅瀬灯標（ILL.620）の土木基礎工事準備作業に関する海洋観測がインドネシア政府およびマラッカ海峡協議会の協力の下、日本政府により実施されている。海洋観測は2013年のインドネシア土木基礎工事準備作業では実施されない予定である。

(3) 写真

i. Rob Roy Bank 浅瀬灯標（ILL.620）

ii. Batu Berhenti 一般マーク灯標（ILL.820）
2.1.2.2. 定期メンテナンス作業

(1) 計画詳細（承認済メンテナンス計画に対応した活動）

a. 2013年承認済メンテナンス計画

i. 第1回航行援助施設巡回保守点検作業が2013年5月～6月に実施される。

ii. 第2回航行援助施設巡回保守点検作業が2013年10月～11月に実施される。

b. 実施スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業活動</th>
<th>2013年（四半期）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>第1</td>
</tr>
<tr>
<td>a. 2013年4-5月実施予定第1回ANF巡回保守点検作業</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b. 2013年10-11月実施予定第2回ANF巡回保守点検作業</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

c. 費用

次ページに記載

(2) 詳細情報／別紙概要

該当なし

(3) 写真

該当なし
### 2013年定期メンテナンス作業

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>第1回 ANF巡回保守点検作業</th>
<th>第2回 ANF巡回保守点検作業</th>
<th>合計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>作業チーム諸手当</td>
<td>USD 9,931.87</td>
<td>USD 9,931.87</td>
<td>USD 19,663.74</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>船員日当</td>
<td>USD 14,505.49</td>
<td>USD 14,505.49</td>
<td>USD 29,010.99</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>糧食支給</td>
<td>USD 19,670.33</td>
<td>USD 19,670.33</td>
<td>USD 39,340.66</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>船舶運用経費</td>
<td>USD 50,625.26</td>
<td>USD 50,625.26</td>
<td>USD 101,250.52</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>機器・予備機</td>
<td>USD 3,875.27</td>
<td>USD 3,875.27</td>
<td>USD 7,750.55</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>雑費</td>
<td>USD 8,125.82</td>
<td>USD 8,125.82</td>
<td>USD 16,251.65</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td><strong>USD 106,634.05</strong></td>
<td><strong>USD 106,634.05</strong></td>
<td><strong>USD 213,268.10</strong></td>
</tr>
</tbody>
</table>
2.1.2.3. 特定メンテナンス作業

(1) 承認済 PMP に対応した 2013 年インドネシア航行援助施設特定メンテナンス作業は該当なし。

2.1.2.4. 取替作業

(1) 計画詳細（承認済 PMP に対応した活動）

(a) 2013 年承認済メンテナンス作業計画
   i. One Fathom Bank 南基準マーク灯標 (ILL.571)
   ii. Off Tanjung Medang 浅瀬灯標 (ILL.611)
   iii. Cula 一般マーク灯標 (ILL.825)

(b) 2013 年メンテナンス作業計画案
   i. One Fathom Bank 南基準マーク灯標 (ILL.571)
   ii. Cula 一般マーク灯標 (ILL.825)

(c) 実施スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業活動</th>
<th>2012年（四半期）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>第1</td>
</tr>
<tr>
<td>a. One Fathom Bank 北基準マーク灯標 (ILL.571)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b. Cula 一般マーク灯標 (ILL.825)</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(d) 費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>承認済 PMP</th>
<th>実際必要額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>One Fathom Bank 南基準マーク灯標 (ILL.571)</td>
<td>USD 950,000.00</td>
<td>USD 781,808.19</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>Cula 一般マーク灯標 (ILL.825)</td>
<td>USD 1,000,000.00</td>
<td>USD 372,573.85</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>USD 1,950,000.00</td>
<td>USD 1,154,382.04</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注：為替レート: USD 1 ドル = 9.500 インドネシアリビア
(2) 情報詳細／別紙概要

(a) One Fathom Bank 南基準マーク灯標（ILL.571）

第三者コンサルタントによって実施された One Fathom Bank 南基準マーク灯標（ILL.571）の土木基礎工事準備作業によると、当該の航行援助施設取替作業の見積額は USD781,808.19 である。

(b) Cula 一般マーク灯標（ILL.825）

第三者コンサルタントによって実施された Cula 一般マーク灯標（ILL.825）の土木基礎工事準備作業によると、ビーコンは構造部およびサブ構造部の維持更新・取替作業により維持可能である。当該の航行援助施設に関する作業の見積額は USD372,573.85 である。

(3) 写真

i. One Fathom Bank 南基準マーク灯標（ILL.571）

ii. Cula 一般マーク灯標（ILL.825）
2.1.2.5. 交換部品の調達

(1) 計画詳細（承認済 PMP に対応した活動）

(a) 2013 年承認済メンテナンス計画

インドネシアは 2013 年の定期メンテナンス作業のため、また航行援助施設に生じうる不測の事態または技術的不具合の発生に備えるため交換部品を調達した。調達自体については、2013 年 5 月-8 月に実施する予定である。

(b) 実施スケジュール

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業計画</th>
<th>2013</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>第1四半期</td>
</tr>
<tr>
<td>交換部品の調達</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(c) 費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>NO</th>
<th>内容</th>
<th>承認済み PMP</th>
<th>実際必要額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>交換部品の調達</td>
<td>USD 587,965</td>
<td>USD 322,222</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>USD 587,965.00</td>
<td>USD 322,222.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注:
為替レート: 1US ドル＝9.500 インドネシアルピア

(2) 詳細情報／別紙概要

該当なし

(3) 写真

該当なし

(4) その他

マ・シ海峡の航行援助の安全性を強化するため、インドネシアはまた、2012 年に数か所の航行援助施設に AIS-AtoN を設置した。AIS-AtoN が設置された航行援助施設は下記のとおりである。

a. One Fathom Banks 特別マーク灯標（ILL.570）
b. Pyramid Shoal 東基準マーク灯標（ILL.600）
c. Durian 海峡安全水位灯標（ILL.861）
d. Buffalo Rock 灯標（ILL.832）
### 2.1.2.6. 概要

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>承認済 PMP見積額(USD)</th>
<th>実際必要額(USD)</th>
<th>2013年予算案(USD)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>土木基礎工事</td>
<td>165,000</td>
<td>-</td>
<td>145,000</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>特定メンテナンス作業</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>定期メンテナンス作業</td>
<td>288,980</td>
<td>-</td>
<td>213,268.10</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>取替作業</td>
<td>1,950,000</td>
<td>-</td>
<td>1,154,382.04</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>交換部品調達</td>
<td>587,965</td>
<td>-</td>
<td>322,222</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計(USD)</td>
<td>2,991,945</td>
<td>-</td>
<td>1,834,872.74</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注：
為替レート：1USドル=9.500インドネシアルピア

### 2.1.2.7. インドネシアより提案された見積額

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>内訳</th>
<th>金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>2013年予算案</td>
<td>USD 1,834,872.74</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>インドネシアANF口座残高合計</td>
<td>USD 180,858.73</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>インドネシアによる見積合計（予算案-インドネシアANF口座残高合計）</td>
<td>USD 1,654,014.01</td>
</tr>
</tbody>
</table>
### 1.0 はじめに

1.1. マレーシアの18航桟援助施設に対する2013年メンテナンス作業計画は承認済み10ヵ年メンテナンス作業計画（PMP）に基づいている。

1.2. 9航桟援助施設に対する電気、機械および灯火を含むメンテナンス費用はマレーシアおよび航桟援助施設基金（以下「基金」）の残高より負担される。

### 2.0 メンテナンス作業計画

2.1 2013年メンテナンス作業計画は4か所の土木基礎工事および9か所の維持更新作業が含まれ、8か所の維持更新作業と1か所の取替作業の費用をマレーシアが負担する。詳細は下記の表のとおり。

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>航桟援助施設</th>
<th>2013年作業計画</th>
<th>見積額 (USD)</th>
<th>ANF負担</th>
<th>マレーシア負担</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td><em>Bukit Jukra 灯台</em></td>
<td>✓ ✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>29,351</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td><em>Tg. Tuan 灯台</em></td>
<td>✓ ✓ ✓</td>
<td>✓ *</td>
<td>125,927</td>
<td>✓ ✓</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td><em>Pulau Undan 灯台</em></td>
<td>✓ ✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>*387,635</td>
<td>✓ ✓</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td><em>One Fathom Bank 灯台</em></td>
<td>✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>242,913</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td><em>Bukit Segenting 灯台</em></td>
<td>✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>3,377</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td><em>Tg. Rhu 灯標</em></td>
<td>✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>保証期間</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>7.</td>
<td><em>Panjang Selatan 灯標</em></td>
<td>✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>保証期間</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>8.</td>
<td><em>Mudah Selatan 灯標</em></td>
<td>✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>36,440</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>9.</td>
<td><em>Tompok Utara 灯標</em></td>
<td>✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>13,788</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>10.</td>
<td><em>Panjang Utara 灯標</em></td>
<td>✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>13,901</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>11.</td>
<td><em>Tanjung Tohor 灯標</em></td>
<td>✓ ✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>87,070</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>12.</td>
<td><em>Mudah Utara 灯標</em></td>
<td>✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>7,429</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>13.</td>
<td><em>Tanjung Gabang 灯標</em></td>
<td>✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>20,316</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>14.</td>
<td><em>Tanjung Piai 灯標</em></td>
<td>✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>91,224</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>15.</td>
<td><em>Pulau Mungging 灯標</em></td>
<td>✓ ✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>57,070</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>16.</td>
<td><em>OFB North 灯標</em></td>
<td>✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>3,377</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>17.</td>
<td><em>Sepat 浮体式灯標</em></td>
<td>✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>3,377</td>
<td>✓</td>
</tr>
<tr>
<td>18.</td>
<td><em>Piai 浮標</em></td>
<td>✓ ✓</td>
<td>✓</td>
<td>45,809</td>
<td>✓</td>
</tr>
</tbody>
</table>
復旧作業／土木基礎工事（C&S）は ANF による負担、維持更新作業はマレーシアにより負担

備考：
・C：土木基礎工事（C&S）
・M：保守作業
・R：取替作業

2.2 4 か所の主要エリアが航行援助施設メンテナンス作業計画の対象として提案されている。

2.2.1 土木基礎工事（C&S）

(i) 2013 年に 3 航行援助施設の土木基礎工事（C&S）が予定されている。詳細は以下のとおり。

<table>
<thead>
<tr>
<th>航行援助施設</th>
<th>見積額(USD)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>Tanjung Tuan 灯台</td>
<td>110,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>Tanjung Tohor 灯標</td>
<td>60,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>Pulau Mungging 灯標</td>
<td>30,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>Pulau Undan 灯台復旧作業</td>
<td>327,869.00</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>527,869.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(ii) 見積額は 2008 年の査定で C&S コンサルタントにより提示された数量明細書にしたがっている。

(iii) Tanjung Tuan 灯台、Tanjung Tohor 灯標および Pulau Mungging 灯標の土木基礎工事は、5 年の既定の計画にしたがっている。

(iv) 2012 年 10 月に実施された ANF 保守点検において、Tanjung Tohor 灯標の構造部は土木基礎工事のため修繕する必要があることが浮き彫りにされ、Tanjung Tuan 灯台および Pulau Mungging 灯標に関しては、構造部は良好な状態であるものの、修繕と再塗装が必要な箇所がいくつかある。

(v) Pulau Undan 灯台復旧作業は 2012 年の土木基礎工事計画であるが、2013 年承認済み 10 カ年メンテナンス作業計画（PMP）には含まれていない。しかしながら、灯台の円筒状タワー主要部の亀裂変位が深刻であるため Pulau Undan 灯台の復旧作業が優先されるべきである。

(vi) マレーシア海事局（PWD）は地盤に不具合がないか、斜面変動がないかどうかを確認するため、現場にて少なくとも 6 カ月の地質のモニタリング
グを続けている。傾斜計による採掘孔が3カ所あり、それらは島の周辺に位置している。モニタリング期間中の計器の測定により土壌変動が検知された。

(vii)建物の亀裂を考慮し、PWDにより構造部の調査も行われ、亀裂の測定に数か所の印をつけている。PWDによる最終報告と見積額は、最終的な地質調査が終了後、海洋局に提出される予定である。

2.2.2 電気、機器および灯火メンテナンス作業

(i) 電気、機器および灯火メンテナンス作業は、下記の表に記したANF負担の9カ所の航行援助施設のみで必要である。詳細は別紙Aのとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>マレーシア負担</th>
<th>ANF負担</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>Bukit Jugra 灯台</td>
<td>OFB 灯台</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>Tg. Tuan 灯台</td>
<td>Bukit Segenting 灯台</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>Pulau Undan 灯台</td>
<td>Tanjung Tohor 灯標</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>Tg. Rhu 灯標</td>
<td>Mudah Utara 灯標</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>Panjang Selatan 灯標</td>
<td>Tanjung Gabang 灯標</td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td>Mudah Selatan 灯標</td>
<td>Tanjung Piai 灯標</td>
</tr>
<tr>
<td>7.</td>
<td>Tompok Utara 灯標</td>
<td>Pulau Mungging 灯標</td>
</tr>
<tr>
<td>8.</td>
<td>Panjang Utara 灯標</td>
<td>OFB 北灯標</td>
</tr>
<tr>
<td>9.</td>
<td>Piai 浮標</td>
<td>Sepat 浮体式灯標</td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計 USD 426,153

2.2.3 取替作業

(i) 2013年にPiai浮標の1カ所において取替作業が予定されている。

(ii) Piai浮標の取替作業は承認済10ヵ年メンテナンス作業計画（PMP）に則っている。機能性を維持するため、マレーシアはPiai浮標の取替作業をPMPにしたがって決定した。
2.2.4 ANF メンテナンス調査

(i) メンテナンス調査は年に 2 回実施される。2012年は4月と10月に行われた予定であり、海洋局の12名の職員、マラッカ海峡協議会（MSC）の職員が2チームに分かれて参加する。ANF メンテナンス調査の見積もり額はUSD20,722.00である。詳細は別紙Bを参照。

3.0 2013年メンテナンス作業計画概要

3.1 2013年PMPの総額は下記のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>金額 (USD)</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>Tanjung Tuan 灯台、Tanjung Tohor 灯標、Pulau Mungging 灯標土木基礎工事（C&amp;S）</td>
<td>200,000.00</td>
<td>第2、第3四半期</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>Pulau Undan 灯台復旧作業</td>
<td>327,869.00</td>
<td>第1四半期優先作業</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>Piai 浮標取替作業</td>
<td>33,765.00</td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>ANF負担9航行援助施設メンテナンス作業（電気、機器、交換部品他）</td>
<td>426,153.00</td>
<td>第1四半期優先作業</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>マレーシア負担9航行援助施設メンテナンス作業（電気、機器、交換部品他）</td>
<td>214,982.00</td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td>運転</td>
<td>258,000.00</td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td>7.</td>
<td>航行援助施設メンテナンス作業第3者機関調査</td>
<td>20,722.00</td>
<td>第2、第4四半期</td>
</tr>
</tbody>
</table>

ANF 負担合計 974,744.00
マレーシア負担合計 506,747.00

合計 1,481,491.00
<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>2013年航海援助施設作業計画</th>
<th>1月</th>
<th>2月</th>
<th>3月</th>
<th>4月</th>
<th>5月</th>
<th>6月</th>
<th>7月</th>
<th>8月</th>
<th>9月</th>
<th>10月</th>
<th>11月</th>
<th>12月</th>
<th>予算(USD)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>Jgura 灯台</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>6,312</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球 (1000時間) 8 個×年4回=$150/個</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S S S</td>
<td>I</td>
<td>5,050</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>フラックスメーター</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>11,362</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>遠隔監視メンテナンス</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>126</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>灯台発電機ディーゼル燃料 10L×12ヶ月 (SO.82-0.89)</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>189</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>予備発電機ディーゼル燃料 10L×12ヶ月 (SO.82-0.89)</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>2,525</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>充電コントローラー</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>3,787</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>29,351</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>One Fathom Bank 灯台*</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>11,255</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球 (1000時間) 16個×年4回=$150/個</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>67,531</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>バッテリー</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>10,130</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>遠隔監視メンテナンス</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>110,750</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>灯台発電機(Ofb)ディーゼル燃料 10,000L×12ヶ月 (SO.50)</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>39,870</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>船員交代用船給燃料 3回×12ヶ月×1200L (SO.82-0.89)</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>3,777</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td>S S</td>
<td>249,913</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>Tg. Rhu 灯標</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>20,316</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>保証</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>3,777</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>土木基礎工事</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>169</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>20,316</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>Tg. Gabang 灯標（MSC）*</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>281</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>3,777</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>充電コントローラー</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>13,281</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>太陽電池</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>3,777</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>Sepat 浮体式灯標（MSC）*</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>20,316</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>3,777</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>Tg. Tuan 灯台</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>1,013</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>遠隔監視メンテナンス</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>10,130</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>発電機付備ディーゼル燃料</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>2,251</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>設備・通信</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>169</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>土木基礎工事</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>110,000</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>3,777</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>Pulau Undan 灯台</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>3,777</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球 (2500時間) 4個×年2回=$150/個</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>563</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>充電コントローラー</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>1,688</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>遠隔監視メンテナンス</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>10,130</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>発電機付備ディーゼル燃料</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>2,251</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>船員交代用船給燃料 3回×12ヶ月×1200L (SO.82-0.89)</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>39,956</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>予備発電機ディーゼル燃料 10L×12ヶ月 (SO.82-0.89)</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>113</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td>S S</td>
<td>S S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>3,777</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>復旧作業</td>
<td>S S</td>
<td>327,869</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>No.</td>
<td>マレーシア 2013年航行援助施設作業計画</td>
<td>1月</td>
<td>2月</td>
<td>3月</td>
<td>4月</td>
<td>5月</td>
<td>6月</td>
<td>7月</td>
<td>8月</td>
<td>9月</td>
<td>10月</td>
<td>11月</td>
<td>12月</td>
<td>予算（USD）</td>
</tr>
<tr>
<td>-----</td>
<td>----------------------------------</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-------------</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>Tg. Tohor 灯標（MSC）*</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>59,766</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球（2000時間）</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>充電コントローラー</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>太陽電池</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>バッテリー</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>灯火装置</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>土木基礎工事</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>予備作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>B. Segenting 灯台（MSC）*</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>予備作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>Panjang Selatan 灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>予備作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>Mudah Selatan 灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球（2008時間）×2個×$125/個</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>バッテリー（2008年）（30,000）</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>予備作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>Piai 浮標</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td>R</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>新規浮標取り替え作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>Piai 灯標（MSC）*</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>充電コントローラー</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,377</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>太陽電池 75W</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td>13,281</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>フラッシャー</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,377</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>レーコン</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td>67,531</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>Tompok Utara 灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球（2000時間）×2個×$125/個</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>逆隔監視メンテナンス</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>予備作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>Pu. Mugging 灯標（MSC）*</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>充電コントローラー</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>太陽電池 22W</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>フラッシャー</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>予備フラッシャー</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>土木基礎作業</td>
<td>C</td>
<td>C</td>
<td>C</td>
<td>C</td>
<td>C</td>
<td>C</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>Panjang Utara 灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電球（2000時間）×2個×$125/個</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>充電池</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>逆隔監視メンテナンス</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td>S</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>No.</td>
<td>マレーシア 2013年航行援助施設作業計画</td>
<td>1月</td>
<td>2月</td>
<td>3月</td>
<td>4月</td>
<td>5月</td>
<td>6月</td>
<td>7月</td>
<td>8月</td>
<td>9月</td>
<td>10月</td>
<td>11月</td>
<td>12月</td>
<td>予算（USD）</td>
</tr>
<tr>
<td>-----</td>
<td>---------------------------------</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>----------</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>OFB 北灯標*</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>I</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>13,901</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,377</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>Mudah Utara 灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>I</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,377</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ステッピング・モーター</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>I</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,377</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>フラッシュファイナ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>I</td>
<td>I</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>1,688</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>付随作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>3,377</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>計</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>7,429</td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 合計（18航行援助施設） | 595,326 |
| マレーシア負担合計（9航行援助施設） | 169,173 |
| a ANF負担合計（9航行援助施設） | 426,153 |
| b 土木基礎工事合計（4航行援助施設） | 527,869 |
| c Piai浮標取替作業（マレーシア） | 45,809 |
| d 第3者機関ANFメンテナンス | 20,722 |
| メンテナンス調査 | 45,809 |
| 総合計（a+b+c+d） | 974,744 |

S: 発注・購入  C: 土木基礎工事  M: 保守（運用・照明関係）
I: メンテナンス調査  R: 航行援助施設更新
第 2 四半期および第 4 四半期 航行援助施設メンテナンス調査

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th></th>
<th>合計USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>地上輸送×3</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>i. 燃料</td>
<td>590.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ii. 高速道路料金</td>
<td>230.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>820.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>海上輸送</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>i. 燃料@16377 リットル×RM2.69</td>
<td>14,459.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>14,459.00</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>人員（10名）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>i. 宿泊</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>宿泊費合計</td>
<td>3,607.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ii. 日当</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>日当合計</td>
<td>1,311.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>iii. 残業手当</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>残業手当合計</td>
<td>525.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>第 2、第 4 四半期航行援助施設メンテナンス調査合計</td>
<td>20,722.00</td>
</tr>
<tr>
<td>NO.</td>
<td>項目</td>
<td>2013年度費用(USD)</td>
</tr>
<tr>
<td>-----</td>
<td>----------------------------------------------------------------------</td>
<td>-------------------</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>電気交換部品および保守×9施設</td>
<td>426,153</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>土木基礎工事、修繕、復旧×4施設</td>
<td>527,869</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>ANFメンテナンス調査</td>
<td>20,722</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>交通費および残業手当×18施設維持更新</td>
<td>25,000</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>レンタル費用 (ポート、クレーン、輸送手段など)</td>
<td>6,000</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>その他資材 (保守工具、ナット、ボルト、ケーブル、一般部品など)</td>
<td>20,000</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>小規模な修繕および保守 (空調、照明、発電機、火災報知機など)</td>
<td>25,000</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>接遇およびその他業務 (敷地整備、シロアリ薫蒸消毒、セキュリティ、接遇など)</td>
<td>25,000</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>設備および設備修繕 (システム、装置、避雷器およびAISなどの更新、修繕)</td>
<td>10,000</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>その他資産購入 (伸縮梯子、消火器、トランシーバー、什器、ポンプなど)</td>
<td>15,000</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>石油および石油製品 (船舶・ボート用燃料、陸上輸送 12,000L×12ヶ月×$0.50)</td>
<td>72,000</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>船舶用ディーゼル燃料 3往復×40,000L×$0.50</td>
<td>60,000</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>取替作業（マレーシア負担）</td>
<td>45,809</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>1,278,553.00</td>
</tr>
<tr>
<td>NO.</td>
<td>航行援助施設</td>
<td>電気保守（ANF9施設）</td>
</tr>
<tr>
<td>-----</td>
<td>-------------</td>
<td>---------------------</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>Jugra 灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>One Fathom Bank 灯台</td>
<td>242,913</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>Tg. Rhu 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>Tg. Gabang 灯標</td>
<td>20,316</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>Sepai 浮体式灯標</td>
<td>3,377</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>Tg. Tuan 灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>Pulau Undan 灯台</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>Tg. Tohor 灯標</td>
<td>27,070</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>Bukit Segenting 灯台</td>
<td>3,377</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>Panjang Selatan 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>Mudah Selatan 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>Piai 浮標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>Tg. Piai 灯標</td>
<td>91,224</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>Tompok Utara 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>Pulau Mungging 灯標</td>
<td>27,070</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>Panjang Utara 灯標</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>One Fahom Bank 北灯標</td>
<td>3,377</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>Mudah Utara 灯標</td>
<td>7,429</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計（USD）</td>
<td>426,153</td>
</tr>
</tbody>
</table>
2013年海峡航行援助施設メンテナンス計画
シンガポール

1.0 はじめに
Raffles灯台の2013年維持管理および修繕費用としてUSD120,000を予算計上した。
また、シンガポールは従来の灯台のランタンの代替として長周期LEDライト（20海里）を試験的に使用する予定である。取替作業はSultan Shoal灯台から開始され、USD100,000が予算として計上された。

2.0 メンテナンス作業計画

2.1 全般的作業／活動

2.1.1. 承認済みメンテナンス作業計画（PMP）に対応した活動案

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>航行援助施設</th>
<th>2013年作業計画</th>
<th>見積合計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>承認済10ヵ年PMP</td>
<td>作業計画案</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>C M R</td>
<td>C M R</td>
</tr>
<tr>
<td>1.</td>
<td>Raffles灯台</td>
<td>✓ - -</td>
<td>✓ - -</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>Sultan Shoal灯台</td>
<td>- - ✓</td>
<td>- - ✓</td>
</tr>
</tbody>
</table>

備考:
・C：土木基礎工事（C&S）
・M：保守作業
・R：取替作業
・(✓):どちらかに該当がある場合

2.2 作業範囲案
Raffles灯台

2.2.1 土木基礎作業（C&S）
(i) 灯台タワー部修繕および再塗装
(ii) 構造部修繕
Sultan Shoal 灯台

2.2.2 航行援助ランタンシステム取替作業

(i) ランタン
(ii) 太陽電力機器
(iii) 新規 AtoN AIS

3.0 概要

3.1 費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>承認済PMP見積額(USD)</th>
<th>実際必要額(USD)</th>
<th>優先度</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>土木基礎工事</td>
<td>-</td>
<td>Raffles 灯台（USD 120,000）</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>取替作業 (i) ランタン (ii) 太陽電力機器 (iii) 新規 AtoN AIS</td>
<td>-</td>
<td>Sultan Shoal 灯台（USD 100,000）</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計(USD)</td>
<td></td>
<td>USD 220,000</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
基金予算および配分の検討

基金の財務状況に関する報告

事務局より提出

はじめに

1. 航行援助施設基金（以下「基金」とする）は、2012年12月31日まで、マレーシア海事局により管理、運営される。基金の運用を促進するために、マレーシア法規にもとづいて「航行援助施設基金」の名義で信託口座を開設し、USドル建て運用する。

基金の状況

2. 基金運用規則第2.1条および第2.2条にしたがい、受領した拠出金は主として、マ・シ海峡の指定航行援助施設の提供および維持管理のための業務および活動費用に充当した。

3. 基金口座の明細は別添に記載する。
   
   3.1 別添1—ANF口座明細 2012年1月1日～12月6日
   
   3.2 別添2—ANF口座明細（プロジェクト4実施用）2012年1月1日～12月6日

委員会に求められる行動

4. 基金委員会を招集して、本書の記載事項および見解を適宜確認する。
マラッカ・シンガポール海峡航行援助施設基金

口座明細

2012年1月1日～2012年12月6日

<table>
<thead>
<tr>
<th>受領</th>
<th></th>
<th>資金配分</th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>細目</td>
<td>USD</td>
<td>細目</td>
<td>USD</td>
</tr>
<tr>
<td>期首残高</td>
<td>2,273,333.01</td>
<td>航行援助施設の維持管理、大規模修繕または更新の支払い（注記6）</td>
<td>1,935,855.04</td>
</tr>
<tr>
<td>航行援助施設基金 沿岸国手元金（注記2）</td>
<td>699,067.00</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>利用国、公企業、民間企業、協会、国際組織および非政府組織からの資金拠出（注記3）</td>
<td>2,397,870.33</td>
<td>専門家による検査および接遇の支払い（注記7）</td>
<td>30,044.00</td>
</tr>
<tr>
<td>定期預金利子（注記4）</td>
<td></td>
<td>機械、装置、機構、施設その他のレンタルの支払い（注記8）</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>当座預金利子（注記5）</td>
<td></td>
<td>会議、講習または研修の開催費用（注記9）</td>
<td>3,607.52</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>外部監査機関への手数料（注記10）</td>
<td>3,970.33</td>
</tr>
<tr>
<td>受領合計</td>
<td>3,096,937.33</td>
<td>支払合計</td>
<td>1,973,476.89</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>12月6日時点残高</td>
<td>3,396,793.45</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>5,370,270.34</td>
<td>合計</td>
<td>5,370,270.34</td>
</tr>
</tbody>
</table>
注記:

1. 会計方針
本明細書は現金主義で作成しており、マレーシア財務省回報2001年No.18に従うものとする。

2. 航行援助施設基金 沿岸国手元金

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>返金</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012年12月3日</td>
<td>マレーシアからの残金</td>
<td>699,067.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>699,067.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

3. 資金拠出

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012年3月9日</td>
<td>マラッカ海峡協議会</td>
<td>500,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年3月22日</td>
<td>アラブ首長国連邦</td>
<td>100,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年4月19日</td>
<td>IFAN</td>
<td>1,000,000</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年5月11日</td>
<td>大韓民国</td>
<td>87,870.33</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年8月8日</td>
<td>日本財団</td>
<td>660,000</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年10月2日</td>
<td>国際海事機関（IMO）</td>
<td>50,000</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>2,397,870.33</td>
</tr>
</tbody>
</table>

4. 定期預金利子

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
</tr>
</tbody>
</table>

5. 当座預金利子

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
</tr>
</tbody>
</table>

6. 航行援助施設の維持管理、大規模修繕または更新の支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012年3月9日</td>
<td>マレーシア</td>
<td>505,770.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年4月24日</td>
<td>インドネシア</td>
<td>1,430,085.04</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>1,935,855.04</td>
</tr>
</tbody>
</table>
7. 専門家による検査および接遇の支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012年1月5日</td>
<td>入金通知</td>
<td>(-2.00)</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年3月9日</td>
<td>マラッカ海峡協議会（MSC）2012年メンテナンス作業監査支払1回目</td>
<td>15,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年3月9日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年4月24日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年5月11日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年6月30日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>10.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年9月10日</td>
<td>マラッカ海峡協議会（MSC）2012年メンテナンス作業監査支払2回目</td>
<td>15,000.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年9月10日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年10月2日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年11月29日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年12月3日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年12月3日</td>
<td>送金手数料</td>
<td>22.00</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>30,044.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

8. 機械、装置、機構、施設その他のレンタルの支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

8. 会議、講習または研修の開催費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012年11月29日</td>
<td>第8回航行援助施設基金メチ会議一式</td>
<td>3,607.52</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>3,607.52</td>
</tr>
</tbody>
</table>

10. 外部監査機関への手数料

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012年11月29日</td>
<td>Abu Bakar Rajuddin &amp; Co.（2010年末）</td>
<td>2,033.33</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年11月29日</td>
<td>Wan Nadzir &amp; Co.（2011年末）</td>
<td>1,937.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>3,970.33</td>
</tr>
</tbody>
</table>
## マラッカ・シンガポール海峡航行援助施設基金

**口座明細**

(プロジェクト4)

2012年1月1日〜2012年12月6日

<table>
<thead>
<tr>
<th>受領</th>
<th>USD</th>
<th>資金配分</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>期首残高</td>
<td>2,139,541.22</td>
<td>航行援助施設の調達、維持管理、大規模修繕または更新の支払い（注記3）</td>
<td>565,555.19</td>
</tr>
<tr>
<td>利用国、公企業、民間企業、協会、国際組織および非政府組織からの資金拠出（注記2）</td>
<td>-</td>
<td>専門家による検査および接遇の支払い（注記4）</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>機械、装置、機構、施設その他のレンタルの支払い（注記5）</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>会議、講習または研修の開催費用（注記6）</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>外部監査機関への手数料（注記7）</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>受領合計</td>
<td>0</td>
<td>支払合計</td>
<td>565,557.19</td>
</tr>
</tbody>
</table>

12月6日時点残高

1,573,984.03

合計

2,139,541.22

合計

2,139,541.22
注記

1. 会計方針
   本明細書は現金主義で作成しており、マレーシア財務省回報 2001 年 No. 18 に従うものとする。

2. 資金拠出

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>合計</td>
</tr>
</tbody>
</table>

3. 機器の調達、維持管理、更新、取替の支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012年11月29日</td>
<td>マレーシア</td>
<td>565,555.19</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>合計</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>565,555.19</td>
</tr>
</tbody>
</table>

4. 専門家による検査および接遇の支払

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012年12月29日</td>
<td>銀行手数料</td>
<td>2.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>合計</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>2.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

5. 機械、装置、機構、施設その他のレンタルの支払い

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>拠出者</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>合計</td>
</tr>
</tbody>
</table>

6. 会議、講習または研修の開催費用

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>合計</td>
</tr>
</tbody>
</table>

7. 外部監査機関への手数料

<table>
<thead>
<tr>
<th>日付</th>
<th>支払先</th>
<th>USD</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>合計</td>
</tr>
</tbody>
</table>
基金の予算および配分の検討

2013 年予算案

事務局より提出

はじめに
1. 基金運営規則第 8.2.4 項にしたがい、当局は、基金委員会に対して年間の管理運営予算に関する提言を行い、承認を得ることが求められる。

予算提案
2. 同項にしたがい、予算は、基金の運営と 2013 年作業計画の実施を主たる目的として策定された。

3. 2013 年航行援助施設のメンテナンスに関する予算総額の詳細は別添のとおりである。

基金委員会に求められる行動
4. 基金委員会を招集し、提示された情報に関する妥当性を判断する。
### 2013年予算見積

<table>
<thead>
<tr>
<th>No</th>
<th>活動内容</th>
<th>予算見積 (USD)</th>
<th>基金負担 2013年予算案 (USD)</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>承認済 PMPにもとづく、マ・シ海峡における航行援助施設取替および維持更新作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>11.インドネシア</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(i) 土木基礎工事</td>
<td>165,000.00</td>
<td>145,000.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(ii) メンテナンス</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>a. 特定</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>インドネシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>b. 定期</td>
<td>288,980.00</td>
<td>213,268.10</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>c. 交換部品</td>
<td>587,965.00</td>
<td>322,222.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(iii) 取替作業</td>
<td>1,950,000.00</td>
<td>1,154,382.04</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>2,991,945.00</td>
<td>1,834,872.74</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>インドネシア ANF口座残高合計</td>
<td></td>
<td>(-180,858,73)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>1,654,014.01</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>12.マレーシア</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(i) 土木基礎工事</td>
<td>200,000.00</td>
<td>200,000.00</td>
<td>第2、第3四半期</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>a. Tg. Tuan灯台</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>b. Tg. Tohor灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>c. Pulau Mugging灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(ii) Pulau Undan灯台復旧作業</td>
<td>327,869.00</td>
<td>327,869.00</td>
<td>優先作業</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(iii) メンテナンス</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>a. 運転</td>
<td>258,000.00</td>
<td>-</td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>b. 維持更新（9ユニット）</td>
<td>426,153.00</td>
<td>426,153.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>c. 維持更新（9ユニット）</td>
<td>214,982.00</td>
<td>-</td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>d. 第三者機関による航行援助施設監査</td>
<td>20,722.00</td>
<td>20,722.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(iii) 取替作業</td>
<td>33,765.00</td>
<td>-</td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>1,481,491.00</td>
<td>974,744.00</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
### 1.3. シンガポール

(i) 土木基礎工事
   a. Ruffles 灯台 120,000.00 -

(ii) メンテナンス
   a. 運転 - -
   b. 維持更新 - -
   c. 交換部品 - -

(iii) 取替作業 100,000.00 -

| 合計 | 220,000.00 | - | シンガポール負担 |

### 2. 事務局

2.1 航行援助施設基金委員会（会議 2回×USD6,000） 12,000.00 12,000.00

2.2 2012年年次財務監査 3,000.00 3,000.00

2.3 第三者専門機関による航行援助施設業務監査（別紙参照） 30,000.00 30,000.00

| 合計 | 45,000.00 | 45,000.00 |

### 2013年インドネシア ANF 口座残高合計 4,738,436.00

### 2013年予算案総合計 2,673,758.01

備考：

| 267 |
2013年作業計画のための予算提案

マラッカ海峡協議会（MSC）より提出

はじめに

1. 基金運営規則第8.2.4項にしたがい、当局は、基金委員会に対して年間の管理運営予算に関する提言を行い、承認を得ることが求められる。

予算提案

2. 同項にしたがい、2013年作業計画に応じてマラッカ海峡協議会が実施する巡回保守点検作業および年次業務監査のための予算を策定した。予算総額はUSD30,000.00であり、その内訳は次のとおりである。

4.1 インドネシア航海援助施設

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>詳細</th>
<th>合計（円）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>宿泊</td>
<td>15,100円×8泊</td>
<td>120,800</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>日当</td>
<td>5,000円×33日</td>
<td>165,000</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>食費</td>
<td>6,700円×24日</td>
<td>160,800</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>運賃</td>
<td>301,500円</td>
<td>301,500</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>その他</td>
<td>19,750円</td>
<td>19,750</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>767,850</td>
</tr>
</tbody>
</table>

4.2 マレーシア航海援助施設

<table>
<thead>
<tr>
<th>No.</th>
<th>項目</th>
<th>詳細</th>
<th>合計（円）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>宿泊</td>
<td>15,100円×9泊</td>
<td>135,900</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>日当</td>
<td>5,000円×10日</td>
<td>50,000</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>運賃</td>
<td>301,500円</td>
<td>301,500</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>その他</td>
<td>19,750円</td>
<td>19,750</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>507,150</td>
</tr>
</tbody>
</table>

4.3 総計

<table>
<thead>
<tr>
<th>国名</th>
<th>詳細</th>
<th>合計（円）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>インドネシア</td>
<td>767,850円×巡回保守点検作業2回</td>
<td>1,535,700</td>
</tr>
<tr>
<td>マレーシア</td>
<td>507,150円×巡回保守点検作業2回</td>
<td>1,034,100</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>2,569,800</td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計（1USドル＝85円） ±USD 30,000
基金の予算および配分の検討

基金の配分

事務局より提出

はじめに
1. 基金の配分は、基金運営規則第2項にしたがって行われるものとし、委員会の承認を得なければならない。

2012年配分
2. 現在までのところ、マ・シ海峡航行援助施設維持更新および取替作業を目的として基金によって受領された拠出金残高は、USD3,396,793.45となっている。
3. 利用可能な資金を考慮し、2013年に実施される作業は承認済10ヵ年メンテナンス作業計画(PMP)にしたがって行われる予定である。当局はまた、費用削減策を講じ、2013年中にメンテナンスの実施が必要な航行援助施設の優先順位を決定する必要がある。インドネシア、マレーシアおよび事務局により要求された配分金額の改訂は別添のとおりである。

基金委員会に求められる行動
4. 基金委員会を招集し、提示された情報に関する妥当性を判断する。
<table>
<thead>
<tr>
<th>No</th>
<th>活動内容</th>
<th>予算見積 (USD)</th>
<th>基金負担 2013年予算案 (USD)</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>承認済 PMP にもとづく、マ・シ海峡における航海援助施設取替えおよび維持更新作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>1.1インドネシア</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(i) 土木基礎工事</td>
<td>165,000.00</td>
<td>145,000.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(ii) メンテナンス</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>a. 特定</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>b. 定期</td>
<td>288,980.00</td>
<td>213,268.10</td>
<td>インドネシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>c. 交換部品</td>
<td>587,965.00</td>
<td>322,222.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(iii) 取替作業</td>
<td>1,950,000.00</td>
<td>1,154,382.04</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>2,991,945.00</td>
<td>1,834,872.74</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>インドネシア ANF 口座残高合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td>(-180,858,73)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td>1,654,014.01</td>
</tr>
<tr>
<td>1.2. マレーシア</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(i) 土木基礎工事</td>
<td>200,000.00</td>
<td>200,000.00</td>
<td>第2、第3四半期</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>a. Tg. Tuan 灯台</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>b. Tg. Tohor 灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>c. Pulau Mugging 灯標</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(ii) Pulau Undan 灯台復旧作業</td>
<td>327,869.00</td>
<td>327,869.00</td>
<td>優先作業</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(iii) メンテナンス</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>a. 運転</td>
<td>258,000.00</td>
<td></td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>b. 維持更新（9 ユニット）</td>
<td>426,153.00</td>
<td>426,153.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>c. 維持更新（9 ユニット）</td>
<td>214,982.00</td>
<td></td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>d. 第三者機関による航海援助施設監査</td>
<td>20,722.00</td>
<td>20,722.00</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(iii) 取替作業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>a. Piai 浮標</td>
<td>33,765.00</td>
<td></td>
<td>マレーシア負担</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>合計</td>
<td>1,481,491.00</td>
<td>974,744.00</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
### 1.3 シンガポール

1. Ruffles
2. 公益財団法人人間資源開発財団
3. シンガポール

#### (i) 土木基礎工事
- Ruffles 灯台
  - a. 運転
  - b. 維持更新
  - c. 交換部品

#### (ii) メンテナンス
- a. 運転
- b. 維持更新
- c. 交換部品

#### (iii) 取替作業
- 100,000.00

<p>| | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>合計</td>
<td>220,000.00</td>
<td>シンガポール負担</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 2. 事務局

- 航行援助施設基金委員会(会議2回×USD6,000)
- 2012年年次財務監査
- 第三者専門機関による航行援助施設業務監査（別紙1参照）

<p>| | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>合計</td>
<td>45,000.00</td>
<td>シンガポール負担</td>
</tr>
</tbody>
</table>

2013年インドネシアANF口座残高合計: 4,738,436.00

2013年予算草案総合計: 2,673,758.01